

平成15年度

岩手県農業研究センター 年報

平成16年7月



# 目 次

## I 農業研究センターの概要

1	組織機構・職員数	1
2	会議、委員会、部会等の運営	2
(1)	農業試験研究推進会議等の開催	2
ア	事前評価（内部評価、外部評価）	2
イ	成果評価（内部評価、外部評価）、追跡評価（内部評価）	4
ウ	年度評価（内部評価）、事後評価（内部評価）	7
エ	外部評価	8
(2)	企画運営会議、全体会議の概要	10
(3)	委員会等の運営	13
ア	ほ場管理委員会	13
イ	図書管理委員会	13
ウ	研究報告等編集委員会	13
エ	参観デー等企画運営委員会	13
オ	特許審査委員会	13
カ	農作物病害虫・雑草防除基準編成所内検討会議	14
(4)	その他会議	15
ア	全国農業関係試験研究場所長会議	15
イ	東北地域農業関係試験研究場所長会議	15
ウ	都道府県農業関係試験研究主務課長・場長会議	15
エ	岩手県試験研究機関所長等会議	15
オ	東北農業試験研究推進会議	16
カ	県内における開催学会	17

## II 試験研究の推進

1	研究活動の概要	18
2	研究室の動き	18
(1)	企画経営情報部	18
(2)	農産部	19
(3)	園芸畑作部	20
(4)	生産環境部	22
(5)	病害虫部	23
(6)	畜産研究所	23
(7)	県北農業研究所	26
3	平成15年度試験研究課題	27
(1)	細目課題分類	27
(2)	試験研究課題一覧	28
(3)	要望課題の措置	42
4	共同研究等の推進	46
(1)	地域基幹農業技術体系化促進研究	46
(2)	先端技術等地域実用化研究促進事業	46
(3)	国庫委託研究事業	46
(4)	交付金プロジェクト委託研究	47
(5)	委託プロジェクト研究	47
(6)	先端技術を活用した農林水産研究高度化事業	47
(7)	民間委託研究	48
(8)	夢県土いわて戦略的研究推進事業	48
(9)	21世紀型農業経営モデル実証試験	48
(10)	岩手県生物工学研究所との共同研究	49
(11)	大学との共同研究	49
(12)	A F R（岩手農林研究協議会）研究会	50
(13)	その他共同研究契約	51
(14)	その他産学官連携	51
5	現地試験の実施	52

III	試験研究の成果	
1	試験研究成果	57
(1)	成果区分別一覧	57
	【普及（普及に移しうる成果）】	57
	【指導（技術指導に参考となる成果）】	59
	【行政（行政施策等に反映すべき成果）】	60
	【研究（研究開発に有効な成果）】	61
(2)	外部評価結果一覧	62
	【普及（普及に移しうる成果）】	62
	【指導（技術指導に参考となる成果）】	64
	【行政（行政施策等に反映すべき成果）】	66
2	追跡評価	67
3	東北農業試験研究成果	69
(1)	研究成果数	69
(2)	研究成果	69
IV	試験研究成果の発表	
1	試験成績書等刊行物	71
2	学会等研究報告	72
3	雑誌等掲載	76
4	新聞等掲載	79
5	テレビ・ラジオ放送	82
6	指導資料等掲載	84
7	トライアングル	85
8	図書資料収集・提供	85
9	ホームページ	86
V	指導・啓発活動	
1	技術伝達研修等の実施	87
2	現地指導・研修会等への講師派遣	88
3	視察者、見学者の受け入れ状況	97
4	春季一般公開及び参観デー	97
5	現地ふれあい農業研究センター	97
6	一日子供農業研究員	97
7	加工体験	97
8	研修生の受け入れ	98
(1)	海外研修員	98
(2)	短期研修生	98
(3)	改良普及員	98
(4)	体験学習の受け入れ	102
9	協議会、委員会等委員	103
VI	職員研修	
1	大学院派遣	111
2	海外派遣・研修	111
3	国内研修への派遣	111
4	所内セミナー等	114
VII	人事、予算、財産	
1	岩手県農業研究センター予算	117
2	建物、用地	118
3	種苗登録、特許等	119
(1)	種苗登録	119
(2)	特許、実用新案	120
4	表彰	120
5	職員名簿	121



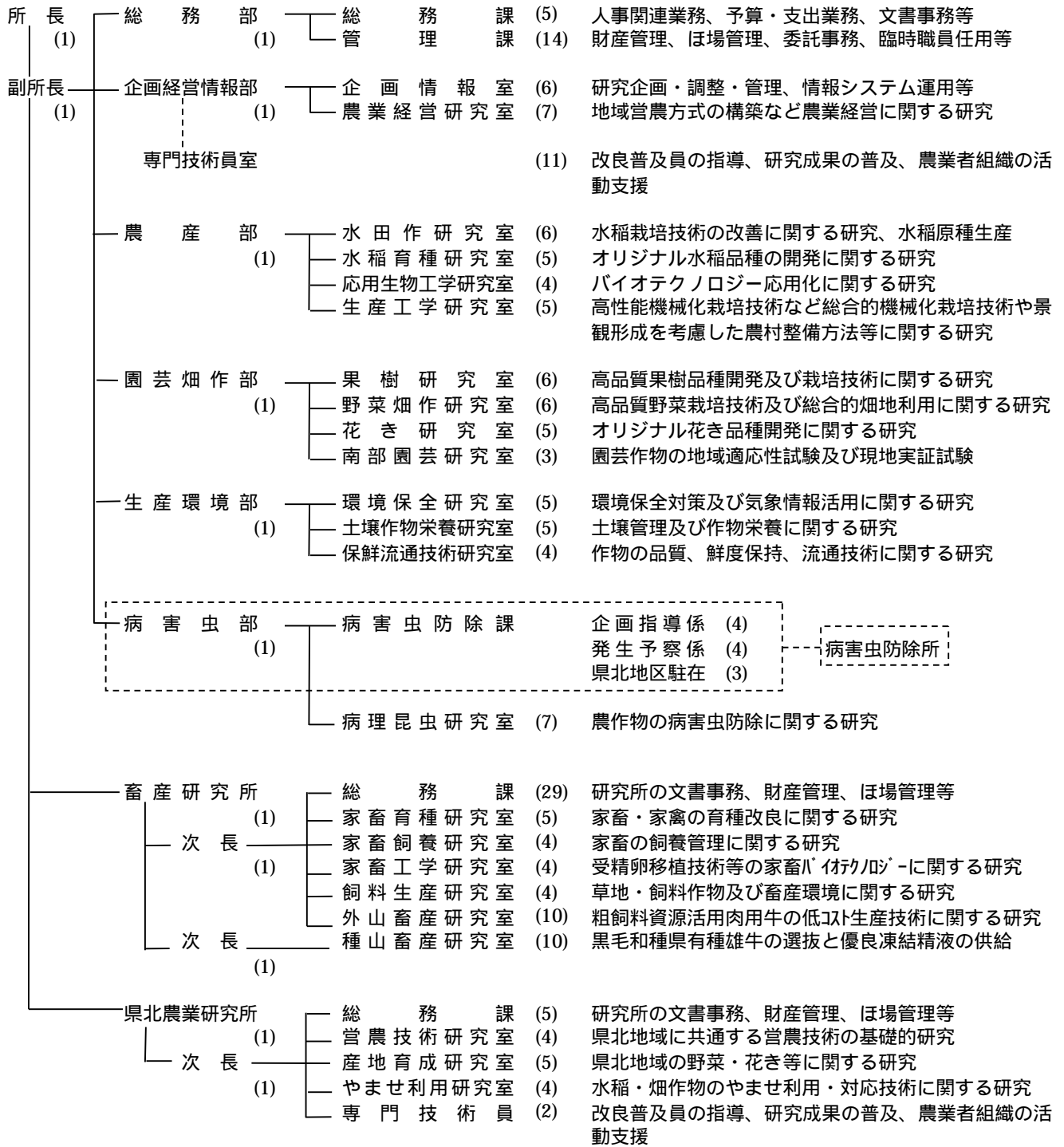


# I 農業研究センターの概要





1 組織機構・職員数（平成 15 年 4 月 1 日現在、兼務職員を含む）



	本部		畜産研究所			県北農業研究所 (軽米町)	合計			
	(北上市)	南部園芸研究室 (陸前高田市)	(滝沢村)	外山畜産研究室 (玉山村)	種山畜産研究室 (住田町)					
行政	3	5	4		1	4	44			
研究	7	5	3	2	0	5	5	123		
技能	9		2	5	5	4	3	46		
合計	11	9	3	4	9	1	0	10	22	213

行政職 (44): 事務 (21)、専門技術員 (11)、病虫害部長 (1)、病虫害防除課 (11)

## 2 会議、委員会、部会等の運営

### (1) 農業試験研究推進会議等の開催

#### ア 事前評価（内部評価、外部評価）

##### (7) 研究会議

各部会の会議日程、参集範囲、協議事項の概要は下表のとおり。

【 : 出席要請、 : 構成員】

		農産 部会	園芸畑作部会		畜産 部会	総合 部会
			果樹花き	野菜畑作		
会議日程		6/16	6/17	6/18	6/19	6/20
外部	(財)岩手生物工学研究センター					
県 の 機 関	1 農林水産企画室					
	2 団体指導課					
	3 流通課					
	4 農業振興課					
	5 農業普及技術課					
	6 農村計画課					
	7 農村建設課					
	8 農産園芸課					
	9 畜産課					
現 地	10 岩手県中央家畜保健衛生所					
	11 農業大学校					
	12 盛岡農業改良普及センター					
	農業研究センター					
協議事項		(1)平成16年に実施を希望する要望課題の取り扱いについて (2)平成16年度新規試験研究課題について				

##### (4) 内部調整会議

開催日時 平成15年7月3日(木)10時~

参集範囲 所長、副所長、各部長・研究所長、首席専門技術員

協議事項 ・平成16年度試験研究要望課題の措置案について

・平成16年度新規試験研究課題の調整について(事前評価、内部評価結果)

##### (5) 専門部会

各部会の会議日程、参集範囲、協議事項の概要は下表のとおり。

【 : 出席要請、 : 構成員】

		農産 部会	園芸畑作部会		畜産 部会	総合 部会
			果樹花き	野菜畑作		
会議日程		7/17	7/22	7/23	7/16	7/18
外 部	1 岩手大学農学部					
	2 東北農業研究センター					
	3 東北農政局盛岡統計情報センター					
	4 東北農政局岩手農政事務所					

		農産 部会	園芸畑作部会		畜産 部会	総合 部会	
			果樹花き	野菜畑作			
会議日程		7/17	7/22	7/23	7/16	7/18	
外 部	5	果樹研究所リンゴ研究部					
	6	家畜改良センター岩手牧場					
	7	岩手県農業会議					
	8	全農岩手県本部					
	9	岩手県農業共済組合連合会					
	10	岩手県農産物改良種苗センター					
	11	岩手県植物防疫協会					
	12	岩手県農薬卸商業協同組合					
	13	岩手県農業公社					
	14	岩手県農業機械協会					
	15	岩手県農業機械商業協同組合					
	16	岩手県果樹協会					
	17	岩手県食品産業協議会					
	18	岩手県肉牛生産公社					
	19	家畜改良事業団盛岡種雄牛センター					
	20	岩手県畜産協会					
	21	(財)岩手生物工学研究センター					
	県 の 機 関	1	岩手ブランド推進課				
		2	工業技術センター				
		3	病害虫防除所				
		4	農林水産企画室				
5		団体指導課					
6		流通課					
7		農業振興課					
8		農業普及技術課					
9		農村計画課					
10		農村建設課					
11		農産園芸課					
12		畜産課					
13		岩手県中央家畜保健衛生所					
14		農業大学校					
15		盛岡農業改良普及センター					
	農業研究センター						
協議事項		・平成16年度新規試験研究課題について					

**(I) 総合調整会議**

開催日時 平成 15 年 8 月 25 日 (月) 13 時～  
 参集範囲 農業普及技術課、所長、副所長、各部長・研究所長、首席専門技術員  
 協議事項 ・平成 16 年度新規試験研究課題について (事前評価、外部評価結果)

**(II) 推進会議**

開催日時 平成 15 年 9 月 11 日 (木) 14 時～  
 参集範囲 農林水産部長、農林水産部次長、農林水産企画監、団体指導課長、組合指導監、流通課長、農業振興課長、中山間対策監、農業普及技術課長、農村計画課長、総合国営対策監、農村建設課長、農産園芸課長、水田農業推進監、畜産課長、畜産衛生対策監、生物工学研究所長、農業大学校校長、盛岡農業改良普及センター所長、農業研究センター  
 協議事項 ・平成 15 年度試験研究成果について  
 ・平成 16 年度実施予定新規課題について

**イ 成果評価 (内部評価、外部評価)、追跡評価 (内部評価)****(I) 研究会議**

各部会の会議日程、参集範囲、協議事項の概要は下表のとおり。

【 : 出席要請、 : 構成員】

		農産 部会	園芸畑作部会		畜産 部会	総合 部会
			果樹花き	野菜畑作		
会議日程		12/8	12/9	12/10	12/11	12/12
外部	(財)岩手生物工学研究センター					
県 の 機 関	1 農林水産企画室					
	2 団体指導課					
	3 流通課					
	4 農業振興課					
	5 農業普及技術課					
	6 農村計画課					
	7 農村建設課					
	8 農産園芸課					
	9 畜産課					
現 地	10 岩手県中央家畜保健衛生所					
	11 農業大学校					
	12 盛岡農業改良普及センター					
	農業研究センター					
協議事項		・平成15年度試験研究成果について				

**(II) 内部調整会議**

開催日時 平成 15 年 12 月 20 日 (月) 13 時～  
 参集範囲 所長、副所長、各部長・研究所長、首席専門技術員  
 協議事項 ・平成 12 年度試験研究成果 (普及区分) の追跡評価結果について (追跡評価、内部評価結果)  
 ・平成 15 年度試験研究成果 (案) の内部評価結果について (成果評価、内部評価結果)

(9) 専門部会

各部会の会議日程、参集範囲、協議事項の概要は下表のとおり。

【 : 出席要請、 : 構成員】

		農産 部会	園芸畑作部会		畜産 部会	総合 部会
			果樹花き	野菜畑作		
会議日程		1/7	1/13	1/14	1/9	1/8
外部	1	岩手大学農学部				
	2	東北農業研究センター				
	3	東北農政局盛岡統計情報センター				
	4	東北農政局岩手農政事務所				
	5	果樹研究所リンゴ研究部				
	6	家畜改良センター岩手牧場				
	7	岩手県農業会議				
	8	全農岩手県本部				
	9	岩手県農業共済組合連合会				
	10	岩手県農産物改良種苗センター				
	11	岩手県植物防疫協会				
	12	岩手県農業卸商業協同組合				
	13	岩手県農業公社				
	14	岩手県農業機械協会				
	15	岩手県農業機械商業協同組合				
	16	岩手県果樹協会				
	17	岩手県食品産業協議会				
	18	岩手県肉牛生産公社				
	19	家畜改良事業団盛岡種雄牛センター				
	20	岩手県畜産協会				
	21	(財)岩手生物工学研究センター				
県の 機 関	1	岩手ブランド推進課				
	2	工業技術センター				
	3	病害虫防除所				
	4	農林水産企画室				
	5	団体指導課				
	6	流通課				
	7	農業振興課				
	8	農業普及技術課				
	9	農村計画課				
	10	農村建設課				

		農産 部会	園芸畑作部会		畜産 部会	総合 部会
			果樹花き	野菜畑作		
県 の 機 関	11	農産園芸課				
	12	畜産課				
	13	岩手県中央家畜保健衛生所				
	14	農業大学校				
	15	盛岡農業改良普及センター				
		農業研究センター				
協議事項			・平成15年度試験研究成果について			

**(I) 総合調整会議**

- 開催日時 平成 16 年 1 月 26 日 ( 月 ) 13 時 ~
- 参集範囲 農業普及技術課、所長、副所長、各部長・研究所長、首席専門技術員
- 協議事項
- ・平成 15 年度試験研究成果の概要
  - ・外部評価の結果について ( 成果評価、外部評価結果 )
  - ・平成 15 年度試験研究成果 ( 案 ) について
  - ・推進会議の運営について

**(II) 推進会議**

- 開催日時 平成 16 年 2 月 10 日 ( 火 ) 13 時 30 分 ~
- 参集範囲 農林水産部長、農林水産部次長、農林水産企画監、団体指導課長、組合指導監、流通課長、農業振興課長、中山間対策監、農業普及技術課長、農村計画課長、総合国営対策監、農村建設課長、農産園芸課長、水田農業推進監、畜産課長、家畜衛生対策監、生物工学研究所長、農業大学校校長、盛岡農業改良普及センター所長、農業研究センター
- 協議事項
- ・平成 15 年度試験研究成果について

ウ 年度評価（内部評価） 事後評価（内部評価）

(7) 研究会議（試験設計）

各部所の会議日程、参集範囲、協議事項の概要は下表のとおり。

【 : 構成員】

		企画 経営 情報部	農産部	園芸 畑作 部	生産 環境 部	病虫害 部	畜産 研究 所	東北 農業 研究所
会議日程		3/1	3/8	3/2	3/4	3/5	3/3	3/9
外部	(財)岩手生物工学研究センター							
県 の 機 関  本 庁	1 農林水産企画室							
	2 団体指導課							
	3 流通課							
	4 農業振興課							
	5 農業普及技術課							
	6 農村計画課							
	7 農村建設課							
	8 農産園芸課							
	9 畜産課							
出 先	10 岩手県中央家畜保健衛生所							
	11 農業大学校							
	12 盛岡農業改良普及センター							
	13 久慈 "							
	14 二戸 "							
	農業研究センター							
協議事項		・平成16年度試験研究課題の試験設計について						

(4) 内部調整会議

開催日時 平成 16 年 3 月 22 日 (月) 13 時～

参集範囲 所長、副所長、各部長・研究所長、首席専門技術員

協議事項 ・平成 15 年度試験研究課題の内部評価結果について（年度評価、事後評価）

## 工 外部評価

### (7) 外部評価委員

- a 委員は「学識経験者」、「農業者」、「農業関係団体職員」、「専門部会長が特に必要と認めるもの」の4分類。
- b 試験研究推進会議専門部会長の推薦で研究センター所長が委嘱。
- c 評価委員の委嘱期間は2年間。
- d 平成15年度は24名の外部評価委員を委嘱。
- e 委員構成は以下のとおり。

内訳別	人数	部会別	人数	主な分野
(1) 岩手県指導農業者	8名	(1) 農産部会	4名	水稲、生産工学、P・Vカ
(2) 民間・団体(JA他)	9名	(2) 園芸畑作物部会	8名	果樹、花き、野菜、畑作
(3) 独立行政法人	6名	(3) 畜産部会	7名	畜産全般
(4) 県の機関(県立大学)	1名	(4) 総合部会	5名	経営、生産環境など共通
合計	24名	合計	24名	

### 外部評価委員名簿

(敬称略：平成15年6月2日現在)

部	No	氏名	区分	所属等	役職	委嘱
農産部会	1	伊藤 一幸	A	農業技術研究機構東北農業研究センター	研究調整官	H14
	2	小関 新喜	B	金ヶ崎町	指導農業者	H14
	3	盛川 周祐	B	いわて直播栽培研究会	事務局長	H14
	4	古舘 良介	D	くみあい肥料(株)	参与	H14
園芸畑作物部会	1	別所 英男	A 果樹	農業技術研究機構果樹研究所	栽培生理研究室長	H14
	2	山崎 篤	A 野菜・花き	農業技術研究機構東北農業研究センター	野菜花き栽培研究室長	H14
	3	照井 良計	B 畑作物	花巻市	指導農業者	H14
	4	伊藤 俊美	B 果樹	石鳥谷町	指導農業者	H14
	5	高橋 新一	B 野菜	北上市	指導農業者	H14
	6	高橋 明	B 花き	湯田町	指導農業者	H14
	7	中村 松彦	C 畑作物	全農岩手県本部	米穀部次長	H15
	8	黒川賢太郎	D 流通・加工	花巻地域米・雑穀・大豆加工研究会	会長	H14
畜産部会	1	武政 正明	A 畜産	農業技術研究機構東北農業研究センター	畜産草地部長	H15
	2	西塚 修悟	A 畜産	家畜改良センター岩手牧場	次長	H15
	3	工藤 嘉夫	B 酪農	西根町	指導農業者	H14
	4	櫻田 長男	B 肉牛	雫石町	指導農業者	H14
	5	赤川 良二	C	全農岩手県本部	畜産酪農部次長	H14
	6	佐藤 彰	C	(社)岩手県畜産会	経営支援部長	H14
	7	萱野 裕是	D	小岩井農牧(株) 技術研究センター	技術担当取締役	H14
総合部会	1	豊島 正幸	A 環境	岩手県立大学 総合政策学部	教授	H14
	2	中島 寛爾	A 経営	農業技術研究機構東北農業研究センター	総合研究部長	H14
	3	石川 和宣	B	一関市	農業者会会長	H14
	4	伊藤 萬	C 営農	新しいわて農業協同組合	参事	H14
	5	岡市 光男	D 流通	前(株)岩果		H14

【区分:A 学識経験者、B 農業者、C 農業関係団体職員、D 専門部会長が特に必要と認める者】



## (1) 平成16年度新規試験研究課題の外部評価結果

[ No は要望由来 (15) ]

[ A : 適切、B : 一部見直し、C : 大幅見直し、D : 不適切 ]

部 所 名	提案 部会	No	課題名	総合評価 [ 委員数 (%) ]					推 進 会 議 上 程
				A [適切]	B [一部見直し]	C [大幅見直し]	D [不適切]	計	
			<b>評価を受けた45課題の合計</b>	124(75%)	35(21%)	5(3%)	1(1%)	165(100%)	45
企 画 経 営	農産	1	水田農業改革における集团的営農システムの実践条件の解明	2(50%)	2(50%)			4(100%)	
		2	経営環境の変化に対応したネットワーク利用型農業経営設計システムの開発	4(100%)				4(100%)	
	畜産	3	大規模酪農経営体(メガファーム)の成立条件の解明	6(100%)				6(100%)	
農 産 部	農産	4	いもち病真性抵抗性遺伝子に関連したDNAマーカーの探索とその実用化	4(100%)				4(100%)	
		5	SU系除草剤抵抗性雑草の発生生態と防除技術	2(50%)	2(50%)			4(100%)	
		6	いわて純情米品質・食味向上栄養診断技術の確立	3(75%)		1(25%)		4(100%)	
		7	優良種子生産のための双胚米の発生要因の解明	3(75%)		1(25%)		4(100%)	
	園畑	8	「二子いも」高付加価値生産に向けた培養苗生産技術開発	2(67%)	1(33%)			3(100%)	
園 芸 畑 作 部	園畑	9	クラブアップル等リンゴ受粉専用品種の選抜と利用法の確立	1(50%)	1(50%)			2(100%)	
		10	果樹園におけるリンゴ剪定枝等利用技術の確立	1(50%)	1(50%)			2(100%)	
		11	寒冷地に適した土地利用型枝物花木類の生産技術の確立	2(100%)				2(100%)	
		12	アネモネのコンテナ栽培技術の確立	2(100%)				2(100%)	
		13	高規格施設におけるトマト養液周年栽培技術の確立・実証	2(67%)			1(33%)	3(100%)	
		14	イチゴの低コスト環境保全型高設栽培技術の確立	2(67%)	1(33%)			3(100%)	
		15	冬期播種による小麦の高品質・持続的安定生産技術の確立	3(100%)				3(100%)	
生 産 環 境 部	総合	16	1.産地まるとご安心度の策定手法開発	2(50%)	2(50%)			4(100%)	
		17	2.産地の安全安心を支える基盤技術の開発	2(50%)	2(50%)			4(100%)	
	農産	18	3.安全安心な水稲栽培技術の総合実証	1(25%)	2(50%)	1(25%)		4(100%)	
	園畑	19	4.安全安心なハウレンソウの栽培技術の実証	2(67%)	1(33%)			3(100%)	
		20	5.ハウレンソウの品質自主管理技術の開発	3(100%)				3(100%)	
	農産	21	水田作物の産地消費型加工技術の開発	3(100%)				3(100%)	
	総合	22	県内水田の養分供給特性評価法の開発	3(75%)	1(25%)			4(100%)	
	総合	23	新肥料の実用化	内部評価のみ					
病 害 虫 部	農産	24	岩手オリジナル品種のいもち病圃場抵抗性を利用した防除体系の確立	4(100%)				4(100%)	
	園畑	25	りんごにおける病害虫総合防除技術の開発	1(50%)	1(50%)			2(100%)	
		26	ピーマンにおける病害虫総合防除技術の実証	2(67%)		1(33%)		3(100%)	
		27	きゅうりにおける病害虫総合防除技術の現地実証	2(67%)	1(33%)			3(100%)	
畜 産 研 究 所	畜産	28	飼料のバイパス性が肥育牛の健康・肉質に及ぼす影響	5(71%)	2(29%)			7(100%)	
		29	域資源を活用した特産豚及び特産鶏の飼養技術の確立	5(71%)	2(29%)			7(100%)	
		30	ニワトリ始原生殖細胞の凍結保存に関する研究	6(86%)	1(14%)			7(100%)	
		31	乳牛の泌乳効率を向上させるためのストレス緩和技術の確立	4(57%)	3(43%)			7(100%)	
		32	核移植技術を応用した種雄牛短期造成技術の確立	6(100%)				6(100%)	
		33	高消化性ソルガム品種特性比較試験	5(71%)	2(29%)			7(100%)	
		34	転作田における牧草導入時期の検討	5(71%)	1(14%)	1(14%)		7(100%)	
		35	トウモロコシの不耕起・簡易耕起栽培法の確立	4(57%)	3(43%)			7(100%)	
		36	乳肉複合を核とした集団飼養における黒毛和種哺育・育成システムの確立	4(67%)	2(33%)			6(100%)	
		37	公共草地における粗砕カキ殻の土壌改良資材としての利用技術の確立	1(33%)	2(67%)			3(100%)	
		38	減化学肥料化を目指した公共草地における発酵鶏糞ペレットの施肥基準の策定	2(67%)	1(33%)			3(100%)	
		39	濾材と耐湿性植物を併用したパドック排水の簡易浄化処理技術の開発	2(67%)	1(33%)			3(100%)	
県 北 農 業 研 究 所	総合	40	フィールドサーバーの実用化技術の開発	4(100%)				4(100%)	
	園畑	41	いわてオリジナル雑穀品種の開発と生産・加工技術の確立	3(100%)				3(100%)	
		42	地域ブランド化のためのナガイモ栽培技術の確立	2(67%)	1(33%)			3(100%)	
		43	寒締めハウレンソウの高品質安定生産技術の確立	3(100%)				3(100%)	
		44	県北地域における小ぎく「アイムシリーズ」の安定生産技術の確立	2(100%)				2(100%)	
		45	中山間地域における有望宿根草の高品質安定栽培法の確立	2(100%)				2(100%)	

(2) 企画運営会議、全体会議の概要

開催月日	場 所	内 容（協議事項等）
15. 4.10（木）	特別会議室	<p>(第1回企画運営会議)</p> <p>1 協議事項</p> <p>(1)新たな農業政策等に係る所内プロジェクトチームの立ち上げについて</p> <p>2 連絡事項</p> <p>(1)所長・副所長等による研究室毎の全研究員とのヒアリングについて</p> <p>(2)「政策評価・推進会議 予算調整部会設置要領」の制定について</p> <p>(3)試験研究推進会議関連スケジュール（案）について</p> <p>(4)JICA 研修員の受け入れについて</p> <p>(5)4月、5月の行事予定について</p>
15. 4.14（月）	大会議室	<p>(全体会議)</p> <p>(1) 所長運営方針について</p> <p>(2) 農業普及技術推進について</p> <p>(3) 平成 15 年度各部・研究所等推進方針について</p>
15. 4.25（金）	特別会議室	<p>(第2回企画運営会議)</p> <p>1 協議事項</p> <p>(1)21世紀に残すべき農業用語集の編纂について</p> <p>(2)平成15年度試験研究推進会議（新規課題）関連の持ち方について</p> <p>(3)外部評価委員との懇談会開催について</p> <p>2 連絡事項</p> <p>(1)農業研究センタープロジェクトチーム検討テーマ並びに構成員</p> <p>(2)試験研究成果の外部評価ホームページ公開について</p> <p>(3)平成16年度に試験研究の実施を要望する課題について</p> <p>(4)5月、6月の行事予定について</p> <p>(5)独立行政法人化検討に関する論点整理（第1次要約概要）（案）</p> <p>(6)地方独立行政法人法案について</p>
15. 5.26（月）	特別会議室	<p>(第3回企画運営会議)</p> <p>1 協議事項</p> <p>(1)平成16年度新規研究課題の試験研究会議提案予定について</p> <p>2 連絡事項</p> <p>(1)トライアングルの発行について</p> <p>(2)農林水産試験研究に係る打合せ会議の結果について</p> <p>(3)東北農業試験研究推進会議「評価企画幹事会」について</p> <p>(4)政策評価の実施結果について</p> <p>(5)専門部会の開催日程について</p> <p>(6)6月、7月の行事予定について</p> <p>(7)秋篠宮殿下ご視察先ご説明概要</p> <p>(8)知事への業務説明について</p>
15. 7. 3（木）	特別会議室	<p>(第4回企画運営会議)</p> <p>1 協議事項</p> <p>(1)21世紀型農業経営モデル実証試験事業について</p> <p>(2)農業研究センター参観デーについて</p> <p>2 連絡事項</p> <p>(1)農業研究センタープロジェクトチーム中間報告について</p> <p>(2)農林水共同・連携研究推進に係る懇談会について</p> <p>(3)農林水産部における政策立案スケジュールについて</p> <p>(4)農業改良普及事業の見直しに係るスケジュールについて</p> <p>(5)産休職員に係る事務分担の変更について</p> <p>(6)7月、8月の行事予定について</p> <p>(7)秋篠宮様行啓対応について</p>

開催月日	場 所	内 容（協議事項等）
15. 7.28（月）	特別会議室	<p>(第5回企画運営会議)</p> <p>1 連絡事項</p> <p>(1)平成16年度政策形成予算編成システムについて</p> <p>(2)平成16年度予算要求方針検討会について</p> <p>(3)総合調整会議及び試験研究推進会議について</p> <p>(4)AFR幹事会報告、拡大協議会及び事業成果報告会について</p> <p>(5)農業経営総合対策（21世紀現地実証後継）について</p> <p>(6)参観デー開催予定について</p> <p>(7)科学技術ワーキンググループ会議について</p> <p>(8)部局長表彰について</p> <p>(9)8月、9月の行事予定について</p>
15. 8.25（月）	特別会議室	<p>(第6回企画運営会議)</p> <p>1 協議事項</p> <p>(1)21世紀型農業経営モデル事業の取り扱いについて</p> <p>2 連絡事項</p> <p>(1)農林水試験研究連携に係る企画担当者打合せ会議について</p> <p>(2)岩手大学地域共同研究センター10周年記念行事について</p> <p>(3)本部参観デーにおける幹部職員の日程等について</p> <p>(4)9月、10月の行事予定について</p>
15. 9.29（月）	特別会議室	<p>(第7回企画運営会議)</p> <p>1 協議事項</p> <p>(1)平成16年度試験研究予算要求について</p> <p>(2)追跡評価の実施計画について</p> <p>(3)試験研究推進会議（研究成果及び試験設計）の実施について</p> <p>2 連絡事項</p> <p>(1)農林水産試験研究機関研究相互交流会の開催について</p> <p>(2)県庁記者クラブへの情報提供について</p> <p>(3)平成15年度東北農業試験研究推進会議本会議における重要検討事項テーマ案について</p> <p>(4)ふれあい農業研究センターの実施について</p> <p>(5)「事前評価」結果のホームページ公開について</p> <p>(6)10月、11月の行事予定について</p>
15.10.27（月）	特別会議室	<p>(第8回企画運営会議)</p> <p>1 協議事項</p> <p>(1)「冷害セミナー」の実施について</p> <p>2 連絡事項</p> <p>(1)「業務方針推進支援プログラム」に係る農林水産部長とアソシエイトの結果について</p> <p>(2)全国場・所長会議の結果について</p> <p>(3)平成16年度予算要求作業に係るスケジュール等について</p> <p>(4)謝金等の取り扱いについて</p> <p>(5)11月、12月の行事予定について</p>

開催月日	場 所	内 容（協議事項等）
15.11.25（火）	特別会議室	<p>(第9回企画運営会議)</p> <p>1 協議事項</p> <p>(1)平成12年度成果（普及、指導）の「追跡評価」について</p> <p>(2)経費節減対策について（新聞、図書等の取り扱い他）</p> <p>2 連絡事項</p> <p>(1)平成15年度予定成果の一覧提出について</p> <p>(2)平成16年度当初予算要求の状況について</p> <p>(3)岩手県農業史編さん要綱について</p> <p>(4)平成15年度農作物異常気象災害対策に係る実証の実施について</p> <p>(5)12月、1月の行事予定について</p>
15.12.18（木）	特別会議室	<p>(第10回企画運営会議)</p> <p>1 連絡事項</p> <p>(1)平成16年度農林水産研究高度化事業の応募状況について</p> <p>(2)21世紀型農業経営モデル実証事業の成績検討会議について</p> <p>(3)岩手県研究開発推進連絡会議ワーキンググループ会議について</p> <p>(4)1月、2月の行事予定について</p>
16. 1.26（月）	特別会議室	<p>(第11回企画運営会議)</p> <p>1 連絡事項</p> <p>(1)第2回研修成果発表会の開催について</p> <p>(2)岩手県試験研究開発推進連絡会議・岩手県試験研究機関所長等会議について</p> <p>(3)試験研究会議（試験設計）の開催について</p> <p>(4)平成16年度農林水産高度化事業について</p> <p>(5)2月、3月の行事予定について</p>
16. 2.23（月）	特別会議室	<p>(第12回企画運営会議)</p> <p>1 協議事項</p> <p>(1)試験研究会議（試験設計）の事前承認案件等について</p> <p>(2)21世紀型農業経営モデル実証試験地事業の総括会議及び後継事業について</p> <p>(3)生産技術体系の見直しについて</p> <p>2 連絡事項</p> <p>(1)農林水産部における独立行政法人制度の導入に係る検討について</p> <p>(2)3月、4月の行事予定について</p>
16. 3.18（木）	特別会議室	<p>(第13回企画運営会議)</p> <p>1 連絡事項</p> <p>(1)春季一般公開の開催について</p> <p>(2)独立行政法人制度の動きについて</p> <p>(3)外部評価委員の推薦事務について</p> <p>(4)4月、5月の行事予定について</p> <p>(5)欠員等に係る試験研究課題の一部調整について</p> <p>(6)標準生産技術体系の作成について</p>

### (3) 委員会等の運営

#### ア 圃場管理委員会

開催月日	場 所	内 容
15. 4.14	1F 小会議室	(1) 圃場管理委員の指名について (2) 農業公社への圃場管理業務の委託について (3) 技能員の配置、運営体制等について (4) 平成 15 年度圃場利用計画の確認について (5) 当面の主な作業等計画について (6) 有機質資源有効利用について
15. 8. 4	水田ほ場巡回 説明会	本年の説明会は豊沢川土地改良区から職員 7 名の出席をいただいた。試験研究圃場の内容を説明し、場内の用水利用状況についても相互の理解を深めた。

#### イ 図書管理委員会

開催月日	場 所	内 容
15.11.26	2F 小会議室	(1) 平成 16 年度における雑誌・学会誌の購読継続の可否について

#### ウ 研究報告等編集委員会

(ア) 委員会 H15 開催なし

##### (イ) 幹事会

開催月日	場 所	内 容
15. 6. 9	(書面協議)	(1) 研究報告報第 4 号の編集スケジュール確認について (2) 第 4 号原稿の審査員の選定について

#### エ 参観デー等企画運営委員会

(ア) 委員会

開催月日	場 所	内 容
15. 7. 3	特別会議室	岩手県農業研究センター本部参観デー開催行事計画について
15. 7.28	特別会議室	岩手県農業研究センター参観デー 各会場の開催内容について

##### (イ) 幹事会

開催月日	場 所	内 容
15. 6.12	特別会議室	(1) 岩手県農業研究センター参観デー開催行事計画日程について (2) その他
15. 6.24	特別会議室	(1) 岩手県農業研究センター本部参観デー開催内容について (2) その他
15. 8. 8	特別会議室	(1) 本部参観デーマニュアル原稿の作成依頼について (2) その他
16. 2.26	特別会議室	(1) 平成 16 年度春季一般公開の開催予定について (2) 平成 16 年度参観デーの開催予定について (3) その他

#### オ 特許審査委員会

開催月日	場 所	内 容
16. 2. 4	(書面協議)	(1) 小ぎく(スプレータイプ)「アイمام」シリーズについての勤務発明審査

カ 農作物病害虫・雑草防除基準編成所内検討会議

開催月日	場 所	内 容
15.10.22	2F 中会議室	雑草・成長調整剤部会 (1) 要望事項に対する検討結果について (2) 平成 16 年度防除基準から削除・削除が不可能な農薬 (3) 雑草防除基準・成長調整剤使用基準の改正内容について 飼料・牧草 水稲 果樹 花き 野菜・畑作物
15.10.27 ～ 10.28	2F 中会議室	病害虫部会 (1) 要望事項に対する検討結果について (2) 平成 16 年度防除基準から削除・削除が不可能な農薬 (3) 病害虫防除基準の改正案について 水稲 畑作物 野菜 花き 果樹 桑・蚕
15.11. 4	特別会議室	農作物病害虫・雑草防除基準編成所内検討会議 (1) 平成 16 年度農作物病害虫雑草防除基準に対する要望事項について (2) 平成 16 年度県防除基準から削除することとした農薬・削除することが不可能な農薬 (3) 平成 16 年度岩手県農作物病害虫・雑草防除基準の主な改正点
15.11.11 ～ 11.12	中会議室  中会議室 2F 小会議室 研修室	農作物病害虫・雑草防除基準編成会議 ・農薬安全使用分科会 (1) 農薬の安全使用指針原案について ・病害虫分科会 (1) 病害虫・鳥獣害防除基準原案について ・雑草分科会 (1) 雑草防除基準原案及び成長調整剤の使用基準原案について

#### (4) その他会議

##### ア 全国農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
15. 5.22 ～ 5.23	奈良県	通常総会 (1) 平成 14 年度事業及び決算報告(監査報告) (2) 新規加入会員 (3) 運営諸規定の改正 (4) 平成 15 年度事業計画及び予算案 (5) 役員の選出・紹介 (6) 平成 15 年度現地検討会：近畿ブロック(奈良) (7) 平成 16 年度現地検討会：九州沖縄ブロック 研究功労者表彰 小野剛志土壌作物栄養研究室長が受賞 現地検討会 (1) 平成 15 年度農業関係試験研究事業について (2) シンポジウム「何のための試験研究か、誰のための試験研究か」 ・サントリー花事業と社外共同事業 ・大阪府における農業研究の方向 - 産学官連携事業の取り組み (3) 現地視察 奈良先端科学技術大学院大学

##### イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
15. 7.29 ～ 7.30	秋田県	(1) 各県の競争的資金確保対策について (2) 平成 15 年度主要研究課題について (3) その他

##### ウ 都道府県農業関係試験研究主務課長・場長会議

開催月日	場 所	内 容
15.10.14	東京都	(1) 農林水産技術会議事務局主要情勢報告 (2) 意見交換会 地域の研究開発システム改革の推進及び産学官の連携の強化について 先端技術を活用した農林水産研究高度化事業の地方領域設定型研究の進め方 アグリビジネス創出産学官連携シンポジウム等による地方における産学官連携の進め方 独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構を中心とした産学官連携の推進 研究と普及の連携強化について

##### エ 岩手県試験研究機関所長等会議

開催月日	場 所	内 容
16. 1.23	盛岡市 水産会館	(1) 各試験研究機関における企画調整部門の課題とあり方 (2) 課題の改善方向について

オ 東北農業試験研究推進会議

開催月日	場 所	内 容
15. 5.21	東北農研センター	<p>「評価企画会議幹事会」</p> <p>(1) 平成 15 年度東北地域農業関係試験研究機関並びに研究調整・行政普及体制について</p> <p>(2) 平成 15 年度東北農業試験研究推進会議開催計画</p> <p>(3) 平成 15 年度東北地域農林水産業成果発表会の開催</p> <p>(4) 平成 14 年度試験研究推進会議報告</p> <p>(5) 地域の研究開発システム改革の推進方策と東北地域の取り組みについて</p> <p>(6) 地域確立研究の検討状況について</p> <p>(7) 各県及び東北農業研究センターの広報・技術指導など研究成果普及の取り組みについて</p> <p>(8) 開放型研究施設を利用した東北地域の農畜産物の機能性に関する共同研究について</p>
15.11.17	東北農研センター	<p>「本会議」</p> <p>(1) 平成 15 年度東北農業試験研究推進会議の運営</p> <p>(2) 平成 15 年度「行政施策上で対応が必要な試験研究課題」について</p> <p>(3) 産学官連携研究の推進について</p> <p>(4) 平成 15 年度異常気象に対応した試験研究の推進</p> <p>(5) 米政策改革大綱関連の研究開発について</p> <p>(6) その他</p>
16. 2.13	東北農研センター	<p>「評価企画会議」</p> <p>(1) 「東北地域 新しい技術シリーズ」の廃止及び「東北農業試験研究推進会議運営要領」の改訂について</p> <p>(2) 推進部会報告及び行政施策上で対応が必要な試験研究課題への取り組みについて</p> <p>(3) 主要研究成果の評価について</p> <p>(4) 主要研究成果の利用及び技術化について</p> <p>(5) 主要研究成果のフォローアップレビュー及び公表について</p> <p>(6) 意見交換</p> <p>(7) 評価委員の公表</p> <p>(8) その他</p>
16. 2. 5	大曲市	<p>「水稲推進部会」</p> <p>平成 15 年度低温気象下の水稲作における品種、栽培管理上の問題点と今後の対策</p>
16. 2. 2 ～ 2. 3	福島市	<p>「畑作物推進部会」</p> <p>(1) 異常気象に対応した畑作物の試験研究の推進について</p> <p>(2) 畑作物の耐湿性研究の今後の課題</p>
16. 1.30	盛岡市	<p>「生産環境推進部会」</p> <p>平成 15 年度異常気象と冷害</p>
16. 2. 3	盛岡市	<p>「作業技術推進部会」</p> <p>東北地域における自然エネルギーの活用事例と研究方向</p>
16. 2. 3	盛岡市	<p>「経営推進部会」</p> <p>「地域資源循環型農業の意義と担い手」に関わる研究</p>
16. 2. 5 ～ 2. 6	盛岡市	<p>「畜産推進部会」</p> <p>東北畜産研究の進展と今後の展望</p>
16. 1.26 ～ 1.27	盛岡市	<p>「果樹推進部会」</p> <p>(1) 安全・安心のリンゴ生産技術開発の取り組みと課題</p> <p>(2) 東北地域における平成 15 年度夏期低温・寡日照の果樹への影響と対策</p>
16. 1.27 ～ 1.28	盛岡市	<p>「野菜・花き推進部会（野菜分科会）」</p> <p>寒冷地における環境に配慮した野菜生産・流通技術の現状及び問題点</p>
16. 1.27	盛岡市	<p>「野菜・花き推進部会（花き分科会）」</p> <p>バケツ輸送など花き流通技術開発</p>



開催月日	場 所	内 容
16. 1.29 ～ 1.30	三河南町	「流通・加工推進部会」 流通加工部会における共同研究（産学官等）の推進
16. 1.26 ～ 1.27	盛岡市	「生物工学推進部会」 B T戦略にもとづく東北地域の遺伝子組み換え作物開発に向けた取り組み

#### カ 県内における開催学会

開催月日	場 所	学 会 名 ・ 内 容
15. 6. 3～ 4	江刺市	平成 15 年度全果連・全国リンゴ流通研究会「わい化栽培 30 周年記念現地研究会」
15. 8.21～ 22	盛岡市 岩手大学	第 46 回日本作物学会東北支部講演会、岩手大学農学部施設及び東北農業研究センター施設における現地研修
15. 8.22～ 23	大迫町（町民会館ほか）	雑穀研究会シンポジウム
15. 9.8～ 11	盛岡市 岩手大学	農業環境工学関連 5 学会 2003 年合同大会（日本農業気象学会、日本生物環境調節学会、日本植物工場学会、生体工学会、農業情報学会） シンポジウム及び講演会 エクスカーション（岩手農研センター・岩手生工研等見学）
15.10.29～ 31	盛岡市 スポーツワールドいわて	第 51 回日本農村生活学会
15.10.30～ 31	北上市 農業研究センター	第 57 回日本蚕糸学会東北支部研究会
15.12.24～ 25	北上市 農業研究センター	Asian Rice Research Network(ARICE-NET)研究会議（イネ・ゲノムシミュレーターの開発委託試験にかかる研究成果講演会）
16. 2.24	盛岡市	リンゴ公開シンポジウム 「リンゴ品種の将来像を探る - ふじを超える品種の育成は可能か？」
16. 3.29～ 30	盛岡市 岩手大学	第 74 回日本蚕糸学会



## II 試験研究の推進



## 1 研究活動の概要

本センターでは「岩手県農業試験研究推進構想」(平成12年3月策定。以下「推進構想」と言う。)に基づき、  
バイオテクノロジー等を利用した商品性の高い独自品種の開発や胚移植技術等を利用した家畜改良  
国際化に対応できる超省力、低コスト生産技術の開発  
自動化、システム化等先端技術を利用した革新的生産技術の開発  
環境保全に配慮し、生態系を活用した持続型生産管理技術体系の確立  
地域特性を生かしたオリジナルな農畜産物の加工・流通技術の開発と販売手法の確立  
中山間地域の資源を生かした地域活性化手法の開発  
農村地域の多面的機能に配慮した農業農村基盤の整備、管理技術の開発  
栽培・飼養、経営、販売等各種管理システムを取り入れた新しい「総合農業情報システム」の確立  
など、本県の立地特性を生かしながら、新たな国際環境に対応し、持続的な展開が可能となる本県の農業を構築するため、時代を先取りした試験研究を進めることとしている。

平成15年度においては、「岩手県水田農業改革大綱」「食の安全・安心プロジェクト」「オンリーワン産地強化プロジェクト」など、新たな農業施策に対応する試験研究課題の推進を図った。また、「試験研究評価制度」の円滑な運用、産学官連携研究の推進、研究成果の普及・定着化の推進、技術を通じた国際交流・協力を務めた。なお、岩手県行財政構造改革プログラムに基づく試験研究方向等や地方独立行政法人制度について、所内プロジェクトチームを編成して検討し報告書を取りまとめた。

## 2 研究室の動き

### (1) 企画経営情報部

#### 企画情報室

平成14年度に導入した試験評価制度の円滑な運用に係る各種調整を行った。また、評価研究に係る各種企画調整(所内組織間連絡調整、関係機関連絡調整、試験研究課題調整等)及びセンターに関する広報及び情報システムの効果的な運営に努めた。

企画調整にあつては、所内諸会議(企画運営会議、全体会議等)や委員会(研究報告等企画編集委員会等)等の運営、関係機関(国、県及び関係団体)との連絡調整(推進会議等)を行った。

広報関係では、広報誌「トライアングル」の発刊、参観デー(本部・畜産・県北)、現地ふれあい農業研究センター(花巻、二戸、遠野地方振興局管内)、科学技術週間行事としての春季一般公開、一日子供農業研究員の開催及び「研究レポート」の発行等に取り組んだ。また、公開セミナーは「環境保全型農業の最近の動向と秋田県大潟村における実践事例」(秋田県立大学生物資源科学部教授 佐藤 了氏)及び研究紹介として「病害虫防除技術の開発状況」(病害虫部病理昆虫研究室室長 鈴木 敏男氏)により本部を会場に実施した。

岩手県行財政構造改革プログラムに基づく事務事業見直し等、及び地方独立行政法人制度について所内プロジェクトチームを編成し検討した。検討結果については、報告書として取りまとめた。

#### 農業経営研究室

生産性の高い経営管理方式の確立、担い手の育成支援方策、地域活性化方策、県産農産物の販売戦略及び開発技術の経営評価等に関する研究を実施している。

生産性の高い経営管理方式の確立では、野菜作経営における雇用労働力活用のポイントと効果として、雇用期間の長期化とパートに責任を持たせる雇用管理の実践で、家族労働時間の軽減及び時間当たり所得の向上が期待できることを明らかにした。また、大豆不耕起栽培は慣行栽培に比較して25%程度省力できるが、播種機導入等により生産費が増加することから、播種機の広域的な導入や麦播種との汎用利用の必要性を提示した。

担い手の育成支援方策では、県北部の葉たばこ農家は規模拡大志向が強いが、技術導入支援や助成の主体であった耕作組合やJT組織の合理化が進みつつあり、行政による側面的支援の必要性を提示した。また、酪農は規模拡大に伴い経営管理の高度化が進みつつあることから、指導機関の経営管理指導能力向上の必要性を提示した。

地域活性化方策では、大消費地に向けたウルの出荷荷姿として、200g入りテープ結束とボリューム感重視バラ包装の2つの荷姿ラインアップとすることを提案した。

県産農産物の販売戦略では、産直施設における生産流通支援システムの導入効果として、在庫・販売情報を活かすことにより残品率の減少や売り上げ増加につながる事、及び消費者から目的の商品が購入しやすくなったこと等が評価されていることを明らかにした。

## (2) 農産部

### 水田作研究室

水田作研究室では、水稲の奨励品種決定調査、直播栽培を中心とした省力・低コスト栽培技術確立、作況調査・作柄解析、高品質・良食味米の安定生産技術確立研究及び水稲原種・原々種の生産業務に取り組んでいる。

奨励品種決定本調査調査では、中生の「岩手 68 号」(良食味、耐冷性極強、穂いもち耐病性極強)を有望と認め、平成 16 年度は栽培法も含め検討することとした。また、予備調査では多収系統の「岩南 29 号」など粳 5 系統及び糯 1 系統を有望と認め新たに本調査・現地調査に供することとした。

平成 15 年は、6 月下旬～8 月の低温・日照不足により出穂の遅延・障害不稔が多発し、作況指数 73 (10a 当たり収量 387 kg) となり、平成 5 年 (作況指数 30、10a 収量 152 kg) 以来 10 年ぶりの不作となった。水稲冷害の要因を水稲研究を担当する部・研究所の連携のもと多方面から解析を行い研究成果として取りまとめるとともに、総合的な解析を加え「岩手県における平成 15 年水稲冷害の技術的解析」を発刊した。

産米の品質評価向上技術として、タンパク・アミロース等食味関連成分の変動性を検討するとともに、刈り取り適期の客観的的判断技術として「色彩色差計」による熟色の判断技術を取りまとめた。

雑草防除関係では、移植栽培における効果の高い水稲除草剤 6 剤 (初・中期一発剤 4 剤、後期剤 2 剤) を県防除基準に採用するとともに、減農薬栽培等に対応し、移植前処理・移植後深水管理・機械除草等を組み合わせた雑草防除法を成果として取りまとめた。また、水田畦畔管理に関して、その実態と農業者が望む畦畔管理技術について検討した。

省力・低コスト技術として、平成 11～14 年の地域基幹研究を踏まえて、一層の生育の安定化と収量向上をねらいに、3 ヶ年の計画で開始 (県単研究) するとともに、育苗・移植作業の省力化・軽労化を目的としたロングマット水耕苗の苗質改善について検討し、巻き取り 2 日程度前の追肥が有効であることを明らかにした。水田農業確立の一環としてホールクローブサイレージ用イネ栽培について、紫波町現地で直播及び堆肥投入を基本とした実証研究を行った。

水稲原々種は 7 品種 (62 系統) 474kg、原種はうち 5 品種 17,260kg (岩手 60 号含む) もち 2 品種 4,400kg を生産した。また、優良種子生産のため、発芽能力の検定法及び浸種条件 (水温・浸種期間) について検討した。

### 水稲育種研究室

生産力検定試験において、61 組合せ 77 系統を供試し、30 組合せ 35 系統を選抜した。また、生産力検定と各種特性検定試験の結果から、岩手 73 号 (早生の中、葉いもち極強)、岩手 74 号 (中生の早、耐冷性強)、岩手 75 号 (晩生の中、穂いもち・耐冷性極強)、岩手紫 76 号 (晩生の早、紫黒米、耐冷性やや強) 以上主食用 3 系統、新規需要 1 系統を有望と認め、地方番号を付し、平成 16 年度奨励品種決定調査のための新配布系統とした。

直播生産力検定試験等で 7 系統が有望と認められた。また、新規需要及び新形質米の育成試験では、低アミロース 4 系統、酒米 6 系統、糯 11 系統が有望と認められたことから、以上を次年度の生産力検定試験で継続検討する。

育種技術の効率化に資する目的で取り組んだ課題「DNA マーカーを用いた水稲「岩南 23 号」の穂いもち圃場抵抗性に関する解析」においては、「岩南 23 号」が穂いもち圃場抵抗性遺伝子 Pb1 を高い確率で持つことを明らかにし、研究成果として取りまとめた。

直播品種の開発に資する目的で取り組んだ課題「直播水稲選抜のための耐ころび型倒伏性指標品種の選定」では、寒冷地における直播品種・系統選抜のための指標となる品種を明らかにし、研究成果として取りまとめた。

2003 年の冷害において耐冷性「極強」の「いわてっこ」に不稔が多く発生したことから、低温の経過と品種の関係から、その要因を明らかにし、指導資料として取りまとめた。

委託試験では、京都大学を中心に取り組まれている「圃場インターフェイス型シミュレーターの開発」の課題の中で、供試 11 品種の寒冷地におけるいもち病抵抗性のデータを収集した。さらに、最終年のため、2003 年 12 月 24 日～25 日に当センターにおいて、Asian Rice - Research Network Meeting を開催し、本課題に係る研究者により過去 3 年間の研究成果検討を行った。

### 応用生物工学研究室

当研究室は、1. 遺伝子組換え作物の特性調査、2. 地域遺伝資源の利用、3. 革新技術支援の 3 つを柱に研究を実施している。

1. 遺伝子組換え作物の特性調査：生工研で育成した組換え水稲やリンゴを対象に、耐病性検定手法の確立や接種検定による特性評価を実施している。水稲では閉鎖系温室内における検定対象病害であるいもち病の安定した誘発技術と接種技術について検討中であり、16 年度中に成果として取りまとめる予定である。リンゴでは、主要な糸状菌病に対する評価を終了し、成果として取りまとめた。

2. 地域遺伝資源の利用：主に増殖技術の開発を内容とするこの分野では、リンドウ F1 品種の採種用親株の増殖

に関して、エゾリンドウの主要な 4 系統の葉片由来の増殖株を対象として、生育の斉一性や雌雄生殖器官の機能、さらには増殖株を用いた交雑後代の調査により、葉片由来増殖株が採種用親株として利用できることを明らかにし、成果として取りまとめた。農業新技術現地実用化（21 世紀型）で取り組んでいるサトイモの産地強化試験では、北上市の二子芋を材料に、培養苗、及び培養苗由来芋の追跡調査を実施し、年次毎の生育特性とその有効な利用方法を示唆すると共に、培養による効果は 3 年目には無くなり、慣行芋と同様になることを明らかにし、成果として取りまとめた。次年度からはこれらの成果を利用し、普及センター、JA の協力を得ながら現地試験を実施する。

3. 革新技術支援：キクにおいて診断が難しく、生産上問題のある TSWV（キクえそ病病原ウイルス）の ELISA 法による検定は、葉よりも茎を検体とすることで確実な診断が可能であることを明らかにした。また、市販の診断キットを用いる場合でも茎を検体とすることで、現地での簡易で迅速な診断が可能であり、現場のスキルアップにつながる成果として取りまとめた。

### 生産工学研究室

当研究室では水稻育苗・移植作業の軽労化を目的として「ロングマット水耕苗移植栽培技術」の実用化研究を進めてきたが、本年度はこの目的に賛同を得た農家を 2 戸選定して現地導入実証を行った。今回は移植時に近隣の農家が集まり、テレビでも紹介されたことから反響が大きかった。来年度は農家自ら育苗に取り組むところである。

麦・大豆立毛間播種栽培については、寒冷地の当県にとって 2 年 3 作を実現し農地の高度利用を図る手だてとして有効な技術であるが、雑草管理技術の開発など難しい部分があった。本年度は播種直前中耕などの技術導入によりこの点を解決して 2 年 3 作体系を研究成果として取りまとめた。

また、ねぎの省力機械化実証結果を取りまとめ、全自動収穫機と根葉切り皮むき機を利用することにより慣行作業対比で 62% と、大幅な省力が可能であることを研究成果として示した。

グランドカバープランツの動力吹付緑化工法については、前年度施工箇所での初めての越冬であり植種による生育の差異があったが、秋までにほぼ全面が被覆された。また、本年度は現地での施工実証を行った。

環境に配慮した農村整備手法の確立では、前年の調査結果よりホタル水路をカワナが生息可能な環境とするために石灰石の設置を実施した。今後は良好な植生繁茂などに取り組む。

傾斜畑の土壌流亡防止対策としては、ほ場表面流を集中させず流速を抑え速やかにほ場外へ導水すること、ほ場末端部にグリーンベルト等の緩衝地帯を設けることなどが考えられた。また、水田ほ場整備関係では、ほ場整備後の不同沈下抑制のためには、施工前に基盤土の含水状態を低めにかつ一定に近づけておき、施工時に重機の走行軌跡を分散させることが必要であることを明らかにした。

## (3) 園芸畑作部

### 果樹研究室

果樹研究室では、リンゴの栽培試験および品種改良を主体に、ブドウ、西洋ナシ、オウトウ、ブルーベリーなどの樹種に係る試験を実施している。

リンゴでは、JM 台木を利用した省力的な低樹高化栽培による省力化、軽労化、低コスト化技術の開発を目標に、新技術地域実用化研究促進事業により「リンゴわい化栽培における省力・安定生産のための JM 台木利用・早期成園化技術の開発」試験を進めている。15 年度は本事業の最終年度にあたり、改植園地における JM 7 台木の特性等を明らかにするとともに、JM 台木の特性や繁殖法など 5 年間の研究結果を取りまとめた。

また、地域基幹農業技術体系実用化研究「新素材新省力技術を基幹とした高品質・値頃感リンゴの生産技術」により、これまでの外観本位から、消費者が求める食味本位の果実生産に重点を置いた省力栽培技術の開発を目指した研究に取り組んだ。この課題は、着色管理を限りなく省力した食味本位のリンゴ（葉取らずリンゴ、糖度保証リンゴ、蜜入りリンゴ、丸かじりリンゴ等）を安定的に生産し、栽培コストの低減を図るとともに、非破壊選果機を高度に利用した品質評価技術により、手頃な価格で消費者が満足する果実を提供する技術を確立し、需要の拡大を図ろうとするものであり、15 年度は食味本位の栽培に適した樹相診断基準、摘花・摘果剤利用による摘果作業の省力効果、摘果剤による着色管理の省力効果を明らかにした。

リンゴの品種改良では、「きおう」に続く岩手の地域特性を生かせる、早・中生種を主体とした交雑育種に取り組んでおり、本年度は奨励品種に採用された「岩手 6 号」の品種登録申請を行い、6 月 27 日に「黄香」の名称で出願が受理された。また、「黄香」が斑点落葉病に対して高い抵抗性を有することを明らかにした。さらに、「王林」に代わりうる有望品種として「シナノゴールド」の特性解明を開始した。

ブドウでは、短梢棚を活用した大粒種の栽培技術開発及びヤマブドウの結実促進技術の開発を進めている。また、品種開発では 5 系統を二次選抜に編入している。

西洋ナシ、オウトウ、ブルーベリーについては、国内外の有望品種の本県への適応性と特性検定を主体に試験を実施している。

## 野菜畑作研究室

畑作物では、実需者ニーズに対応した高品質・安定生産技術及び超省力・低コスト生産技術体系の確立が求められており、優良品種選定・栽培法試験に加えて、最終年度を迎えた地域基幹研究「不耕起・無中耕・無培土栽培を基幹とした大豆の超省力栽培技術の確立」及び県単事業「小麦の冬期播種栽培技術の確立」、中間年度の「麦・大豆立毛間播種栽培技術の開発」等に取り組んだ。新規課題では「麦後大豆の高品質栽培技術の確立」に着手した。有望視した品種・系統としては、大豆の極早生品種「ユキホマレ」、納豆用極小粒系統「東北146号」等であった。

野菜では、労働力の脆弱化が進行する中で、消費者や食品産業等のニーズに合った生産出荷を進めるとともに、生産基盤の強固な経営及び産地の育成が課題となっている。そのような中で、新規課題としては国庫委託の「東北北部内陸地域におけるイチゴ夏秋どり新作型の開発」及び県単事業の「果菜類の低コスト灌水施肥栽培技術の確立」に着手した。また最終年度を迎えた、北上市及び遠野市で実施している「21世紀型農業経営モデル実証試験地事業」等、継続課題に引き続き取り組んだ。

本年度の試験研究成果としては、「普及」区分で「小麦の冬期播種栽培技術体系」、「だいでず不耕起栽培技術と作付体系への導入法」、「品種 はとむぎ‘東北3号’」、「指導」区分で「ピーマン PMMoV 抵抗性品種‘京鈴’‘さらら’の特性と導入上の注意事項」、「ねぎの7月穫り作型におけるチェーンポット育苗の適応性」等、合計12成果をとりまとめた。

## 花き研究室

花き研究室では、国際化や消費動向の変化に対応できる寒冷地型花きの生産技術を確立するため、重点品目を中心としたオリジナル品種の育成を図るとともに、気象条件を活用した新商材の開発や長期継続出荷できる生産技術の確立に取り組んでいる。

品種開発では、りんどうの極々早生品種や新しい花色・花姿の品種を育成すること、スプレータイプの小ぎく「アイマム」シリーズの花色・開花期の幅を広げること、スターチス「アイスター」の花色の幅を広げること、ゆりの小輪系品種等を育成すること、を目的に選抜を行った。本年度は、小ぎくの「アイマムシリーズ」として、「オレンジ、レッド」の2品種を育成し、県の奨励品種とした。

なお、りんどう種子の安定供給による生産振興を図るため、本年度から新たに政策形成プロジェクトで「りんどう生産拡大緊急対策事業」を実施することとなり、親株の大量増殖や新規親系統の収集に取り組んだほか、採種用親株ハウスに冷房装置等の施設設備の整備を行った。

新商材開発では、枝物花木について 品目選定と栽培特性の解明、効率的増殖法と育苗技術の確立、栽植方式や整枝・仕立て法の確立、等を進めるとともに、「いわて乙女」の安定生産技術の確立等に取り組んだ。

長期継続出荷技術については、小ぎくの作期拡大や鉢物りんどうの開花調節等に取り組んだほか、宮古地域において、沿岸の気象条件を活用し施設を利用した花き周年生産モデル経営の確立実証に取り組んだ。

また、りんどうこぶ症の発生実態と原因の解明を図るため、土壌作物栄養研究室及び病理昆虫研究室と共同で、発生実態調査や植物ホルモン剤の影響調査等に引き続き取り組んだ。

## 南部園芸研究室

現在地（標高15mの平坦地）には場を移転して試験を開始してから、平成15年度は3年度目となった。

県南部や沿岸地域の気象条件を活かした野菜花き園芸技術の開発研究とともに、特色ある園芸産地形成のための地域実証試験を実施している。

花きに関する試験では、アレンジメントアスターの隔離床による栽培法やアネモネの年内穫り作型における高品質栽培のための種・定植時期についての試験を行った。また、太陽光発電を利用してヒートポンプによるトルコギキョウの冷房育苗を行い、品質向上を図るための試験を行った。

野菜に関する試験では、イチゴの短日処理による秋出し超促成作型の確立のための適品種の検討、寒冷地における夏秋イチゴの生産安定技術の確立のための種子系イチゴ品種の株仕立て法の検討、イチゴ低温カット栽培における高設栽培技術の確立のための省力的な施肥法についての検討を行った。

また、高規格ガラス温室を利用したトマトの養液栽培による周年栽培の本県における導入の可能性についての知見を得るための実証試験を行ったほか、省力化・高品質栽培技術の確立のための少量土壌培地耕によるイチゴのベンチアップ栽培やトマト栽培についての試験を実施した。

特に、本年度までイチゴの品種「さちのか」の特性を評価した結果、大果率、糖度及び硬度が高く、品質の優れた品種であり、本県において「女峰」に替わる促成品種であることを明らかにした。（試験研究成果[普及]）

なお、「さちのか」は今年度本県の奨励品種に選定された。



#### (4) 生産環境部

##### 環境保全研究室

持続的生産管理技術体系の確立に向け、以下の試験研究に取り組んだ。

農業農村が持つ環境保全機能維持に関して、水田環境の評価法を検討するために、有機物施用、農薬使用状況の異なる水田や用・排水路でのヤゴ等水生昆虫の生息状況を調査した。また、育苗箱施用殺菌剤および初中期一発除草剤の成分はアカネ属トンボ幼虫羽化率への影響が小さいことを明らかにした（研究成果・研究）。

肥料・農薬等に起因する負荷軽減に関して、今年度から環境影響が懸念される硝酸性窒素について化学肥料削減等による負荷軽減効果の評価を開始した。また、農薬について水稲減農薬栽培地域の環境負荷軽減効果を評価するため、水系における農薬残留調査を開始した。

持続的生産管理技術の総合組立に関して、大豆、主要野菜 9 種類、りんごについて農薬、化学肥料投入の実態を明らかにし、新しい特別栽培農産物認証制度に対応した客観性のある慣行レベル策定に資するため、農薬使用実態等を取りまとめた（研究成果・行政）。また、水稲では温湯浸漬法、プール育苗、ケイ酸資材等の代替技術および地域の病害虫発生リスクに対応した農薬の選択で減農薬栽培が可能となることを示すとともに（研究成果・指導）、キャベツについて早春まきまたは防虫ネットの利用により殺虫剤を使用せずに栽培できることを提示した（研究成果・指導）。さらに、有機農産物（トマト、ピーマン）の栽培と関連して、有機物の施用が土壤の化学性（塩基バランス）や微生物性（グルコース吸収速度）に大きく影響することを明らかにした（研究成果・研究）。

食の安全・安心支援に関して、水稲の栽培管理およびホウレンソウ、キャベツ、ネギ等の品種利用によるカドミウム吸収抑制試験を開始した。また、米、果菜類についてイムノアッセイによる簡易農薬残留分析法の適用性に関する試験を開始した。

##### 土壌作物栄養研究室

土壌作物栄養研究室の取り組んだ課題は有機循環・持続農業関係と土壌・栄養診断関係に大別される。

有機循環・持続農業関係で、堆肥づくりはマニュアルスプレッダーを用いた家畜ふん堆肥と農作物残渣の混合堆肥化と利用技術を提案した（研究成果・指導）。また県内堆肥センター産たい肥は乾物窒素濃度と利用率を考慮することで、水稲の 50% 減化学肥料栽培に利用できることを明らかにし、現地試験への応用を提案した（研究成果・研究）。堆肥の土壌に対する影響はこれまでの有機物連用試験で整理し、畑土壌では化学肥料の土壌酸性化防止に牛ふん堆肥が有効であり、鶏糞や豚ふん堆肥を用いた無化学肥料栽培も土壌酸性化を防止できること（研究成果・指導）、水田では有機物連用の土壌中養分蓄積傾向が土壌型により異なる傾向がみられることを明らかにした（研究成果・指導）。また持続農業の一つである特別栽培農産物の慣行レベル策定が昨年水稲に引き続き求められ、野菜、果樹、畑作物の現地での施肥指導の実態を調査してとりまとめた（研究成果・行政）。

土壌・栄養診断は有機循環や持続的農業を支える基礎技術である。土壌診断ツールとしてフラットベッドスキャナーで簡易に土壌炭素が推定できることを示した（研究成果・研究、特許出願中）。また春先の降水量が少ない年は乾土効果を考慮し水稲での窒素減肥対応を行う診断指標を示した（研究成果・指導）。水稲減農薬栽培にも関係する可給態ケイ酸の測定法はリン酸緩衝液法が水稲のケイ酸吸収と相関が高く、従来の診断珪酸法に変わる手法として提示した（研究成果・指導）。栄養診断では夏秋どり露地きゅうり栽培における栄養診断部位を明らかにした（研究成果・研究）。H15 の最大トピックであった冷夏の気象条件は、水稲幼穂形成期や減数分裂期の栄養診断に基づく追肥対応が不可能であった。しかし結果的に H15 水稲冷害に及ぼした施肥や有機物管理の影響は H5 冷害に比較して小さく、減数分裂期低温遭遇のタイミングが栄養状態よりも障害不稔発生に大きく影響したことが分かった。その中でも低地力土壌における堆肥の施用効果は今年度も増収に結びついた。

##### 保鮮流通技術研究室

推進構想に定める試験研究の基本方向 5「地域特性を生かしたオリジナルな農畜産物の加工・流通技術の開発と販売手法の確立」を推進するため、食の安全に対応した県産農産物の多面的品質評価技術、農産物の流通中の高鮮度貯蔵・輸送技術、そして アグリビジネス創出・地産地消運動に対応した地域特産加工品の開発に取り組んだ。

このうち、県産農産物の多面的品質評価技術に関しては、おいしさ、栄養、機能性の評価法の確立と実用化を目標に、寒締め菜っぱやキャベツの栄養成分の変動実態を調査するとともに産地で簡便にできる簡易成分評価法の普及実用化、黒大豆えだまめ「ちゃげ丸」の食味にもとづく収穫適期の設定を行った（研究成果・指導）。また、雑穀の新たな系統の機能性や食味関連形質の評価を行った。

農産物の高鮮度貯蔵・輸送技術に関しては、流通事情に応じたトマトの予冷法（研究成果（追補）・普及）、ねぎの真空予冷条件や保蔵流通における温度管理の留意点を明らかにした（研究成果・研究）。葉菜類の通いコンテナ流通上の課題解決方策、蜜入りりんごの出荷時期拡大技術など、本県農産物のおいしさを消費者に届ける技術の確立に

つとめた。

さらに、地域特産加工品の開発に関しては、衣川村特産のハトムギ、大船渡地方特産の柿、本県特産のモチ米、雑穀、及びりんごのオリジナル商品の開発に取り組んだ。その結果、ペースト状ハトムギ茶の製造技術（研究成果・普及、特許出願中）、餅加工における浸漬短縮技術（研究成果・普及）、白ヒエのレトルト粥製造技術（研究成果・普及）の開発に成功した。これらの技術は、農村加工品の商品力向上や、産地と地場食品企業との連携による食品加工に役立つよう、技術移転を行う予定である。また、県産小麦の製パン利用のための適地マップづくりや、主要農産物の食品産業における商品化条件の解明に取り組んだ。

## (5) 病害虫部

### 病理昆虫研究室

持続性が高く、安定性のある農業生産の展開を目指した病害虫制御技術の確立を進めるため、効率的病害虫防除技術の開発、環境にやさしい病害虫防除技術の開発、農薬使用量を削減した病害虫総合管理技術（IPM）の開発に取り組んだ。

水稲分野では、ばか苗病、苗立枯細菌病及びもみ枯細菌病に効果の高い生物農薬トリコデルマ・アトロピリテ水和剤の特性と使用法を示し普及に移す成果とした。また、水稲初期害虫を箱施用剤により地域一斉に防除すると2～4年間無防除にできることを明らかにし、本年の発生量から翌年の防除要否を判断するための基準を確立し普及に移す成果とした。また、平成15年産種子の病原菌汚染調査を実施し、冷害年産でみられるいもち病菌や苗立枯病を引き起こすトリコデルマ菌の汚染が確認され、平成16年育苗対策について緊急に取りまとめた（水田作研究室、環境保全研究室と共同）。

果樹分野では、りんごの難防除病害である紫紋羽病に対し効果の高いフルアジナム水和剤の使用法を示し普及に移す成果とした。また、性フェロモン剤利用りんご園において、年間12回散布とする病害虫防除回数削減モデルを構築した。

野菜分野では、ピーマン主要害虫に対し生物農薬と紫外線除去フィルムや防虫網等物理的防除法を組み合わせたIPMを開発し普及に移す成果とした。また、平成14年に発生が確認されたきゅうりの難防除病害であるホモプシス根腐病について、有効薬剤の検索を試みたがいずれも効果不十分であった。

花き分野では、りんどうこぶ症に対する土壌消毒剤の効果は判然としなかった。ウイルス等の関与については弘前大学の協力をいただいているが未だ結論が得られていない。また、リンドウ褐斑病の発生生態を解明し、効果的な防除法を示し普及に移す成果とした。各作物の病害虫防除試験の結果に基づき、より効果的な防除が行えるよう平成16年度病害虫防除基準を改訂するとともに、内分泌攪乱作用が懸念される農薬を7剤削除した。また、登録農薬が極めて少ない地域特産農作物のホップ、根みつばについて、登録取得に向けて薬効、薬害等試験を実施した。

## (6) 畜産研究所

### 家畜育種研究室

本県の気候・風土に適し、高品質・低コスト生産が可能となる優良種畜の作出（造成）や肥育技術の向上のための技術確立に取り組んでいる。

日本短角種の優良種雄牛の作出について、直接検定20頭を実施し、1日当たり平均増体量（DG）は1.31kgであり、平成16年度現場後代検定開始予定牛6頭（選抜率30%、平均DG1.33kg）を選抜した。間接検定は「敏琴」「系月」「玉99017」の3種雄牛について終了した。県有優良短角種雄牛「勝富」「高福」「辰錦」「川辰」の人工授精用凍結精液を生産した。

また、日本短角種個体認証システムを確立するため、短角母牛と子牛全個体約3000頭の血液採取を実施するとともに、飼養農家の同意を得ながら血統、枝肉、DNA情報の短角牛データベース構築に取り組んだ。

黒毛和種放牧肥育素牛の肥育特性について、舎飼牛と比較し肉質では差がなく、増体では同等又はそれ以上であることを明らかにした。

日本短角種の肥育試験では、「いわて短角和牛」適正出荷のための肥育試験を実施し、飼料給与方法による出荷体重、歩留基準への影響を明らかにするとともに、全期粗飼料多給型肥育技術の確立のための試験や肉質評価の独自基準に係る消費者アンケートを実施した。

養豚では、食品リサイクル飼料による肥育試験を実施し、枝肉成績に大きな影響なく飼料費を低減させることを明らかにした。

養鶏では、岩手県在来の天然記念物「岩手地鶏」を活用し、平成8年度から単鶏×（有色コーニッシュ×岩手地鶏（赤笹））交配鶏の選抜淘汰を繰り返し作出した基礎鶏雄と最も適した雌系を決定する組み合わせ試験を行い、ホワイトロック×ロードアイランドレッド（雌）との交配により発育や食味に優れた本県独自の特産肉用鶏を開発した。

## 家畜飼養研究室

地域資源の活用による自給飼料を基本とした生産性の高いゆとりある酪農経営を構築するため、高位乳生産の飼養管理及び省力管理技術の確立に取り組んだ。

子牛の育成技術では、5～7ヶ月齢の乳用雌子牛をペレニアルライグラス放牧草地に粗飼料の給与を随時組み合わせての集約放牧を検討した。放牧期間の DG0.94kg と良好であり、初回授精の目安とする体重・体高へはそれぞれ 12.0・11.5ヶ月で到達したことで、併給飼料を組み合わせた集約放牧は標準発育値を上回る技術であることを確認した。また、育成後期牛（16ヶ月齢～分娩前 28日）の同草種放牧草地における集約放牧試験でも放牧期間の DG0.87kg と標準発育値を上回ったことから、受胎牛の集約放牧でも妊娠を継続しながらの発育も十分確保できる管理技術であることを明らかにした。

高位乳生産を目標とする飼養管理技術では、ET 技術により造成された牛群の能力検討と併せてルーメンパイパスアミノ酸製剤を飼料添加する試験により、高泌乳量・高蛋白乳など産乳性向上への効果について研究を継続している。

省力管理技術試験において、搾乳ロボットの多回搾乳が繁殖性に及ぼす影響について検討した。分娩後の初回発情（45日以内）、人工授精の実施可能日（80日以内）とも 2 回搾乳と同様の日数であることが判明した。哺乳ロボット（自動哺乳装置）の応用試験では、哺乳の基本となる馴致回数が哺乳牛一括導入に比較し順次導入では少ないことから、馴致経験牛の哺乳行動が順次導入牛の馴致を促す効果のあることが認められた。

## 家畜工学研究室

牛の改良と増殖を促進するために遺伝子解析技術、胚移植技術ならびに核移植技術等のバイオテクノロジー課題について基礎研究と応用化研究に取り組み、成果の普及、啓発に努めている。

胚移植技術では、パイオプシー胚の受胎率向上を図るため Open Pulled Straw を用いた超急速ガラス化法について検討したところ生存性の高い保存技術であることを実証した。2 胚移植による双子生産では、両側子宮角移植が血液キメラの発生を軽減することを明らかにする一方で、血液キメラは DNA 解析による個体識別を困難にするため、識別には毛根の併用が必要である点を実証した。

短期種雄牛造成技術の確立を目的とした体細胞クローン技術の課題は最終年となり、異常産と染色体の関連、遺伝的相溶性比較、技術活用の効果について検討した。その結果、ドナー細胞の継代による染色体異常出現は軽微なものであり、融合や培養系が染色体異常の要因として示唆された。相溶性検討では、ドナー牛とクローン牛の表現型が極めて類似すると共に DNA は全く一致することを確認した。技術活用により種畜造成が 1.5 年短縮し、低コストな手法となることを明らかにした。クローン技術の発展はさらなる種雄畜造成期間短縮の可能性を示唆し、新たな課題として取り組むこととなった。体細胞クローン産子は累積で 5 頭のドナー細胞を供試して 7 頭取得した。

遺伝子解析では、黒毛和種の産子に発生する半致死性遺伝病の内水頭症と遺伝性疾患が疑われる乳頭異状について、原因遺伝子特定のため解析を実施している。内水頭症は、常染色体劣性遺伝病であり、原因領域は 3 番染色体のセントロメア近くに存在することを世界で初めて明らかにすると共にマーカー診断法を確立した。現在、原因遺伝子特定に向けて研究を継続している。また岩手県では黒毛和種産子に乳頭の数、形状等の異状を示す事例が散発し、原因の究明が求められているため家系調査と DNA 解析を開始した。他の DNA 解析では、親子判定、DM 牛の保因検査等の実施、日本短角種の個体識別のための有効なマーカーセットを構築した。

## 飼料生産研究室

本県の畜産を安定的に推進するため、良質粗飼料の効率的な生産と圃場還元を目的とした家畜糞尿処理技術の開発のために試験に取り組んでいる。

優良草種・品種の選定課題のうちとうもろこしでは、国・公立機関で育成された系統のうち北海道農業研究センター育成 1 系統、畜産草地研究所育成 1 系統、長野県中信農業試験場育成 3 系統、計 5 系統について検討した。乾物収量では標準品種比較して同程度か少なく、黒穂病についても同程度か弱い傾向にあった。

また、市販とうもろこし品種についても同様な調査を行い、極早生種 1 品種、中生種 5 品種が、耐病性、乾物収量、TDN 収量とも標準品種に比較し優れる結果を得ている。引き続き調査を行い H16 年度には推奨品種候補として選抜する予定である。

ソルガムについては市販 12 品種の中から収量性、耐倒伏性に優れた中生品種「FS5（ゴールドソルゴー）」及び極晩生品種「東山交 22 号（秋立）」の 2 品種を推奨品種として推薦したほか、中型ロールベラーを使ったソルガム収穫調製技術を開発し成果として提案した。牧草部門では、採草用牧草の播種基準策定において、基幹草種（OG, TY）に組み合わせる草種としてイタリアンよりペレニアルライグラスが優れていること、基幹草種同士の組み合わせは競合により TY の維持が困難であること等の知見が得られ、中標高地の播種基準策定に向け次年度の試験を進めることとしている。

細断型ロールペーラーの基本性能調査では、2条刈りハーベスター使用時で作業能率が21.4a/hrであり、作業が2名で行えることから延べ労働時間が従来体系にくらべ43%と省力的であること。また、調製したロールペールサイレージ品質も安定しており夏期給与時の品質劣化や廃棄ロスが微量であることを明らかにした。次年度は収穫体系における効率的なハンドリング手法について試験を予定している。

家畜ふん尿処理関係では、液状コンポスト調整システムの確立で、曝気によるBODの低減化や臭気強度・臭気指数の改善効果を明らかにした。また、曝気中の温度は雑草種子死滅のための十分な温度と時間を保持することから肥料としての利用性が高いことがわかった。H16年では調整過程で分離される固形分(家畜ふん)の堆肥化特性について調査を予定している。

## 外山畜産研究室

中山間地域における肉用牛振興を推進するため、公共放牧地の高度利用による黒毛和種肥育素牛の放牧管理技術の確立に取り組んでいる。

これまで試験成果として公表してきた黒毛和種放牧子牛の発育向上技術についての現地実証試験を実施した結果、集約的な体系で親子放牧を行うことにより、子牛の放牧時の発育が標準発育並みとなり、舎飼育成子牛と同等の市場上場時体重及び市場価格が期待できる。又、複合経営においては、放牧利用により増頭が可能となり、舎飼農家以上の所得が期待できることを明らかにした。

集約放牧における草地の季節生産性平準化について検討し、初夏施肥と8月上旬の追肥により年間収量を減収させることなく、8月以降の後期生産割合の増加が認められた。

粗砕カキ殻の施用が土壌PH及び牧草に及ぼす影響を検討した結果、土壌PH矯正効果が認められ、土壌改良資材として利用可能であることが示されたことから、平成16年度新規課題で適正施用量等についての検討を行う。

放牧地における林地配置が水度保全機能に果たす役割について検討を行い、等高線上に50m間隔で巾30mに配置した中間林帯により、造成後30年経過した公共牧場において、草地崩壊防止等の水度保全機能が維持されていることを明らかにした。

日本短角種DM牛の基礎群の造成と繁殖・発育特性について検討し、DMヘテロ繁殖雌牛を10頭(農家からの買い上げ8頭、研究室保有牛2頭)確保し、人工授精により9頭が受胎した。又、DMホモ子牛(雌)の発育はノーマル子牛に比べ、体重、体長、体高、十字部高はほぼ同等であるが、寛幅、座骨幅が大きい傾向が見られた。

## 種山畜産研究室

黒毛和種改良事業「いわて和牛改良増殖対策事業」の一環として、県内産黒毛和種種雄牛候補17頭を選抜するとともに畜産研究所生産の受精卵雄産子3頭計20頭の直接検定を実施し年度内に12頭終了、残り8頭については平成16年6月までに終了する。全頭終了後検定成績、血統、体型、母牛の育種価等総合的に検討し後代検定用種雄牛として6頭を選抜する。また、平成11年度の直接検定により選抜された「秀福菊」「北勝次郎」「糸安菊」「磐勝倉」「菊晴光」「平茂夏」の6種雄牛について間接検定を実施し下記の成績が得られた。

ア．1日当たり増体量(kg)

平茂夏(1.11) > 糸安菊(0.97) > 磐勝倉(0.94) > 北勝次郎(0.93) > 秀福菊(0.90) > 菊晴光(0.80)

イ．口-ス芯面積(cm<sup>2</sup>)

平茂夏(52) > 糸安菊(51) > 秀福菊(49) > 北勝次郎(45) > 磐勝倉(44) > 菊晴光(44)

ウ．脂肪交雑(BMS)

糸安菊(4.0) > 平茂夏(3.3) > 菊晴光(3.3) > 北勝次郎(3.2) > 磐勝倉(2.6) > 秀福菊(2.5)

平成15年度間接検定が終了した種雄牛のうち、「糸安菊」「北勝次郎」「平茂夏」は脂肪交雑、バラの厚さ及び枝肉重量の成績が全国平均を上回ったことから、県有種雄牛に選抜され凍結精液の供給を開始した。特に「糸安菊」は脂肪交雑(BMS)成績は全国歴代6位に位置し、「平茂夏」については枝肉重量及び1日当たり増体量が全国平均を大きく上回る成績であった。

平成14年度に現場後代検定を開始した「菊茂勝」「滝夏恒」「平照幸」の3種雄牛については、平成16年2月までに調査が終了し、その枝肉格付成績から肉質等級4・5率が75%と優秀な成績であった「菊茂勝」が県有種雄牛に選抜され凍結精液の供給を開始した。

## (7) 県北農業研究所

### 営農技術研究室

県北地域の特色を生かした環境保全型農業技術の開発、野菜等の省力機械化技術の確立に関する試験研究に取り組んだ。

環境保全型農業技術に関しては、化学肥料低減技術の分野では、「ながいも栽培における岩手町大規模養豚団地産発酵豚ふんの利用法」(試験研究成果 普及)を明らかにし、地域有機物資源による基肥窒素量の全量代替技術を確立した。また、「いわてっこ」の期待生育量と栽培法」及び「いわてっこ」の生育栄養診断基準」(試験研究成果 普及)を策定し、安定栽培の基準を明らかにした。さらに、土壌改良資材や稲わら腐熟促進資材を含む肥効調節型肥料の水稲への一発施肥技術について検討し、「水稲栽培における秋一発施肥法」(試験研究成果 研究)として取りまとめた。畜産由来有機物活用の分野では、奥中山地域における液状コンポスト調製利用システムの確立試験を継続実施し、16年度までに液状コンポストの草地や飼料作物への利用技術の確立を目指す。

省力機械化技術に関しては、大豆・小麦の2年3作等を可能とする立毛間播種栽培技術の開発に取り組み、「畑地帯における大豆・小麦立毛間播種栽培の雑草管理技術」(試験研究成果 研究)として取りまとめた。また、ほうれんそう調製機の効率的運用によりさらなる省力化を図るため、「ほうれんそう品種の調製機適応性判定指標」(試験研究成果 指導)を取りまとめた。ほうれんそうでは機械収穫が残された課題となったが、引き続き、産地育成研究室と共同で「機械収穫に適したほうれんそうの形態・形質の解明」に取り組んでいる。

### 産地育成研究室

県北地域における野菜、花きの地域適応性技術の確立及び開発技術の現地実証に関する研究を実施している。

野菜では、優良品種選定試験としてキャベツ・ほうれんそう・だいこんについて実施し、今年度はほうれんそう、だいこんの有望品種各1品種の特性を研究成果(普及)にまとめ、「推奨品種」として普及に移した。

また、県北地域の主要野菜品目である雨よけほうれんそうについては、大型経営体育成のための技術開発として、夏期高温時の遮光技術やかん水方法及び効率的な栽植様式について、普及センター設置のリーディングファームと連携・検討し、「ほうれんそうの株充実度と遮光の関係」について研究成果(研究)にまとめた。

さらに、県北地域に自生する山菜ウルイについて、促成用母株養成技術や無加温被覆による半促成栽培技術の確立に取り組み、「簡易被覆によるウルイの早出し継続出荷技術」として研究成果(普及)にまとめた。

なお、カラシナ鋤込みによる萎ちょう病軽減技術や機械収穫に適した品種選定について、2年目のデータ集積を行った。新規課題「高冷地レタスの高位安定生産技術の確立」については、優良品種の選定や腐敗性病害軽減のための耕種的防除対策について、場内及び現地試験(一戸町奥中山)において重点的に取り組んだ。

花きでは、地域基幹研究「中山間地域における産地マーケティングに基づく特産の高付加価値農産物の生産技術」において、中山間地域に適した宿根草・花木の品目組み合わせによる長期継続出荷体系について現地実証(二戸市上斗米)を行い、「宿根草・枝物の品目別収益性」として研究成果(指導)にまとめた。

また、花壇苗については、地域資源を活用した鉢上げ用土の開発、間伐材チップによる鉢上げポットの実用性検討、県北地方に適する新品目の選定に取り組んで。

### やませ利用研究室

県北地域を対象とした水稲、普通畑作物(小麦、大豆等)、雑穀の栽培法や品種の選定及び葉たばこの環境保全型栽培技術に関する研究を実施している。

水稲では、「いわてっこ」について、栽植密度、施肥法、地域別の栽培試験を実施し、期待生育量と栽培法の一部改訂をおこなった。また、平成15年度の異常気象に対応した研究を実施し、異常気象下における作柄実態とその要因を解析し減数分裂期の15日間冷却度と障害不稔発生程度との関連や障害不稔多発時における刈取時期と品質の関連について明らかにした。

普通畑作物では、県北地方に適応する小麦、大豆等の多収・用途に応じた品種の選定や製パン特性に優れた小麦品種「ゆきちから」の栽培法を検討した。また、ダツタンソバの播種期、播種量等の検討をおこない、栽培法を普及に移した。

雑穀では、ひえの無農薬機械化栽培法の現地実証やあわの除草法等の検討をおこなうとともに、雑穀栽培の普及拡大に努めた。

葉たばこでは、環境にやさしい資材として注目されている生分解性マルチの実用性を検討するとともに、分解を促進するための後処理技術についても試験を実施した。

### 3 平成 15 年度試験研究課題

#### (1) 細目課題分類

推進構想分野 担当部署	総課題数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	R	S	T	U	V	W	X	
		水稲	畑作物	果樹	野菜	花き	酪農	肉畜	草地飼料	作物バイオテック	家畜バイオテック	環境保全	土壌作物	病害虫	農業農村	生産システム	農村整備	地域活性化	やませ利用	生物機能	有機農業	保鮮流通	農産物加工	情報利用	
企画経営情報部	21	2	3	1	3		1	1	1							8								1	
農業経営研究室	21	2	3	1	3		1	1	1							8								1	
農産部	92	65	2		2	1				13			1			1	7								
水田作研究室	24	24																							
水稲育種研究室	37	37																							
応用生物工学研究室	15				1	1				13															
生産工学研究室	16	4	2		1								1			1	7								
園芸畑作物部	122		19	39	34	27							3												
果樹研究室	39			39																					
野菜畑作研究室	41		19		22																				
花き研究室	24					24																			
南部園芸研究室	18				12	3							3												
生産環境部	66	5	4	3	5	5						10	19	1	2							4	4	3	1
環境保全研究室	18		1									8	3	1								4			1
土壌作物栄養研究室	27	5	1	1	2	3						2	13												
保鮮流通技術研究室	21		2	2	3	2							3		2								4	3	
病害虫部	25	1	3	1		2								16						2					
病理昆虫研究室	25	1	3	1		2								16						2					
畜産研究所	50	1					12	17	13		6	1													
家畜育種研究室	11							8	2		1														
家畜飼養研究室	8						8																		
家畜工学研究室	5										5														
飼料生産研究室	16	1					4		10			1													
外山畜産研究室	6							5	1																
種山畜産研究室	4							4																	
県北農業研究所	68	10	13		9	2						3	8	3	10	2			7					1	
営農技術研究室	21		2		1							2	6	3	3	1			2					1	
産地育成研究室	18				8	2							1		3	1			3						
やませ利用研究室	29	10	11									1	1		4				2						
総計	444	84	44	44	53	37	13	18	14	13	6	14	31	20	20	3	7		7	2	4	4	3	3	

(2) 試験研究課題一覧

凡例

- 主査研究室 : 小課題の主査研究室  
 実施区分 : 継; 継続課題、終; 終了課題、新; 新規課題、繰上; 繰上終了、過; 過年度終了、未; 未着手  
 推進構想 : 推進構想分野の中課題コード(小課題のみ記載)  
 連番 : 小課題の連番、課題毎の固有番号はそれぞれの課題名の先頭に( )表記  
 課題名 : 小課題は太字表示、細目課題は1000番代表記、細目1~4まで各桁毎の表記  
 開始・終了年 : 課題の開始年度、終了年度。(平成 H表記)  
 担当研究室 : 小課題は主査研究室名、細目課題はそれぞれの担当研究室名  
 (同一課題を複数研究室で実施している場合には、複数行による表記)  
 予算 : 国庫研究; 国庫補助研究、国庫委託; 国庫(独法)委託事業、民間委託; 民間委託事業、  
 令達; 令達予算研究、県単研究; 県単研究予算、県単採種; 主要農作物採種管理費  
 実施 No : 予算配分されている実施課題の連番。(細目課題をもつ上位課題は実施課題にはならない)

主査研究室 (小課題)	実施区分	主推進構想	連番	(課題番号) 課題名	開始年	終了年	担当研究室	実施区分	予算区分	実施No																			
農業経営	継	D-1-1-2	1	(H15-01) <b>果菜作専作経営育成のための省力技術の経営実証</b>	H15	H17	農業経営	新	-	1																			
				(1000)果菜作経営における専作化のための課題整理	H15	H15	農業経営	終・新	県単研究		2																		
				(2000)果菜類栽培における省力技術の体系化	H15	H15	野菜畑作	終・新	県単研究																				
				(3000)果菜作専作経営に向けた規模拡大・農業労働力の確保 利用調整方策	H16	H17	農業経営	未	-																				
				(4000)果菜類省力技術の体系化総合実証	H16	H17	農業経営	未	-																				
				〃	H16	H17	野菜畑作	未	-																				
	終	N-1-1-4	2	(H15-37) <b>(夏秋期生産を目指したイチゴの)超促成・越年株型経営モデル作成</b>	H15	H19	農業経営	新	国庫委託	3																			
					N-5-1-0	3	(428) <b>農産物の市場動向分析</b>	H13	H17	農業経営	継	県単研究	4																
								N-5-5-3	4	(H15-03) <b>食品産業との連携による農産物加工品の商品化条件の解明</b>	H15	H17	農業経営	新	県単研究	5													
											〃	H15	H17	保鮮流通技術	新	県単研究	6												
											N-1-2-2	5	(729) <b>県南部沿岸地域の小規模農業地域における地域農業再編モデルの策定</b>	H13	H15	農業経営	終	県単研究	7										
														N-2-1-1	6	(700) <b>主業型農家の経営発展過程分析による育成支援方策の解明</b>	H13	H15	農業経営	終	県単研究	8							
																	N-5-2-1	7	(701) <b>担い手の販売能力高度化に対応した産地の成立条件の解明</b>	H13	H15	農業経営	終	県単研究	9				
																				N-5-3-1	8	(483) <b>地域資源を活用した高付加価値農産物の生産・流通システムの確立</b>	H11	H15	農業経営	終	-		
																							(1000)地域農業資源の探索・評価と新商材の需要把握(現地支援研究)	H11	H14	農業経営	過	-	
																							(1200)新商材の市場・消費ニーズの把握	H12	H14	農業経営	過	-	
(2000)高付加価値農産物の生産・流通技術の開発(技術開発試験)	H11	H15	農業経営	過																			-						
(2100)商品特性に対応した流通チャネルの探索	H12	H15	農業経営	終	国庫助成	10																							
(2200)コマツナ等の冬春期安定生産技術の開発	H11	H13	産地育成	過	-																								
(2300)山菜の安定生産技術	H11	H15	産地育成	終	-																								
(2310)ウルイの母株養成技術の開発	H11	H15	産地育成	終	国庫助成	11																							
(2330)有望山菜の生産安定技術の検討	H11	H14	産地育成	過	-																								
(2400)特産的花きの商品化技術	H11	H15	産地育成	終	-																								
(2410)有望品目・有望品種の収集及び選定	H11	H13	産地育成	過	-																								
(2420)有望品目・有望品種の栽培法の検討	H12	H14	産地育成	過	-																								
(2430)宿根草・花木を組み合わせた長期継続出荷体系の確立	H13	H15	産地育成	終	国庫助成	12																							
(2500)雑穀類の高付加価値化技術	H11	H15	やませ利用	終	-																								
(2510)ヒエ・アワの無農薬機械化栽培技術	H11	H15	やませ利用	終	-																								
(2511)ヒエの育苗法の検討	H11	H15	やませ利用	終	国庫助成	13																							
(2512)アワの除草法の検討	H11	H15	やませ利用	終	国庫助成	14																							
(2513)ヒエの無農薬水田移植栽培技術の検討	H11	H15	やませ利用	終	国庫助成	15																							
(2514)アワを中心とした雑穀類の害虫の発生生態の解明と防除対策	H11	H15	営農技術	終	国庫助成	16																							
(2515)ヒエ・アワの乾燥調製法	H11	H15	営農技術	終	国庫助成	17																							
(3000)消費ニーズを踏まえた生産・流通システムの実証(体系化実証試験)	H11	H15	産地育成	終	-																								
(3100)高付加価値花きの生産技術の現地実証	H11	H15	産地育成	終	-																								
(3110)有望宿根草・花木の現地適応性	H11	H14	産地育成	過	-																								

主査研究室 (小課題)	実施区分	主推進構 想	連 番	(課題番号) 課題名	開 始 年	終 了 年	担 当 研 究 室	実 施 区 分	予 算 区 分	実 施 No		
農業経営				(3120)低コスト高品質栽培の実証	H12	H15	産地育成	終	国庫助成	18		
				(3200)高付加価値雑穀の生産技術の現地実証	H11	H15	営農技術	終	-			
				(3210)ヒエ・アワの無農薬栽培現地実証	H11	H15	営農技術	終	-			
				(3212)ヒエ・アワの乾燥調製法	H11	H15	営農技術	終	国庫助成	19		
				(3300)開発技術の経営評価と生産・流通システムの策定	H13	H15	農業経営	終	国庫助成	20		
				(3400)雑穀類の高付加価値化技術	H11	H15	やませ利用	終	-			
				(3410)ヒエ・アワの無農薬機械化栽培技術	H11	H15	やませ利用	終	-			
				(3411)ヒエ・アワの無農薬機械化栽培現地実証	H11	H15	やませ利用	終	国庫助成	21		
				(4000)雑穀の加工適性評価	H12	H14	保鮮流通技術	過	-			
				(5000)雑穀の粒形を活かした加工品の開発	H12	H15	保鮮流通技術	終	国庫助成	22		
				X-2-3-1	9	(751)生産及び流通経済環境の変化に対応した農業経営設計システムの開発	H13	H15	農業経営	終	-	
						(1000)生産及び流通経済環境の変化に対応した農業経営設計システムの開発	H13	H15	農業経営	終	国庫委託	23
		(2000)作物生育適地評価システム開発	H13	H14	土壌作物栄養	過	-					
		(3000)土壌水分予測に基づく効率的かん水技術の開発	H13	H14	営農技術	過	-					
線上	N-6-3-1	10	(H15-02)産地直売施設における情報活用	H15	H15	農業経営	新	県単研究	24			
水田作	継	A-2-6-1	11	(803)水稲奨励品種決定調査	H14	H18	水田作	継	-			
				(1000)予備調査	H14	H18	水田作	継	-			
				(1100)中晩生系統	H14	H18	水田作	継	県単採種	25		
				(1200)早生系統	H14	H18	やませ利用	継	県単採種	26		
				(2000)本調査	H14	H18	水田作	継	-			
				(2100)中晩生系統	H14	H18	水田作	継	県単採種	27		
				(2200)早生系統	H14	H18	やませ利用	継	県単採種	28		
				(3000)現地調査	H14	H18	水田作	継	県単採種	29		
				A-3-1-4	12	(H15-04)水稲湛水直播の安定栽培技術の確立と実証	H15	H17	水田作	新	-	
						(1000)直播水稲の生育安定化及び収量向上技術	H15	H17	水田作	新	県単研究	30
						〃	H15	H17	土壌作物栄養	新	県単研究	31
						(2000)直播栽培の作業性向上技術	H15	H17	生産工学	新	県単研究	32
						(3000)麦豆等復元田における直播栽培技術	H15	H15	水田作	新	県単研究	33
						〃	H15	H15	生産工学	新	県単研究	34
						〃	H15	H15	土壌作物栄養	新	県単研究	35
						(4000)直播導入農家の経営評価と経営発展モデルの策定	H15	H17	農業経営	新	県単研究	36
				A-3-2-1	13	(807)水田雑草の効果的防除技術の開発	H14	H18	水田作	継	-	
						(1000)水稲作用除草剤第2次適用性試験	H14	H18	水田作	継	-	
						(1100)県央・県南地域	H14	H18	水田作	継	民間委託	37
						(1200)県北地域	H14	H18	やませ利用	継	民間委託	38
						(2000)RCヘリを利用した除草剤の散布技術	H14	H14	水田作	過	-	
						(2100)KUH-003K-0.25kg粒剤	H14	H14	水田作	過	-	
				A-4-1-2	14	(58)有望新系統の栽培特性と産米の高品質安定栽培技術の確立	H14	H18	水田作	継	-	
						(1000)水稲粳有望新系統「岩南25号」の栽培特性	H14	H14	水田作	過	-	
						(2000)水稲粳有望新系統「岩手60号、岩手68号」の栽培特性	H14	H18	水田作	継	県単研究	39
						(3000)水稲糯新品種「もち美人」(岩南糯19号)の栽培法	H14	H15	水田作	終	県単研究	40
				A-4-1-3	15	(806)県産米の品質・食味レベルアップ現地栽培実証	H14	H16	水田作	継	民間委託	41
A-4-2-1	16	(805)水稲作況調査と作柄成立要因の解析	H14	H18	水田作	継	-					
		(1000)水稲作況調査	H14	H18	水田作	継	-					
		(1100)県央・県南地域	H14	H18	水田作	継	県単研究	42				
		(1200)県北地域	H14	H18	やませ利用	継	県単研究	43				
		(2000)水稲優良品種の気象反応試験	H14	H18	水田作	継	-					
		(2100)県央・県南地域	H14	H18	水田作	継	県単研究	44				
		(2200)県北地域	H14	H18	やませ利用	継	県単研究	45				
		(3000)水稲作柄成立要因の解析	H14	H18	水田作	継	県単研究	46				
A-5-3-2	17	(740)寒冷地北部における飼料イネ生産給与体系の確立	H13	H17	水田作	継	-					
		(1000)省力・低コスト生産技術体系の実証	H13	H17	水田作	継	国庫委託	47				
		(2000)ミニマム防除体系の確立	H13	H14	水田作	過	-					
		(3000)良質イネホールクロップサイレージ調整技術の確立	H13	H17	飼料生産	継	国庫委託	48				
A-6-0-0	18	(61)水稲原々種生産	S29	H22	水田作	継	県単採種	49				
	19	(62)水稲原種生産	S29	H22	水田作	継	県単採種	50				
終	A-3-1-2	20	(728)大区画水田圃場における圃場畦畔の雑草制御と景観形成技術の確立	H13	H15	水田作	終	県単研究	51			
	A-3-3-1	21	(45)水稲栽培における水田雑草の最小限防除技術の開発	H12	H15	水田作	終	-				
		(1000)移植前作業と単成分除草剤による水田雑草の防除効果	H12	H15	水田作	終	令達	52				
		(2000)移植後の水管理が水田雑草の発生に及ぼす影響	H12	H15	水田作	終	令達	53				



主査研究室 (小課題)	実施区分	主推進構 想	連 番	(課題番号) 課題名	開 始 年	終 了 年	担 当 研 究 室	実 施 区 分	予 算 区 分	実 施 No	
水田作	A-4-1-1		22	(704)米の品質・食味改善診断技術の開発	H13	H15	水田作	終	-		
				(1000)米の品質・食味変動要因の解明	H13	H15	水田作	終	県単研究	54	
				〃	H13	H15	やませ利用	終	県単研究	55	
				(2000)米品質・食味改善診断システムの確立	H13	H15	水田作	終	-		
					(2100)県央・県南地域	H13	H15	水田作	終	県単研究	56
	A-4-1-2		23	(47)水稲有望品種系統の栽培特性	H12	H15	水田作	終	-		
				(1000)「いわてっこ」の栽培特性	H12	H15	やませ利用	終	-		
				(1100)高品質・良食味安定生産のための栽培法の検討	H12	H15	やませ利用	終	県単研究	57	
					(1200)地域適応性の検討(現地試験)	H12	H15	やませ利用	終	県単研究	58
				24	(59)水稲優良種子生産のための発芽能力検定法の確立	H13	H15	水田作	終	県単研究	59
L-1-1-2		25	(343)水稲の生育予測、栄養診断に基づく対応技術の確立	S47	H15	水田作	終	-			
			(1000)水稲栄養の気象・土壌反応(作況)	S47	H13	土壌作物栄養	過	-			
			(2000)水稲作物栄養モデルの作成	H13	H15	営農技術	終	-			
				(2300)いわてっこの生育栄養診断指標	H13	H15	営農技術	終	県単研究	60	
繰上	A-4-2-2		26	(802)籾の加ワレ含量に着目した水稲の刈取り適期診断技術の開発	H14	H15	水田作	繰上	県単研究	61	
水稲育種	A-1-1-2		27	(737)分子マーカーを用いた選抜技術の検討	H13	H17	水稲育種	継	-		
				(1000)分子マーカーを用いた選抜技術の検討	H13	H17	水稲育種	継	令達	62	
				(2000)水稲重要形質と連鎖したDNAマーカーの探索	H16	H17	水稲育種	未	-		
					〃	H16	H17	応用生物工学	未	-	
	A-1-2-1		28	(5)水稲新規需要等対応品種の育成	H1	H22	水稲育種	継	-		
				(1000)水稲新規需要等対応品種組み合わせ親の特性調査	H1	H22	水稲育種	継	令達	63	
	29	(18)水稲品種特性調査	(1000)東北地域の水稲奨励品種比較試験	H7	H22	水稲育種	継	-			
				H7	H22	水稲育種	継	令達	64		
				S59	H22	水稲育種	継	令達	65		
				H13	H15	水稲育種	終	国庫委託	66		
					(3000)イネ・ゲノムシミュレータの開発	H13	H15	水稲育種	終	国庫委託	66
	A-1-2-2		30	(6)水稲高度耐冷性集積系統の育成	H2	H22	水稲育種	継	令達	67	
				(7)水稲高度耐病性集積系統の育成	H2	H22	水稲育種	継	令達	68	
	A-2-1-0		32	(19)水稲品種育成交配試験	S59	H22	水稲育種	継	-		
				(1000)水稲交配試験	S59	H22	水稲育種	継	令達	69	
				(2000)水稲初期世代養成試験	S59	H22	水稲育種	継	令達	70	
				(3000)水稲世代促進試験	S59	H22	水稲育種	継	令達	71	
				(4000)水稲個体選抜試験	S62	H22	水稲育種	継	令達	72	
				(5000)水稲単独系統選抜試験	S58	H22	水稲育種	継	令達	73	
	A-2-1-1		33	(20)稲いもち病抵抗性極強品種・系統の育成	H1	H22	水稲育種	継	-		
				(1000)いもち病真性抵抗性遺伝子型の推定	H1	H22	水稲育種	継	令達	74	
				(2000)葉いもち圃場抵抗性検定調査	S48	H22	水稲育種	継	令達	75	
					(3000)穂いもち圃場抵抗性検定調査	S62	H22	水稲育種	継	令達	76
	A-2-1-5		34	(15)水稲生産力検定試験	S58	H22	水稲育種	継	-		
				(1000)生産力検定予備調査	S58	H22	水稲育種	継	令達	77	
				(2000)生産力検定予備試験系統群	S58	H22	水稲育種	継	令達	78	
				(3000)生産力検定本試験	S58	H22	水稲育種	継	令達	79	
				(3100)早生品種	H9	H22	やませ利用	継	令達	80	
				(4000)生産力検定本試験系統群	S58	H22	水稲育種	継	令達	81	
	35	(16)水稲系統適応性検定試験	(1000)水稲系統適応性検定試験(国公立育成成分)	S39	H22	水稲育種	継	-			
S39				H22	水稲育種	継	国庫委託	82			
				(2000)稲民間育成品種評価試験	H13	H13	水稲育種	過	-		
36	(21)極良食味水稲品種・系統の育成	(1000)食味官能調査	S60	H22	水稲育種	継	-				
			S60	H22	水稲育種	継	令達	83			
			H2	H22	水稲育種	継	令達	84			
			H13	H22	水稲育種	継	令達	85			
				(3000)炊飯米外部構造調査	H13	H22	水稲育種	継	令達	85	
A-2-2-1		37	(22)高度耐冷性水稲品種・系統の育成	H2	H22	水稲育種	継	-			
			(1000)高度耐冷性を有する系統の探索	H2	H22	水稲育種	継	令達	86		
			(2000)障害型耐冷性検定調査	S59	H22	水稲育種	継	令達	87		
38	(23)不良環境地帯向け水稲品種の育成(現地試験)	(1000)中・晩生水稲系統	S59	H22	水稲育種	継	令達	88			
			S59	H22	水稲育種	継	令達	88			
39	(24)育成地間相互交換水稲系統適応性検定試験	(1000)中・晩生水稲系統	S52	H22	水稲育種	継	-				
			S52	H22	水稲育種	継	令達	89			
				(2000)早生水稲系統	H9	H22	やませ利用	継	令達	90	
A-2-2-2			40	(25)低温登熟性に優れる水稲品種・系統の育成	H2	H22	水稲育種	継	令達	91	
A-2-2-3		41	(26)難穂芽性水稲品種・系統の育成	(1000)穂芽性検定調査	S62	H22	水稲育種	継	-		
					S62	H22	水稲育種	継	令達	92	
A-2-3-0			42	(27)直播適応性水稲品種・系統の育成	H3	H22	水稲育種	継	-		
				(1000)直播関連適応性検定法の検討	H13	H15	水稲育種	終	令達	93	

主査研究室 (小課題)	実施区分	主推進構 想	連 番	(課題番号) 課題名	開 始 年	終 了 年	担 当 研 究 室	実 施 区 分	予 算 区 分	実 施 No		
水稲育種				(2000) 直播生産力検定試験	H3	H22	水稲育種	継	令達	94		
			A-2-4-1	43	(28) 超多収水稲品種・系統の育成 (1000) 育成系統の施肥反応試験	H2	H22	水稲育種	継	-	95	
			A-2-4-2	44	(29) 醸造用水稲品種・系統の育成	S63	H22	水稲育種	継	令達	96	
				45	(30) 醸造用水稲品種・系統の加工適性試験	H8	H22	水稲育種	継	令達	97	
			A-2-4-3	46	(31) 水稲糯品種・系統の育成	H2	H22	水稲育種	継	令達	98	
			A-2-4-4	47	(32) 低アミロース水稲品種・系統の育成	H2	H22	水稲育種	継	令達	99	
				48	(860) 採種	S58	H22	水稲育種	継	令達	100	
応用生物 工学	継		I-2-1-1	49	(812) りんどうの組織培養による種間雑種等の作出法	H14	H18	応用生物学	継	県単研究	101	
				50	(H15-06) 玄米、白米などを材料としたDNAマーカー利用による 水稲品種識別	H15	H16	応用生物学	新	県単研究	102	
			I-2-1-2	51	(810) りんどうF1優良個体の大量増殖技術開発	H14	H18	応用生物学	継	県単研究	103	
				52	(814) えぞりんどうの組織培養における維持、増殖システムの 確立	H14	H18	応用生物学	継	県単研究	104	
			I-2-2-2	53	(813) スターチスの低コスト培養システムの確立	H14	H16	応用生物学	継	県単研究	105	
			I-3-1-1	54	(811) りんどうの突然変異体の作出法	H14	H18	応用生物学	継	県単研究	106	
				55	(H15-08) りんご有望台木の再分化技術	H15	H17	応用生物学	新	県単研究	107	
			I-3-2-3	56	(818) 各種病原の検出・診断技術	H14	H16	応用生物学	継	県単研究	108	
			I-3-2-4	57	(293) 小ぎくのウィルスフリー化技術の確立	H12	H16	応用生物学	継	県単研究	109	
				58	(808) りんごのウィルスフリー樹の作出及び検定法の確立	H14	H16	応用生物学	継	県単研究	110	
				59	(815) りんごのウィルスフリー化技術の確立	H14	H16	応用生物学	継	県単研究	111	
			繰上	I-1-2-1	60	(801) 遺伝子導入稲の耐病性評価	H14	H15	応用生物学	終(繰上)	県単研究	112
					61	(809) 耐病性関連遺伝子導入りんごの耐病性評価	H14	H15	応用生物学	終(繰上)	県単研究	113
			生産工学	継		A-3-1-1	62	(H15-05) ロングマット水耕苗移植栽培技術の確立と実証 (1000) ロングマット水耕苗の低コスト効率的育苗・移植技術 の開発	H15	H17	生産工学	新
63	(1000) ロングマット水耕苗の低コスト効率的育苗・移植技術 の開発	H15					H17	生産工学	新	県単研究	115	
64	(1000) ロングマット水耕苗の低コスト効率的育苗・移植技術 の開発	H15					H17	生産工学	新	県単研究	116	
65	(2000) ロングマット水耕苗移植栽培技術の導入実証	H15					H17	農業経営	新	県単研究	117	
66	(2000) ロングマット水耕苗移植栽培技術の導入実証	H15					H17	生産工学	新	県単研究	118	
B-4-2-1	67	(739) 寒冷地における立毛間播種機利用による麦・大豆輪作栽 培技術の開発				H13	H16	生産工学	継	-		
	68	(1000) 麦・大豆立毛間播種体系の導入条件と展開方策				H13	H16	農業経営	継	-		
	69	(1100) 麦・大豆立毛間播種栽培の定着条件の解明				H13	H16	農業経営	継	国庫助成	119	
	70	(2000) 麦・大豆立毛間播種栽培技術の開発				H13	H16	生産工学	継	-		
	71	(2100) 立毛間播種に適應した麦・大豆栽培技術の確立				H13	H16	生産工学	継	-		
	72	(2110) 県央・県南地域				H13	H16	生産工学	継	国庫助成	120	
	73	(2120) 県北地域				H13	H16	やませ利用	継	国庫助成	121	
	74	(2200) 麦・大豆立毛間播種に對した効率的雑草防除技術 の確立				H13	H16	野菜畑作	継	-		
	75	(2210) 県央・県南地域				H13	H16	野菜畑作	継	国庫助成	122	
	76	(2220) 県北地域				H13	H16	営農技術	継	国庫助成	123	
77	(3000) 麦・大豆立毛間播種栽培の現地実証	H13				H16	生産工学	継	国庫助成	124		
78	(3100) 麦・大豆立毛間播種に對した肥培管理技術の確立	H13				H16	土壌作物栄養	継	国庫助成	125		
P-1-1-1	64	(H15-07) 農作業事故防止のための基盤整備手法				H15	H16	生産工学	新	県単研究	126	
P-2-2-1	65	(895) 輪換畑ほ場における暗渠排水管を利用した地下かんがい 及び排水技術の確立				H14	H16	生産工学	継	令達	127	
P-3-1-1	66	(800) 環境に配慮した農村整備手法の確立				H14	H16	生産工学	継	県単研究	128	
	67	(852) 寒冷地におけるグラウンドカバープランツの動力吹付緑 化工法の実証				H14	H16	生産工学	継	令達	129	
P-2-1-1	68	(H15-51) 水田除草機性能確認試験				H15	H16	生産工学	継	民間委託	130	
終	P-2-1-2	69				(462) 重機の走行がほ場整備後の土壌の均一性に与える影響の 解明	H11	H15	生産工学	終	令達	131
		70	(732) 傾斜地畑の土壌流亡防止工法の確立	H13	H15	生産工学	終	令達	132			
繰上	0-2-1-2	71	(817) 水稲育苗ハウスを利用した野菜・花きの簡易な水耕栽培 技術の確立	H14	H15	生産工学	終(繰上)	県単研究	133			
果樹	継		C-1-1-1	72	(839) りんご新しい性台木「青台3」の特性解明	H14	H18	果樹	継	県単研究	134	
				73	(708) 山ぶどう結実安定技術の確立	H13	H17	果樹	継	県単研究	135	
			C-1-1-3	74	(709) ぶどう短梢栽培用平棚を利用した大粒種の栽培法の検討	H13	H17	果樹	継	県単研究	136	
				75	(829) キャンベル・紅伊豆にかわる耐寒性大衆嗜好品種の育成 及び選抜	H14	H18	果樹	継	-		
			C-1-2-1	76	(1000) 寒冷地向きぶどうの系統適応性試験	H14	H18	果樹	継	-		
				77	(1100) 第9回系統適応性検定試験	H14	H15	果樹	終	国庫委託	137	
78	(1200) 第10回系統適応性検定試験	H14	H18	果樹	継	国庫委託	138					

主 査 研究室 (小課題)	実施 区分	主推進 構 想	連 番	(課題番号) 課題名	開 始 年	終 了 年	担 研 究 室	実 施 区 分	予 算 区 分	実 施 No		
果樹				(1300)第11回系統適応性検定試験	H16	H18	果 樹	未	令達	139		
				(2000)国内外育成の寒冷地向き品種の選抜 (生食用、醸造、兼用種等品種の選抜)	H14	H18	果 樹	継		140		
				(3000)耐寒性大衆嗜好品種の育成及び選抜	H14	H18	果 樹	継		141		
			76	(850)果樹に対する植調剤等の利用法	(1000)果樹園用除草剤の効果的使用法	H14	H18	果 樹	継	-	民間委託	142
					(2000)果樹の植調剤及び資材の効果的使用法	H14	H18	果 樹	継	民間委託	143	
					(894)良品質・高品質生産を目的としたウイルスフリー樹の作出	H14	H18	果 樹	継	令達	144	
			C-2-1-1	78	(128)需要拡大のための省力的食味本位リンゴの生産・流通技術の確立	(1000)食味本位リンゴの均質化栽培技術の確立	H12	H16	果 樹	継	-	
						(1100)食味本位リンゴの樹体構成法及び光センサー等を利用した均質化栽培法の確立	H12	H16	果 樹	継	-	
						(1110)食味本位リンゴの樹相診断技術の確立	H12	H16	果 樹	継	-	
						(1111)樹勢要因と果実品質の関係解明	H12	H13	果 樹	過	-	
						(1112)食味本位リンゴの適正着果量の解明	H12	H13	果 樹	過	-	
						(1113)食味本位リンゴの樹相診断技術の確立	H13	H16	果 樹	継	国庫助成	145
						(1120)良食味・均質化のための樹体構成法	H12	H13	果 樹	過	-	
						(1121)樹体内果実品質の分布把握	H12	H13	果 樹	過	-	
						(1122)受光条件と果実品質の関係解明	H12	H14	果 樹	過	-	
						(1123)葉面積指数と果実品質の関係解明	H12	H14	果 樹	過	-	
						(1124)適正な側枝配置法の解明	H14	H16	果 樹	継	国庫助成	146
						(1130)各種資材利用による内部品質向上・均質化技術の確立	H12	H16	果 樹	継	-	
						(1131)光センサーによる内部品質評価法の検討	H12	H16	果 樹	継	国庫助成	147
						(1132)各種資材を利用した内部品質向上・均質化技術の検討	H12	H16	果 樹	継	国庫助成	148
						(2000)食味本位リンゴの省力・低コスト・平易化栽培技術の確立	H12	H14	果 樹	過	-	
						(2100)新植調剤の実用化による摘果作業の削減技術の確立	H12	H14	果 樹	過	-	
						(2110)「ふじ」「さんさ」「ジョナゴールド」などへの新摘花・摘果剤利用技術の確立	H12	H14	果 樹	過	-	
						(2111)新規摘花剤の効果確認	H12	H14	果 樹	過	-	
						(2112)「さんさ」「ふじ」などへの品種適応性の検討	H12	H14	果 樹	過	-	
						(2113)摘果剤の効果安定法	H12	H14	果 樹	過	-	
						(2114)体系処理法の開発と省力効果の確認	H13	H14	果 樹	過	-	
						(2200)新摘葉剤の実用化及び着色系統の利用等による着色管理の大幅削減技術の開発	H12	H16	果 樹	継	-	
						(2210)「ふじ」「さんさ」「ジョナゴールド」など新摘葉剤利用技術の確立	H12	H16	果 樹	継	-	
						(2211)摘葉剤の実用性及び効果安定法の検討	H12	H16	果 樹	継	国庫助成	149
						(2212)摘葉剤処理が樹体生理に及ぼす影響	H12	H16	果 樹	継	国庫助成	150
						(2213)着色評価のための非破壊センシング利用技術の開発	H12	H16	果 樹	継	国庫助成	151
						(2220)着色系統利用及び着色管理の省力化技術の確立	H12	H16	果 樹	継	国庫助成	152
						(3000)食味本位リンゴの鮮度保持・流通技術の確立	H12	H16	保鮮流通技術	継	-	
						(3100)食味本位リンゴの冷温高湿貯蔵技術の確立	H12	H16	保鮮流通技術	継	国庫助成	153
						(4000)食味本位のリンゴ新材の省力的生産体系の実証と消費流通評価	H14	H16	果 樹	継	-	
						(4100)省力・均質化生産体系の実証	H14	H16	果 樹	継	-	
						(4110)高品質均質化技術の実証	H14	H16	果 樹	継	国庫助成	154
						(4200)食味本位リンゴの消費流通調査	H14	H16	農業経営	継	国庫助成	155
						(5000)食味本位リンゴの省力的生産技術導入による経営基盤強化方策の解明	H12	H14	農業経営	過	-	
						(5100)食味本位りんごの省力的生産技術導入による経営基盤強化方策	H12	H14	農業経営	過	-	
						(5110)現行光センサー選果機の活用上の問題点の把握と改善方策	H12	H14	農業経営	過	-	
			(5120)食味本位リンゴの生産体制及び流通機構の実態解析と改善方策	H12	H14	農業経営	過	-				
			79	(851)果樹の生育と果実品質変動要因の解明	(1000)りんごの生育・生態の把握	H14	H18	果 樹	継	-	県単研究	156
					(2000)ぶどうの生育・生態の把握	H14	H18	果 樹	継	県単研究	157	

主査研究室 (小課題)	実施区分	主推進構 想	連 番	(課題番号) 課題名	開 始 年	終 了 年	担 当 研 究 室	実 施 区 分	予 算 区 分	実 施 No	
果樹			80	(3000)西洋なし、その他の果樹の生育・生態の把握	H14	H18	果 樹	継	県単研究	158	
				(H15-38)新品種などの安定生産技術の確立	H15	H19	果 樹	新	-		
			C-3-2-1	81	(1000)「岩手6号」の安定生産技術の確立	H15	H19	果 樹	新	県単研究	159
					(131)果樹類の低樹高品種の育成等による省力・軽作業栽培技術の開発	H9	H16	果 樹	継	-	
					(1000)りんごのカラムナータイプ等に適合する新栽培方式・防除法の開発	H9	H16	果 樹	継	-	
					(1100)摘花・摘果の省力技術の開発	H9	H16	果 樹	継	国庫委託	160
					(1200)摘葉管理の省力技術の開発	H9	H16	果 樹	継	国庫委託	161
					(1300)密植立木仕立てでの省力的剪定技術の開発	H9	H16	果 樹	継	国庫委託	162
					(2000)りんごスパタイプ等特殊形質樹利用による低コスト・超省力・高品質生産技術の解明	H9	H13	果 樹	過	-	
					(2100)スパタイプ等特殊形質を有する品種の栽培特性の把握	H9	H13	果 樹	過	-	
			C-4-1-1	82	(830)ジョナゴールド、ふじ等に優るりんご中・晩生種の開発	H14	H18	果 樹	継	-	
					(1000)国育成系統適応性(盛岡58~65号)	H14	H18	果 樹	継	令達	163
					(2000)国内外導入品種の選抜	H14	H18	果 樹	継	令達	164
			C-4-3-1	83	(3000)いわて特産中晩生種の交配育成	H14	H18	果 樹	継	令達	165
					(837)ラ・フランスに優る西洋なし品種の開発	H14	H18	果 樹	継	-	
			C-4-4-1	84	(1000)国内外導入品種の選抜	H14	H18	果 樹	継	令達	166
					(826)おうとう、もも等の優良品種の選抜	H14	H18	果 樹	継	-	
			終	C-1-1-1	85	(1000)おうとう、もも等の優良品種の選抜	H14	H18	果 樹	継	令達
(2000)ブルーベリーの優良品種の選抜	H14	H18				果 樹	継	県単研究	168		
(121)21世紀のリンゴわい化栽培を担うJM台木の利用技術の開発	H11	H15				果 樹	終	-			
(1000)JM台木の現地適応性の解明	H11	H15				果 樹	終	-			
(1100)JM7台木利用樹の現地適応性	H11	H15				果 樹	終	国庫助成	169		
(2000)JM台木の簡易・安定・短期生産法の確立	H11	H13				果 樹	過	-			
(2100)台木の簡易増殖法	H11	H13				果 樹	過	-			
(2200)苗木の短期生産法	H11	H13				果 樹	過	-			
(3000)優良苗木の短期生産技術の確立	H12	H15				果 樹	終	-			
(3100)JM台木を用いた苗木養成苗木の短期生産法	H12	H15				果 樹	終	国庫助成	170		
(4000)JM台木と主要品種・県奨励品種との親和性の解明	H11	H15				果 樹	終	-			
(4100)JM台木と「ふじ」「きおう」等の親和性	H11	H15				果 樹	終	国庫助成	171		
(5000)JM台木利用・栽植様式による低樹高栽培技術の確立	H11	H15	果 樹	終	-						
(5100)台木の利用法	H11	H15	果 樹	終	-						
(5110)地上部台木長の検討	H11	H15	果 樹	終	国庫助成	172					
(5120)JM5台の中間台利用法の検討	H11	H15	果 樹	終	国庫助成	173					
(5200)JM7台木の栽植様式の検討	H11	H15	果 樹	終	国庫助成	174					
繰上	C-1-1-1	86	(H15-09)おうとう新台木の検索と実用化	H15	H15	果 樹	県単研究	175			
野菜畑作	継	B-1-1-1	87	(875)大豆の奨励品種決定調査	H14	H18	野菜畑作	継	-		
				(1000)基本調査	H14	H18	野菜畑作	継	県単採種	176	
				(2000)現地調査	H14	H18	野菜畑作	継	県単採種	177	
		B-1-1-2	88	88	(888)麦類の奨励品種決定調査	H14	H18	野菜畑作	継	-	
					(1000)県南・県央地域	H14	H18	野菜畑作	継	県単採種	179
					(2000)県北地域	H14	H18	野菜畑作	継	県単採種	180
		B-1-2-1	89	89	(858)高製パン適性小麦品種「ゆきちから」(東北214号)の高品質・安定多収栽培技術	H14	H16	野菜畑作	継	-	
					(1000)県央・県南地域	H14	H16	野菜畑作	継	国庫委託	181
		B-3-2-1	90	90	(2000)研北地域	H14	H16	野菜畑作	継	国庫委託	182
					(819)あずき系統適応性検定試験	H14	H18	野菜畑作	継	国庫委託	183
					(835)ばれいしょ系統適応性検定試験	H14	H18	野菜畑作	継	国庫委託	184
					(877)大豆立枯性病害抵抗性検定試験	H14	H18	野菜畑作	継	国庫委託	185
					(889)麦類耐寒雪性特性検定試験	H14	H18	野菜畑作	継	国庫委託	186
		B-4-2-1	94	94	(890)畑作物の生育相及び気象反応の解明	H14	H18	野菜畑作	継	-	
(1000)麦類の生育相と気象反応の解明	H14				H18	野菜畑作	継	-			
(1100)県央・県南地域	H14				H18	野菜畑作	継	県単研究	187		
(1200)県北地域	H14				H18	野菜畑作	継	県単研究	188		
(2000)大豆の生育相と気象反応の解明	H14				H18	野菜畑作	継	-			
(2100)県央・県南地域	H14				H18	野菜畑作	継	県単研究	189		
(2200)県北地域	H14	H18	野菜畑作	継	県単研究	190					
B-5-0-0	95	95	(H15-39)麦後大豆の高品質栽培技術の確立	H15	H17	野菜畑作	新	国庫委託	191		
	96	96	(891)畑作物原々種・原種生産	S29	H17	野菜畑作	継	県単採種	192		

主査研究室 (小課題)	実施区分	主推進構 想	連 番	(課題番号) 課題名	開 始 年	終 了 年	担 当 研 究 室	実 施 区 分	予 算 区 分	実 施 No			
野菜畑作	D-1-1-2		97	(849)果菜類における低コスト・安定生産のための新露地栽培 体系の確立	H14	H16	野菜畑作	継	-				
				(1000)夏秋キュウリの長期安定生産技術の確立	H14	H16	野菜畑作	継	県単研究	193			
				(2000)トマト簡易雨よけ栽培の安定化技術の確立	H14	H16	野菜畑作	継	県単研究	194			
			98	(H15-10)果菜類の低コスト灌水施肥栽培技術の確立	H15	H17	野菜畑作	新	-				
				(1000)トマトの低コスト灌水施肥栽培技術の確立	H15	H15	野菜畑作	新	-				
				(1100)栽培法の確立	H15	H15	野菜畑作	新	県単研究	195			
				(1200)栄養診断による施肥指標の策定	H15	H15	野菜畑作	新	県単研究	196			
				(2000)キュウリの点滴灌水施肥栽培技術の確立	H15	H17	野菜畑作	新	-				
				(2100)栽培法の確立	H15	H17	野菜畑作	新	県単研究	197			
				(2200)栄養診断による施肥指標の策定	H15	H17	野菜畑作	新	県単研究	198			
	D-1-1-3		99	(816)ネギの産地力強化のための低コスト・長期安定供給技術 の確立	H14	H16	野菜畑作	継	-				
				(1000)ネギの7月穫り作型開発と作型別適品種選定	H14	H15	野菜畑作	終	令達	199			
				(2000)ネギの省力機械化体系確立実証	H14	H15	生産工学	終	令達	200			
				(3000)ネギの高鮮度流通技術の確立	H14	H16	保鮮流通技術	継	令達	201			
				(4000)県中南部におけるねぎ主要害虫の防除体系	H14	H14	病理昆虫	過	-				
				(5000)ネギ産地における流通改善方策の解明	H14	H16	農業経営	継	-				
				(5100)流通コストの改善可能性と条件解明	H14	H16	農業経営	継	令達	202			
				(6000)ネギの低コスト・安定供給技術の実証	H15	H16	野菜畑作	新	令達	203			
				D-1-2-3		100	(H15-41)除草剤等実用化試験	H15	H16	野菜畑作	新	民間委託	204
				D-2-1-1		101	(848)果菜類における新形質品種の特性評価と利用技術の確立	H14	H16	野菜畑作	継	-	
(1000)キュウリ優良品種の選定と栽培法	H14	H16	野菜畑作				継	県単研究	205				
(2000)トマト優良品種の選定と栽培法	H14	H15	野菜畑作				継	県単研究	206				
(3000)ピーマン優良品種の選定と栽培法	H14	H17	野菜畑作				継	県単研究	207				
D-2-1-1		102	(H15-40)東北北部内陸地域におけるイチゴ夏秋どり新作型の開 発	H15	H19	野菜畑作	新	-					
			(1000)短日処理による10～11月どり超促成栽培技術の開 発	H15	H19	野菜畑作	新	国庫委託	208				
			(2000)越年株利用による7～8月どり技術の開発 (3000)夏秋どり技術の体系化現地実証	H15	H19	野菜畑作	新	国庫委託	209				
D-4-0-0		103	(174)えだまめ等オリジナル品種優良種苗の維持・増殖	H8	H18	野菜畑作	継	令達	211				
終	B-1-1-2		104	(84)ハトムギ優良品種の選定	H11	H15	野菜畑作	終	令達	212			
	B-2-1-2		105	(96)不耕起・無中耕・無培土栽培を基幹とした大豆の超省力安 定栽培技術	H11	H15	野菜畑作	終	-				
				(1000)大豆不耕起栽培体系の導入条件と展開方策	H11	H15	農業経営	終	-				
				(1200)水田利用作付体系・機械化栽培定着のための生産組 織化の究明	H12	H13	農業経営	過	-				
				(1400)不耕起土壌の理化学性等の把握	H11	H15	野菜畑作	終	国庫助成	213			
				(2000)不耕起播種による大豆の高品質・安定生産技術	H11	H15	野菜畑作	終	-				
				(2200)不耕起・無中耕・無培土栽培に対応した土壌管理技 術の確立	H12	H15	野菜畑作	終	国庫助成	214			
				(2400)大豆作を中心とした水田利用作付体系の実証	H11	H15	野菜畑作	終	国庫助成	215			
				(3000)大豆の高品質安定生産技術確立	H11	H14	生産工学	過	-				
				(3100)大豆の高品質安定生産技術確立	H11	H14	生産工学	過	-				
				(3110)不耕起播種機の能率・精度の向上	H11	H14	生産工学	過	-				
	(4000)高品質・超省力栽培体系の現地実証	H12	H15	農業経営	終	-							
	(4100)組立技術の経営経済評価	H12	H15	農業経営	終	国庫助成	216						
	(4200)地域的波及効果の確認	H14	H15	農業経営	終	国庫助成	217						
	B-2-1-3		106	(97)小麦の冬期播種栽培技術の確立	H13	H15	野菜畑作	終	県単研究	218			
	D-1-1-3		107	(738)雨よけほうれんそうの大型経営確立による産地拡大	H13	H15	野菜畑作	終	-				
				(1000)省力技術の実証 (2000)安定多収技術の実証	H13	H15	野菜畑作	終	県単研究	219			
D-1-1-4		108	(157)園芸作物における養液土耕等の施設に対応した生産技術	H12	H15	野菜畑作	終	-					
			(1000)いちごのベンチアップ栽培の確立	H12	H15	南部園芸	終	-					
			(1200)培養液濃度の検討	H12	H15	南部園芸	終	県単研究	221				
			(1300)適品種の検討	H12	H15	南部園芸	終	県単研究	222				
			(1400)栽培ベッドの保温	H14	H15	南部園芸	終	県単研究	223				
			(1500)培養土の検討	H14	H15	南部園芸	終	県単研究	224				
			(2000)トマトの少量土壌培地耕栽培技術の確立	H12	H15	南部園芸	終	-					
			(2100)適品種の検討	H12	H14	南部園芸	過	-					
			(2200)各種培地における栽培管理方法の検討	H12	H14	南部園芸	過	-					
			(2300)トマト少量土壌培地耕栽培の経済性評価	H15	H15	南部園芸	終・新	県単研究	225				

主査研究室 (小課題)	実施区分	主推進構 想	連 番	(課題番号) 課題名	開 始 年	終 了 年	担 当 研 究 室	実 施 区 分	予 算 区 分	実 施 No						
野菜畑作				(3000)地床利用によるトマトの点滴灌水同時施肥栽培技術の開発実証	H12	H14	野菜畑作	過	-							
				(4000)点滴かん水による養・水分供給技術の確立	H12	H14	土壌作物栄養 保鮮流通技術	過	-							
				(5000)養液土耕栽培での高品質生産条件の解明	H11	H14		過	-							
				D-2-1-1	109	(744)水田を活用した持続的作付体系及び優良種苗の安定確保によるサトイモ産地強化の実証	H13	H15	野菜畑作	終	-					
				(1000)優良種苗決定のための現地調査	H13	H15	野菜畑作	終	県単研究	226						
					(2000)運作障害対策を中心とした水田活用体系の実証	H13	H15	野菜畑作	終	県単研究	227					
					(3000)優良系統の培養苗利用による栽培実証	H13	H15	応用生物学	終	県単研究	228					
					D-2-1-2	110	(165)野菜の優良栄養繁殖系品種の育成	H10	H15	野菜畑作	終	-				
					(1000)サトイモの優良系統の選抜	H10	H15	野菜畑作	終	令達	229					
					繰上	B-4-1-2	111	(H15-42)水田大豆における高品質安定化に向けた施肥技術の確立	H15	H15	野菜畑作	繰上	民間委託	230		
				D-1-1-2	112	(853)寒冷地における夏秋イチゴの低コスト生産・安定供給技術の確立	H14	H15	野菜畑作	繰上	-					
				(1000)県央地域	H14	H15	野菜畑作	繰上	県単研究	231						
				(2000)沿岸南部地域	H14	H15	南部園芸	繰上	県単研究	232						
				D-1-2-3	113	(871)新肥料の肥効試験	H14	H15	野菜畑作	繰上	民間委託	233				
花き	継			E-1-1-2	114	(884)突然変異等を利用した新形質りんどうの特性評価	H14	H17	花き	継	-					
				(1000)わい性「ポラーノホワイト」の生育特性の解明	H14	H17	花き	継	県単研究	234						
				E-1-2-1	115	(840)りんどうF1品種の親株維持・増殖技術の確立	H14	H18	花き	継	-					
				(1000)種子による親株維持技術の確立	H14	H18	花き	継	県単研究	235						
				(2000)培養系親系統の特性検定及びF1品種の組合せ検定	H14	H18	花き	継	県単研究	236						
				E-1-3-1	116	(831)スターチス有望育成系統の栽培管理技術の確立	H14	H18	花き	継	県単研究	237				
				E-1-4-1	117	(832)ニュータイプ小ぎくの品種育成	H14	H20	花き	継	令達	238				
				E-2-1-4	118	(H15-12)寒冷地型鉢花・花壇苗物生産技術の確立	H15	H17	花き	新	-					
				(1000)鉢物りんどう「いわて乙女」の高品質安定生産技術の確立	H15	H17	花き	新	県単研究	239						
				E-3-1-1	119	(844)りんどう栄養系品種の栽培技術の確立	H14	H16	花き	継	県単研究	240				
					E-3-1-4	120	(841)りんどうこぶ症の発生実態と原因の解明	H14	H18	花き	継	-				
					(1000)発生実態と栽培条件による原因解明	H14	H18	花き	継	県単研究	241					
					(2000)発生圃場の土壌及びりんどう養分吸収特性の解明	H14	H16	土壌作物栄養	継	県単研究	242					
					(3000)こぶ症発現に関連する微生物・線虫及び土壌昆虫の検索	H14	H16	病理昆虫	継	県単研究	243					
	(4000)生物学的手法によるりんどうこぶ症の原因究明	H16	H17	応用生物学												
	E-3-2-1	121	(843)りんどうの生育・生態調査	H14	H18	花き	継	県単研究	244							
					E-3-2-3	122	(865)小ぎくの作期拡大技術の確立	H14	H18	花き	継	県単研究	245			
					123	(H15-11)りんどうの高品質促成栽培技術の確立	H15	H19	花き	新	-					
	繰上				りんどうコンテナ栽培技術の確立											
					(1000)コンテナ栽培における管理技術の確立	H15	H19	花き	新	県単研究	246					
(2000)コンテナ栽培の培地組成の解明					H15	H19	土壌作物栄養	新	県単研究	247						
E-6-0-0					124	(214)りんどう優良系統の維持増殖	S49	H17	花き	継	令達	248				
								E-6-0-0	125	(H15-49)りんどう生産拡大緊急対策事業	H15	H19	花き	新	-	
								(1000) (1)親株の安定生産技術	H15	H19	花き	新	令達	249		
								(2000) (2)組織培養による親株の安定生産技術	H15	H19	応用生物学	新	令達	250		
(3000) (3)りんどう除草剤実用化試験					H16	H17	花き	未	-							
E-1-2-2					126	(191)りんどうの品種育成	S49	H20	花き	継	令達	251				
終								E-1-3-1	127	(192)スターチス類の品種育成	H11	H15	花き	終	令達	252
	E-1-5-1	128	(195)ゆりの品種育成	H5				H15	花き	終	令達	253				
	E-5-1-1	129	(746)沿岸中山間地域における花き周年生産モデルの確立	H13				H15	花き	終	県単研究	254				
繰上				E-2-1-3	130	(196)寒冷地における枝物花木類の栽培技術体系の確立	H12	H15	花き	繰上	-					
				(1000)枝物花木の寒冷地向け適品目の選定及び栽培技術の確立	H12	H15	花き	繰上	-							
				(1100)品目選定と栽培特性	H12	H15	花き	繰上	国庫助成	255						
				(1200)効率的増殖法及び育苗技術の確立	H12	H15	花き	繰上	国庫助成	256						
				(1300)栽植方式及び早期株養成技術の解明	H12	H15	花き	繰上	-							
				(1310)栽植様式と生育反応 根域制限と生育反応 株養成技術の開発	H12	H15	花き	繰上	国庫助成	257						
				(1320)花芽着生技術の開発	H13	H15	花き	終	国庫助成	258						
				(1400)整枝及び仕立て法の確立	H13	H15	花き	終	-							
(1410)越冬前の整枝法が次年度の生育に及ぼす影響	H13	H15	花き	終	国庫助成	259										
(1500)休眠特性の解明と休眠打破法、促成栽培技術の確立	H13	H15	花き	終	-											

主査研究室 (小課題)	実施区分	主推進構 想	連 番	(課題番号) 課題名	開 始 年	終 了 年	担 当 研 究 室	実 施 区 分	予 算 区 分	実 施 No						
花き				(1510) 切り枝類の休眠特性解明 休眠打破方法の開発	H13	H15	花き	終	国庫助成	260						
				(2000) 切り枝の品質保持技術の確立	H13	H15	保鮮流通技術	終(繰上)	-							
				(2100) 鮮度保持剤等の利用による品質保持技術の確立	H13	H15	保鮮流通技術	終(繰上)	国庫助成	261						
				(2200) 促成時の水揚げ改善技術の確立	H14	H15	保鮮流通技術	終	国庫助成	262						
南部園芸	継			(845) りんどう切り花用品種の鉢物化技術の確立	H14	H15	花き	終(繰上)	県単研究	263						
				(878) 短日処理によるいちご促成栽培適応品種の選抜	H14	H16	南部園芸	継	県単研究	264						
				(820) アネモネの年内穫り作型における高品質栽培法の確立	H14	H16	南部園芸	継	県単研究	265						
				(822) アレンジメントアスターの高品質安定生産の確立	H14	H16	南部園芸	継	県単研究	266						
	終	継			(710) 太陽光発電を利用した栽培技術の確立	H13	H17	南部園芸	継	-						
					(1000) 温度管理等による花きの周年栽培体系の確立	H13	H17	南部園芸	継	県単研究	267					
		終				(747) いちご栽培における省力技術の導入による高度生産化	H13	H15	南部園芸	終	県単研究	268				
						(711) いちご低温カット栽培における高設栽培技術の確立	H13	H15	南部園芸	終	県単研究	269				
						(156) 大規模野菜経営に対応した新作型栽培技術の開発	H9	H15	南部園芸	終	-					
						(1000) 夏秋キュウリの省力型品種の選抜	H9	H13	野菜畑作	過	-					
						(2000) 雨よけトマトの省力型品種の選抜	H9	H13	野菜畑作	過	-					
						(3000) ビーマンの省力型品種の選抜	H9	H13	野菜畑作	過	-					
						(4000) 夏秋きゅうり大規模野菜生産技術の確立	H12	H15	南部園芸	終	-					
						(4100) 急性萎凋症状の耕種の発生要因の解明	H12	H15	南部園芸	終	県単研究	270				
						(712) トマト養液栽培による周年栽培技術の確立・実証	H13	H15	南部園芸	終	県単研究	271				
						(748) 東磐井地方における園芸省力安定生産モデル経営の実証	H13	H15	南部園芸	終	-					
						(4000) トマト点滴かん水施肥栽培技術の実証・確立	H13	H15	南部園芸	終	県単研究	272				
						L-1-2-1				(868) 新肥料の肥効検定他	H13	H15	南部園芸	終	-	
										(1000) 果菜類に対する肥効確認	H13	H15	南部園芸	終	-	
(1100) 微量要素入り肥料が生育及び品質等に及ぼす効果確認	H13	H14	南部園芸	終	-											
(1200) いちごの育苗培養土としての適応性	H15	H15	南部園芸	終・新	民間委託					273						
(1300) 環境保全型農業として、育苗ポット内全量施肥法の確立	H15	H15	南部園芸	終・新	民間委託					274						
(2000) 花きに対する肥効確認	H13	H15	南部園芸	終	-											
(2100) 微量要素入りトルコギキョウ肥料の肥効確認	H13	H15	南部園芸	終	民間委託					275						
環境保全	継			(H15-19) 畑作地帯における硝酸性窒素等の環境動態解明と負荷軽減技術の評価	H15	H19	環境保全	新	-							
				(1000) 硝酸性窒素等の動態解明手法の確立	H15	H17	環境保全	新	令達	276						
				(2000) 硝酸性窒素等の負荷軽減技術の評価	H15	H19	環境保全	新	令達	277						
				(H15-22) 水稲減農薬栽培地域の水系における農薬動態の解明	H15	H17	環境保全	新	国庫委託	278						
				K-1-2-1				(H15-20) 減農薬栽培農産物における農薬残留評価手法の開発	H15	H16	環境保全	新	県単研究	279		
								//	H15	H16	環境保全	新	令達	280		
				K-3-1-2				(522) 家畜排泄物等の有機物資源を活用した特別栽培農産物生産技術体系の確立	H14	H18	環境保全	継	-			
								(1000) 農業分野における窒素収支の推定と解析	H14	H14	環境保全	過	-			
								(2000) 特別栽培農産物栽培管理方式の策定	H14	H16	環境保全	継	県単研究	281		
								(3000) 有機農産物の生産条件の解明	H14	H15	環境保全	終	県単研究	282		
								(4000) 岩手県内生産主要堆肥の成分特性にもとづく化学肥料代替技術の確立	H14	H16	土壌作物栄養	継	令達	283		
								(5000) マニユアスプレッター利用による地域内有機物の急速堆肥化技術	H14	H15	土壌作物栄養	終	県単研究	284		
				K-3-2-3				(6000) 県北地域の水稲栽培における有機質資材の化学肥料代替利用法の確立	H14	H18	営農技術	継	県単研究	285		
								(872) 水田の機能を活用した生物多様性保全技術の確立	H14	H16	環境保全	継	-			
L-2-1-3				(1000) 水生生物を指標とした水田環境モニタリング	H14	H16	環境保全	継	県単研究	286						
				(H15-21) 県産農産物のカドミウム濃度の実態解明と吸収抑制対策	H15	H17	環境保全	新	-							
				(1000) 水稲におけるカドミウム吸収抑制栽培管理技術の確立	H15	H16	環境保全	新	国庫助成	287						
U-1-2-3				(2000) 野菜類のカドミウム吸収特性の解明	H15	H17	環境保全	新	国庫委託	288						
				(H15-48) 酸性電解水による野菜の病害に対する抑制効果の実証	H15	H16	環境保全	新	国庫委託	289						
X-1-1-1				(885) 農業気象情報の管理と活用技術の開発	H14	H16	環境保全	継	-							
				(1000) 農業気象観測及び微気象の降雪、地温等の推測手法の開発	H14	H16	環境保全	継	県単研究	290						
終				(315) 農業水質影響調査	H10	H15	環境保全	終	-							
				(1000) 水質影響低減技術の開発	H10	H13	環境保全	過	-							
				(1100) いもち病防除剤の施用法と水系での残留	H10	H13	環境保全	過	-							
				(1200) 種子消毒廃液処理対策技術の確立	H10	H14	環境保全	過	-							
U-1-2-2				(2000) 育苗箱施肥による水田生態系への影響	H13	H15	環境保全	終	国庫助成	291						
				(714) キャベツにおける無農薬・無化学肥料栽培技術	H13	H15	環境保全	終	令達	292						

主査研究室 (小課題)	実施区分	主推進構 想	連 番	(課題番号) 課題名	開 始 年	終 了 年	担 当 研 究 室	実 施 区 分	予 算 区 分	実 施 No	
環境保全		U-1-3-2	152	(523) 水稲における環境保全型農業の総合組立	H13	H15	環境保全	終	-		
				(2000) 水稲の減農薬栽培技術の確立	H13	H15	環境保全	終	-		
				(2100) 育苗期における減農薬体系の組立	H13	H15	環境保全	終	国庫助成	293	
				(2200) 本田における減農薬栽培の組立	H13	H15	環境保全	終	国庫助成	294	
土壌作物	継	L-2-2-1	153	(862) 作付け体系及び土壌管理と土壌生態系の関係の解明	H14	H15	環境保全	継	県単研究	295	
		A-4-1-3	154	(H15-13) 水田における要素反応試験	H15	H19	土壌作物栄養	新	県単研究	296	
		C-2-1-2	155	(H15-14) 画像解析によるりんごの生育栄養診断基準の策定	H15	H16	土壌作物栄養	新	国庫助成	297	
		E-3-1-1	156	(H15-15) りんごの養分吸収特性の解明	H15	H17	土壌作物栄養	新	国庫助成	298	
		L-1-1-3	157	(856) 県内主要葉菜類の内部品質向上栽培技術の確立	H14	H16	土壌作物栄養	継	-		
				(1000) 葉菜類の内部品質実態調査	H14	H15	土壌作物栄養	終	県単研究	299	
				(2000) キャベツの栄養成分の簡易品質評価法の開発	H15	H16	保鮮流通技術	新	国庫助成	300	
				(3000) キャベツの栄養成分変動要因の解明	H15	H16	保鮮流通技術	新	県単研究	301	
				(4000) 土壌管理(有機物・塩基バランス制御)によるホウレンソウ、キャベツの硝酸濃度低減化	H14	H16	土壌作物栄養	継	国庫委託	302	
		(5000) 施設栽培における有機物施用基準の策定	H15	H16	土壌作物栄養	新	国庫助成	303			
		L-2-1-0	158	(H15-47) スキャナー利用による土壌全炭素・全窒素の簡易推定法の確立	H15	H16	土壌作物栄養	新	令達	304	
		L-3-2-2	159	(H15-23) 土壌機能実態モニタリング調査	H15	H19	土壌作物栄養	新	国庫助成	305	
				(H15-24) 環境保全型有機質資源連用効果調査	H15	H19	土壌作物栄養	新	-		
				(1000) 水田における有機質資源連用効果	H15	H19	土壌作物栄養	新	国庫助成	306	
				(2000) 畑地における有機質資源連用効果	H15	H19	土壌作物栄養	新	国庫助成	307	
(3000) 県北地域における畜産由来有機質資源連用効果	H15			H19	営農技術	新	国庫助成	308			
(342) 野菜、花き、畑作物の生育予測、栄養診断技術の確立	H11			H15	土壌作物栄養	終	-				
終	L-1-1-2	161	(1000) 野菜・花きの栄養診断手法の確立	H11	H15	土壌作物栄養	終	県単研究	309		
			(345) 新肥料の実用化	(1000) 【業務分担】	H12	H15	土壌作物栄養	終	-		
					H12	H15	生産工学	終	民間委託	310	
					H12	H15	保鮮流通技術	終	民間委託	311	
					H12	H15	産地育成	終	民間委託	312	
			H12	H15	やませ利用	終	民間委託	313			
			(2000) 転作麦専用肥料の肥効	H13	H15	土壌作物栄養	終	民間委託	314		
			(3000) プール育苗における緩効行性肥料が苗の生育に及ぼす効果	H14	H15	土壌作物栄養	終	民間委託	315		
			(4000) 集落排水処理施設で発生する汚泥を有機性資源として農地還元するための品質確認	H14	H15	土壌作物栄養	終	民間委託	316		
			(5000) 寒冷地水田での肥効調節型肥料を用いた春施肥の実用化	H13	H14	営農技術	過	-			
			(6000) 寒冷地水田での肥効調節型肥料を用いた秋施肥の実用化	H13	H15	営農技術	終	民間委託	317		
			(7000) 雨よけぼつれんそうにおける肥効	H13	H15	営農技術	終	民間委託	318		
			(8000) 水田土壌における可給態ケイ酸評価法の確立試験	H13	H15	営農技術	終	民間委託	319		
(9000) 水田における鶏糞の安全利用技術の確立	H13	H14	営農技術	過	民間委託	320					
L-2-3-1	163	(873) 水田蓄積養分利用による減肥技術	H14	H15	土壌作物栄養	終	-				
(1000) 乾土効果による土壌窒素無機化量の推定	H14	H15	土壌作物栄養	終	国庫助成	321					
(2000) 土壌の可給態ケイ酸の評価法の適心性検討	H14	H15	土壌作物栄養	終	国庫助成	322					
保鮮流通技術	継	B-1-1-2	164	(H15-17) 雑穀系統の機能性・食味関連形質の評価	H15	H16	保鮮流通技術	継	県単研究	323	
		B-3-2-3	165	(H15-16) 県産小麦の地域別製パン適性の評価手法確立	H15	H16	保鮮流通技術	新	令達	324	
		C-2-3-2	166	(H15-43) 果実を丸ごと使った健康志向食品の開発	H15	H16	保鮮流通技術	新	令達	325	
		V-2-1-2	167	(874) 西洋なし早期出荷のための予冷・追熟技術の開発	H14	H16	保鮮流通技術	継	県単研究	326	
		V-2-3-1	168	(883) 通いコンテナ利用における高鮮度保持技術の確立	H14	H16	保鮮流通技術	継	県単研究	327	
		W-1-2-2	169	(881) 地域特産物加工品による沢ごとオリジナル商品の開発	H14	H16	保鮮流通技術	継	-		
				(1000) 「小枝柿」の脱渋技術の確立	H14	H16	保鮮流通技術	継	県単研究	328	
		(2000) 特産作物ハトムギを利用した新規加工品の開発	H14	H15	保鮮流通技術	終(線上)	県単研究	329			
		W-3-0-0	170	(548) 加工工房指導業務	H9	H22	保鮮流通技術	継	県単公園	330	
		終	D-2-1-3	171	(H14-02) トマト・ピーマンの一晚予冷技術の開発	H14	H15	保鮮流通技術	終	令達	331
					(530) 各種農産物の品質評価指標の解明	(1000) 果菜類の簡易品質評価法	H11	H15	保鮮流通技術	終	-
(2000) 寒締め菜っぱの簡易品質評価法	H13					H15	保鮮流通技術	終	県単研究	332	
V-2-1-1	173				(745) 枝豆新品種の鮮度保持技術の確立	H13	H15	保鮮流通技術	終	令達	333
線上	D-2-1-3	174	(H15-18) ヤーコンの長期貯蔵条件の解明	H15	H15	保鮮流通技術	終(線上)	令達	334		
病理昆虫	継	A-3-2-3	175	(H15-25) 斑点米カメムシ類の総合的防除技術の組み立て	H15	H16	病理昆虫	新	県単研究	335	
		B-2-2-2	176	(H15-28) 地域特産物における新防除資材の実用化	H15	H19	病理昆虫	新	-		
				(1000) ホップ灰色かび病新規防除薬剤の実用化試験	H15	H15	病理昆虫	終・新	国庫助成	336	
(2000) 根みつばの菌核病	H15	H15	病理昆虫	終	国庫助成	337					
(3000) アワのアワノメイガ	H15	H15	営農技術	終・新	国庫助成	338					



主査研究室 (小課題)	実施区分	主推進構 想	連 番	(課題番号) 課題名	開 始 年	終 了 年	担 当 研 究 室	実 施 区 分	予 算 区 分	実 施 No		
病理昆虫				(4000)ブルーベリーのショウジョウバエ類	H15	H16	病理昆虫	新	国庫助成	339		
				(5000)ヒエのアワノメイガ	H15	H15	やませ利用	終・新	国庫助成	340		
				"	H16	H16	営農技術	未	-			
				(6000)農薬残留分析(ホップ、ブルーベリー)	H15	H18	環境保全	新	国庫助成	341		
				(7000)モミジガサの菌核病	H16	H18	病理昆虫	未	-			
				(8000)水わさびのアブラムシ類	H16	H18	病理昆虫	未	-			
				(9000)なばなのネキリムシ類	H16	H17	病理昆虫	未	-			
				C-1-2-3	177	(H15-26)りんごカメムシ類の発生生態と効率的防除法の確立	H15	H17	病理昆虫	新	-	
						(1000)指標植物による被害発生予測法	H15	H17	病理昆虫	新	国庫助成	342
				E-3-1-4	178	(H15-27)りんどう葉枯れ症状の原因解明と防除法	H15	H17	病理昆虫	新	-	
			(1000)りんどう葉枯れ症状の原因解明と防除法	H15	H17	病理昆虫	新	県単研究	343			
	M-1-1-1	179	(372)新奇侵入病害虫の診断法と発生生態の解明	H9	H18	病理昆虫	継	国庫助成	344			
	M-1-2-1	180	(3)【植物防疫事業研究】	H9	H22	病理昆虫	継	国庫助成	345			
	M-3-1-1	181	(H15-29)内分泌攪乱作用が懸念される農薬を使用しない病害虫防除法の確立	H15	H19	病理昆虫	新	-				
			(1000)水稲における代替技術	H15	H15	病理昆虫	終・新	令達	346			
			(2000)りんごにおける代替技術	H16	H18	病理昆虫	未	-				
			(3000)きゅうりにおける代替技術	H15	H16	病理昆虫	新	令達	347			
			(4000)りんどうにおける代替技術	H17	H18	病理昆虫	未	-				
			(5000)内分泌攪乱作用のある農薬を使用しない病害虫防除法の実証	H16	H19	病理昆虫	未	-				
			(6000)ねぎにおける代替技術	H16	H17	病理昆虫	未	-				
	M-3-1-2	182	(402)新農薬の効果検定と防除基準作成	H9	H17	病理昆虫	継	-				
			(1000)水稲種子消毒剤の大量種子消毒適用性試験	H13	H14	病理昆虫	過	-				
			(1100)テクリード水和剤	H13	H14	病理昆虫	過	-				
			(2000)県北地域	H9	H17	営農技術	継	民間委託	348			
			(3000)葉いもち防除に必要な箱施用剤の根圏成分量	H15	H16	病理昆虫	新	民間委託	349			
			(4000)本部	H9	H17	病理昆虫	継	民間委託	350			
	終	M-1-1-2	183	(731)なす科野菜における青枯病総合防除法の確立	H13	H15	病理昆虫	終	国庫助成	351		
				(733)リンゴ根頭がんしゅ病の発生生態と診断技術	H13	H15	病理昆虫	終	県単研究	352		
		M-1-1-3	185	(382)薬剤耐性菌検定	H12	H15	病理昆虫	終	-			
				(1000)イネもみ枯細菌病菌	H12	H15	病理昆虫	終	国庫助成	353		
			186	(893)薬剤抵抗性発現害虫の実態と対策	H13	H15	病理昆虫	終	-			
				(1000)りんごのハダニ類	H13	H15	病理昆虫	終	国庫助成	354		
		M-1-2-1	187	(735)リンゴ炭そ病の発生予測技術の開発	H13	H15	病理昆虫	終	国庫助成	355		
		M-3-2-1	188	(715)病害虫総合防除法の開発	H13	H15	病理昆虫	終	-			
				(1000)水稲初期害虫の隔年防除法の確立	H13	H15	病理昆虫	終	国庫助成	356		
				(2000)育苗箱施薬による水田生態系への影響	H13	H15	環境保全	終	国庫助成	357		
		189	(730)きゅうりにおける総合的病害防除法の確立	H13	H15	病理昆虫	終	国庫助成	358			
		190	(741)複合交信攪乱剤利用りんご園における散布回数削減病害虫防除体系の確立と実証	H13	H15	病理昆虫	終	-				
			(2000)散布回数削減病害虫防除体系の実証	H13	H15	病理昆虫	終	県単研究	359			
	T-2-1-2	191	(415)土着天敵群の実態解明とその利用技術	H12	H15	病理昆虫	終	-				
		(2000)ピーマン害虫に対する総合防除法の確立	H12	H15	病理昆虫	終	県単研究	360				
T-3-1-3	192	(742)有用拮抗微生物の探索と評価	H13	H15	病理昆虫	終	-					
		(2000)昆虫病原ウイルスの利用技術	H13	H15	病理昆虫	終	県単研究	361				
繰上	M-3-1-1	193	(838)りんご紫紋羽病の発生実態と新たな防除法の開発	H14	H15	病理昆虫	繰上	-				
			(1000)県内における紫紋羽病の発生実態と病菌の特性解明	H14	H15	病理昆虫	繰上	県単研究	362			
	M-3-1-2	194	(842)りんごの萎縮症状の原因解明	H14	H15	病理昆虫	繰上	県単研究	363			
家畜育種	継	G-1-1-2	195	(236)日本短角種産肉能力検定(直接法)	S45	H22	家畜育種	継	令達	364		
			196	(237)日本短角種産肉能力検定(間接法)	S48	H16	家畜育種	継	令達	365		
		G-4-1-5	197	(854)環境・安全に配慮した岩手型豚肉生産技術の確立	H14	H17	家畜育種	継	県単研究	366		
		J-3-1-0	198	(H15-44)日本短角種をモデルとした全個体認証システムの構築と利用技術の開発	H15	H19	家畜育種	新	国庫委託	367		
	終	G-3-2-3	199	(248)ビタミンA制限による肥育技術の確立	H10	H15	家畜育種	終	令達	368		
		G-5-1-1	200	(833)ニワトリ始原生殖細胞(PGCs)の利用に関する研究	H14	H15	家畜育種	終	県単研究	369		
		G-5-1-2	201	(720)岩手独自の交雑種鶏を活用した組み合わせ検定	H13	H15	家畜育種	終	県単研究	370		
繰上	G-2-1-1	202	(882)超早期母子分離と放牧を取り入れた黒毛和種飼養方式の確立	H14	H15	家畜育種	繰上	県単研究	371			
家畜飼養	継	F-1-1-1	203	(230)高泌乳・高蛋白牛群に適応した飼養管理技術の確立	H10	H16	家畜飼養	継	県単研究	372		
		F-2-2-2	204	(H15-30)哺乳ロボットを応用した省力管理技術の確立	H15	H17	家畜飼養	新	国庫助成	373		

主査研究室 (小課題)	実施区分	主推進 構 想	連 番	(課題番号) 課題名	開 始 年	終 了 年	担 当 研 究 室	実 施 区 分	予 算 区 分	実 施 No	
家畜飼養		F-1-2-1	205	(721) 発育効果及び生涯生産性を高める乳用雌育成牛の飼養管理技術の確立(旧題: 集約放牧を組み入れた高能力牛の育成期飼養管理技術の確立)	H13	H17	家畜飼養	継	県単研究	374	
	終	F-3-2-2	206	(722) ロボット搾乳とパーラー搾乳が乳腺細胞に及ぼす影響と乳房炎発生との関係	H13	H15	家畜飼養	終	県単研究	375	
	繰上	F-1-2-2	207	(846) ロボット多回搾乳が乳用牛の繁殖機能に及ぼす影響の解明と繁殖管理技術の確立	H14	H15	家畜飼養	繰上	県単研究	376	
家畜工学	継	J-1-1-2	208	(864) 受胎率向上のための受精卵の凍結・融解方法の比較検討	H14	H16	家畜工学	継	令達	377	
		J-1-1-3	209	(824) ウシ胚移植を活用した効率的双子生産技術の確立	H14	H16	家畜工学	継	県単研究	378	
		J-3-1-0	210	(304) 肉用牛における経済形質とDNAマーカーとの連鎖解析	H7	H16	家畜工学	継	令達	379	
	終	J-1-3-4	211	(302) 雌雄判別技術を利用した乳用牛群改良技術の確立	H11	H15	家畜工学	終	県単研究	380	
		J-2-1-0	212	(303) 核移植技術による優良種畜の大量生産技術の開発	H10	H15	家畜工学	終	国庫助成	381	
飼料生産	継	F-2-1-2	213	(H15-32) 通気性被覆シートによる堆肥化技術の確立	H15	H16	飼料生産	新	県単研究	382	
		F-3-1-1	214	(879) 地域資源活用による乳牛の生涯生産性向上に向けた飼養技術の確立	H14	H16	飼料生産	継	-		
				(1000) 県内酪農地帯における地域資源を活用した資源循環型酪農経営の定着方策	H14	H16	農業経営	継	-		
				(1100) 主要酪農地帯における粗飼料生産給与と家畜飼養管理技術の実態把握	H14	H15	農業経営	継	国庫助成	383	
				(1200) 開発技術導入による資源循環型酪農の定着要件の解明	H16	H16	農業経営	未	-		
				(2000) 畑地における堆肥を高度に利用した一年生飼料作物の資源循環型粗飼料生産技術の開発	H14	H16	飼料生産	継	-		
				(2100) 一年生飼料作物の生育特性と生産性の解明	H14	H16	飼料生産	継	国庫助成	384	
				(2200) 一年生飼料作物の資源循環型栽培技術の確立	H15	H16	飼料生産	新	国庫助成	385	
				(2300) 一年生飼料作物と冬作物との組み合わせによる周年作付け体系技術の確立	H15	H16	飼料生産	新	国庫助成	386	
				(3000) 一年生飼料作物の給与と効率的な放牧を組み入れた高能力牛群飼養管理技術の確立	H14	H16	家畜飼養	継	-		
				(3100) 泌乳期に対応した一年生飼料作物の給与技術	H15	H16	家畜飼養	新	国庫助成	387	
				(3200) 脂質代謝関連物質を指標とする周産期病予察技術の開発	H15	H16	家畜飼養	新	国庫助成	388	
				(3300) 生涯生産性を高める育成期集約放牧飼養管理技術の確立(旧題: 集約放牧を取り入れた高能力牛の育成期飼養管理技術の確立)	H14	H16	家畜飼養	継	国庫助成	389	
				(3400) 時間制限放牧を組み入れた高能力牛群飼養管理技術の確立	H16	H16	家畜飼養	未	-		
		H-1-1-1	215	(253) とうもろこし市販品種の特性比較	S54	H17	飼料生産	継	令達	390	
			216	(254) とうもろこし系統適応性検定試験	S55	H17	飼料生産	継	国庫委託	391	
		H-1-2-3	217	(726) 採草用牧草の播種基準の策定	H13	H17	飼料生産	継	県単研究	392	
		H-2-2-1	218	(892) 牧草の気象感応試験	H14	H18	飼料生産	継	県単研究	393	
		H-2-2-2	219	(H15-31) 自給飼料をベースとした安全安心畜産物生産システムの確立	H15	H17	飼料生産	新	-		
				(1000) 有機飼料作物生産をめざした地力評価に基づく施肥法の確立	H15	H17	飼料生産	新	県単研究	394	
				(2000) 長大型飼料作物ラップサイレージの調製・品質保持技術の確立	H15	H17	飼料生産	新	県単研究	395	
				(3000) 長大型飼料作物ラップサイレージの生産・供給システムの構築	H15	H17	農業経営	新	県単研究	396	
				(4000) 日本短角種の全期粗飼料多給型肥育技術の確立	H15	H17	家畜育種	新	県単研究	397	
				(5000) 消費者に向けた安心安全な牛肉生産・流通評価基準の確立	H15	H17	家畜育種	新	県単研究	398	
		終	H-1-1-2	220	(725) ソルガム市販品種の特性比較	H13	H15	飼料生産	終	令達	399
	H-2-2-1		221	(861) 細断型ロールベアラによる飼料作物の収穫調製技術	H14	H15	飼料生産	終	国庫委託	400	
	H-2-2-2		222	(743) ソルガムラップサイレージ調製技術	H13	H15	飼料生産	終	令達	401	
	H-2-4-0		223	(724) 被覆植物を活用した飼料畑の雑草抑制技術の確立	H13	H15	飼料生産	終	県単研究	402	
外山畜産	継	G-2-1-3	224	(H15-45) 日本短角種DM牛の特性解明と系統造成	H15	H19	外山畜産	新	国庫委託	403	
	終	G-2-1-2	225	(242) 北上山地における公共放牧地の高度利用による黒毛和種肥育素牛の放牧管理技術の確立	H11	H15	外山畜産	終	-		
			(1000) 黒毛和種肥育素牛生産における放牧利用の展開方向の解明	H11	H13	農業経営	過	-			
			(1200) 遠野地域の公共牧場における総合的放牧利用の展開方向の解明	H11	H13	農業経営	過	-			

主査研究室 (小課題)	実施区分	主推進構 想	連 番	(課題番号) 課題名	開 始 年	終 了 年	担 当 研 究 室	実 施 区 分	予 算 区 分	実 施 No	
外山畜産				(2000)集約放牧を取り入れた黒毛和種肥育素牛の発育向上技術の開発	H11	H15	外山畜産	終	-		
				(2100)草種構成と緩効性肥料の組み合わせによる草地生産平準化技術	H11	H15	外山畜産	終	国庫助成	404	
				(2200)適正輪換放牧方式による発育向上技術	H11	H15	外山畜産	終	国庫助成	405	
				(2300)放牧草の栄養特性に対応した補助飼料給与技術	H11	H15	外山畜産	終	国庫助成	406	
				(2400)放牧育成肥育素牛の肥育特性の解明	H12	H15	家畜育種	終	国庫助成	407	
				(3000)北上山地における黒毛和種肥育素牛育成技術の現地実証	H14	H15	外山畜産	終	-		
				(3100)黒毛和種肥育素牛の集約放牧技術の現地実証と経営経済評価	H14	H15	外山畜産	終	国庫助成	408	
				(3200)黒毛和種肥育素牛の放牧育成システムの経営的評価	H13	H15	農業経営	終	国庫助成	409	
	H-4-2-1		226	(262)広葉樹林帯を活用した肉用牛放牧における水土保全機能の解明	H11	H15	外山畜産	終	県単研究	410	
種山畜産	継	G-1-1-1	227	(234)黒毛和種産肉能力検定(直接法)	S62	H17	種山畜産	継	令達	411	
			228	(235)黒毛和種産肉能力検定(間接法・現場後代検定)	H1	H17	種山畜産	継	令達	412	
			G-1-1-4	229	(857)県有種雄牛の利用及び能力調査	H14	H18	種山畜産	継	県単研究	413
			G-1-2-3	230	(859)黒毛和種における分割胚移植技術を活用した高能力種雄牛の作出	H14	H18	種山畜産	継	県単研究	414
営農技術	継	K-2-2-1	231	(847)奥中山地域における液状コンポスト調整利用システムの確立	H14	H16	営農技術	継	-		
			(1000)乳牛ふん尿の液状コンポスト好氣的調整システムの確立	H14	H15	飼料生産	終	県単研究	415		
			(2000)草地や飼料作物を対象とした液状コンポスト利用技術の確立	H14	H16	営農技術	継	県単研究	416		
			0-2-1-2	232	(836)ホウレンソウの機械収穫に適した品種の選定	H14	H17	営農技術	継	-	
	(1000)機械収穫に適したほうれんそうの形態・形質の解明	H14	H17	営農技術	継	国庫委託	417				
	(2000)機械収穫適性の高い品種の選定	H14	H17	産地育成	継	国庫委託	418				
	終	M-1-1-1	233	(716)中山間地域特産物及び花き類の新奇病害虫の生態把握及び防除技術の開発	H13	H15	営農技術	終	-		
	(1000)レタスにおけるナモグリバエの発生生態と防除法の確立	H13	H15	営農技術	終	県単研究	419				
	S-1-1-2	234	(482)畑地かんがい地帯における野菜・花き等を組み入れた高収益モデル実証	H13	H15	営農技術	終	県単研究	420		
	線上	M-1-2-2	235	(752)害虫発生予察支援システムの開発	H13	H15	営農技術	終(線上)	県単研究	421	
X-1-1-1	236	(855)気象情報を活用した麦収穫適期判定システムの開発	H14	H15	営農技術	終(線上)	県単研究	422			
産地育成	継	D-2-1-3	237	(H15-46)寒締め野菜の高品質化シナリオの策定と生産支援システムの開発	H15	H17	産地育成	新	-		
			(1000)生長調節シナリオの策定	H15	H17	産地育成	新	国庫委託	423		
			(2000)寒締めデグリーアワーの策定	H15	H17	産地育成	新	国庫委託	424		
			D-2-1-1	238	(880)地域適応性に優れた品種の選定	H14	H16	産地育成	継	-	
	(1000)ホウレンソウの品種選定	H14	H15	産地育成	終(線上)	県単研究	425				
	(2000)キャベツの品種選定	H14	H16	産地育成	継	県単研究	426				
	(3000)ダイコン優良品種の選定	H14	H16	産地育成	継	県単研究	427				
	D-2-2-1	239	(828)カラシナによるほうれんそう萎凋病軽減技術の開発	H14	H16	産地育成	継	県単研究	428		
	D-3-2-2	240	(H15-33)高冷地レタスの高位安定生産技術の確立	H15	H19	産地育成	新	-			
	(1000)腐敗性病害の発生実態の解析	H15	H17	営農技術	新	県単研究	429				
	(2000)優良品種の選定	H15	H17	産地育成	新	県単研究	430				
	(3000)総合防除技術の確立	H15	H19	産地育成	新	県単研究	431				
	E-2-1-4	241	(H15-34)花壇苗及び鉢花の高収益栽培技術の確立	H15	H17	産地育成	新	-			
(1000)秋出しパンジーの商品化率向上技術の確立	H15	H17	産地育成	新	県単研究	432					
(2000)県北地域に適する花壇苗・鉢花品目の選定と商品化技術の確立	H15	H17	産地育成	新	県単研究	433					
終	S-2-2-1	242	(713)雨よけほうれんそう大型経営育成のための技術確立	H13	H15	産地育成	終	-			
(1000)高位安定生産技術の開発	H13	H15	産地育成	終	-						
(1100)遮光方法の検討	H13	H15	産地育成	終	県単研究	434					
(1200)かん水方法の検討	H13	H15	産地育成	終	県単研究	435					
(1300)効率的生産のための栽培技術検討	H13	H15	産地育成	終	県単研究	436					
(2000)省力低コスト化技術体系の組み立て	H13	H15	営農技術	終	県単研究	437					
やませ利用	継	B-2-2-3	243	(H15-36)葉たばこ用新資材の実用化	H15	H17	やませ利用	新	民間委託	438	
		K-1-3-1	244	(H14-05)葉たばこ栽培における生分解性マルチ資材の後処理技術の確立	H14	H16	やませ利用	継	令達	439	

主査研究室 (小課題)	実施区分	主推進構 想	連 番	(課題番号) 課題名	開 始 年	終 了 年	担 当 研 究 室	実施 区分	予算区分	実 施 No
やませ利 用	終	B-1-1-1	245	(82) 普通作物等の多収良質品種の育成	S56	H15	やませ利用	終	-	
				(1000) 小麦奨励品種決定調査	S56	H13	やませ利用	過	-	
				(2000) 大豆奨励品種決定調査	S56	H13	やませ利用	過	-	
				(3000) そば優良系統の選抜	H13	H15	やませ利用	終	県単研究	440
		B-1-1-2	246	(H14-04) アマランサスの品種特性評価技術確立	H14	H15	やませ利用	終	国庫委託	441
		S-1-1-2	247	(171) 大規模畑作における輪作を基本とした園芸作物の普代型 安定生産技術体系の確立	H13	H15	やませ利用	終	-	
	(1000) 継続実施可能な有機物施用方法の検索			H13	H15	やませ利用	終	-		
(1100) 畜産由来有機物利用低コスト土壌改良効果の確認	H13			H15	やませ利用	終	県単研究	442		
			(1200) 緑肥を組み入れた普代型モデル輪作体系の実証	H13	H15	やませ利用	終	県単研究	443	
繰上	B-1-1-2	248	(863) 市場性を考慮した雑穀優良系統の選抜	H14	H15	やませ利用	終(繰上)	県単研究	444	

(3) 要望課題の措置

平成16年度に実施を要望する試験研究課題の検討結果

- 措置区分 A=平成16年度実施  
 B=現在実施中  
 C=既知見あり  
 D=次年度実施できない

No	要望機関名	要望課題名	要望課題の内容	措置区分	担当研究室(主査)	検討部会
1	大東町認定農業者の会(岩手県農業会議)	樹木粉碎機のチップ片の再利用	(1)チップ片の有効活用の確立 (2)果樹せん定枝のチップ化による堆肥化の方法 (3)堆肥施用にあたって病害等の心配 (4)その他の活用(培土、土壌改良、きのこ栽培の菌床、消臭等) (5)樹種別の利用適否	A C	果樹専門技術員室	園芸畑作部会(果樹)
2	全農岩手県本部 営農対策室	りんご園の農薬安全使用に対応する単植園化と安定生産技術の確立	りんごでの農薬の安全使用、病虫害防除の効率化、低コスト、省力化のための ・適正な単植園の規模 ・受粉用品種の選抜 ・受粉樹の混植割合、植栽様式、密度 ・単植園での生産量の確認	A D	果樹	園芸畑作部会(果樹)
3	全農園芸部	雇用型野菜農家育成手法の確立(主に大規模果菜作農家を対象として)	・雇用を前提とした場合の野菜経営のあり方等、具体的な展開手法 ・雇用を導入する場合の労務管理手法等経営管理者として具備すべき条件	B C	農業経営	園芸畑作部会(野菜)総合部会
4	全農岩手県本部	飼料用トウモロコシの不耕起及び簡易耕起栽培技術の確立	(1)岩手における飼料用トウモロコシの不耕起栽培、簡易耕起栽培の可能性を探るための栽培試験。 (2)不耕起及び簡易耕起栽培に必要な圃場条件、施肥方法、連作による生産性の低下等の検討。	A	飼料生産	畜産部会
5	全農岩手県本部	生乳中の生菌数低減対策の検討	(1)畜産研究所搾乳施設を利用して生菌数が多くなる原因とその対策を検討する。 (2)菌の種類ごとに増えやすい場所、条件等を検討、その菌の特徴をつかんだ有効な対策を検討する。	C	家畜飼養	畜産部会
6	(社)岩手県農産物改良種苗センター	平成14年産小麦種子の発芽率低下の原因と対応技術の確立	平成14年産小麦種子で、見かけ上の品質が良好であっても、品種及び収穫時期の違いによって発芽率が著しく低下した種子が生産されたが、その原因が不明である。今後でも再発する可能性があるため、対応技術を確立してほしい。	C D	野菜畑作生産工学	園芸畑作部会(畑作物)
7	(社)岩手県農産物改良種苗センター	大豆種子の発芽時における発根障害と種子としての機能の確認	(1)平成14年産大豆種子で、発芽時に胚軸から幼根が伸長しない種子が20~25%程度発生した。その種子は数日後胚軸から細根が伸長した。(図参照) (2)幼根が伸長しない原因と種子としての機能の解明を要望する。	C	専門技術員室	園芸畑作部会(畑作物)
8	流通課	水稻の有機栽培技術の確立	水稻有機栽培における民間栽培技術の評価と寒冷地に対応した栽培技術の確立を図る。	D	環境保全水田作土壌作物栄養病理昆虫	農産部会
9	流通課	りんごの減農薬・減化学肥料栽培技術の確立	りんごにおける減農薬・減化学肥料栽培技術の確立を図る。	A	環境保全病理昆虫土壌作物栄養	園芸畑作部会(果樹)
10	流通課	食品廃棄物等有機性資源の肥料化における発酵条件と農産物の生育・品質に与える影響	食品廃棄物や家畜ふん尿など有機性資源のリサイクルについては、堆肥利用が主体となっているが、その発生量の多さから、肥料としての利用も不可欠となっている。また、特別栽培農産物に係る表示ガイドラインにおける減化学肥料栽培に対応した有機質肥料の供給についても、低コストで有効な手段が求められてきている。現在、肥料利用は、原材料による製品の成分の変化や土壌に与える影響、生育に及ぼす影響など未解明の部分が多く、それぞれの実施主体で試行錯誤しながら対応している状況にある。このため、有機性資源の種類等に応じた適切な発酵条件の解明とその製品の成分、生育に与える影響についての検討が必要である。	A C	土壌作物栄養飼料生産土壌作物栄養	総合部会
11	農林水産部畜産課	有機牛肉生産における日本短角種子牛の放牧育成技術の確立	無農薬、無化学肥料による草地並びに野草地の維持管理・堆肥の施用による牧養力の向上と適正な放牧管理 放牧管理と子牛育成・D・Gの確保と放牧衛生予防薬等の未使用の取り組み	A C	外山畜産	畜産部会

No	要望機関名	要望課題名	要望課題の内容	措置区分	担当研究室(主査)	検討部会
12	農林水産部 畜産課	牛乳の機能性食品としての評価について	(1)乳汁中成分における機能性成分の分析・調査 (2)給与飼料が機能性成分含有量に与える影響調査 (3)機能性成分含有量を高める飼養管理技術の確立	D D	家畜飼養	畜産部会
13	北上地方振興局 農林部	融雪等による除雪技術の開発	(1)融雪剤を使用した場合の土壌や作物への障害 (2)融雪剤の効果 (3)新たな融雪剤等の開発	C	専門技術員室	総合部会
14	一関地方振興局 農林部	草地(飼料畑)の窒素施用基準(堆肥の連続施用条件下における)	(1)土壌診断に用いる簡易な土壌中有効態窒素分析法の検討。平成18年度まで (2)有機態窒素から無機態窒素への移行量の推定(土壌分析値による)平成18年度まで (3)窒素の減肥基準の作成平成20年度まで	B	飼料生産	畜産部会
15	二戸地方振興局 農政部	東北地域における米の産地力強化	(1)米の品質・食味と標高や地域性との関係の精度 (2)東北における水田営農組織育成手法の検討 (3)「東北産米ならでは」の販売戦略の検討	C	専門技術員室	農産部会
16	二戸地方振興局 農政部	公共牧場における発酵鶏糞の利用マニュアル作成	鶏糞施肥マニュアルの作成(施肥量、草地の持続性に及ぼす影響、嗜好性に及ぼす影響、経済効果、発酵堆肥の熟度評価法)	A	外山畜産 飼料生産	畜産部会
17	千厩地方振興局 千厩農村整備事務所	農地還元を前提とした場合の農業集落排水汚泥の利用方法、安全性に検討	・農業集落排水汚泥の農地還元利用に係る手法確立。(H17) ・農地還元利用を前提とした場合の「農業集落排水汚泥」の安全性に係る基準、及び簡易な安全性確認手法の確立。(H17)	B	土壌作物栄養	総合部会
18	千厩地方振興局 千厩農村整備事務所	軟弱地盤地帯である門崎地区ほ場整備事業の施工技術及び畑作物等の導入を前提とした営農対策技術の検討	(1)地下水が高いことに起因するコーン指数2.0kgf/cm <sup>2</sup> 未満の粘性土壌水田でのほ場整備工法の検討・選定(H16まで) (2)ほ場整備後の水田土壌挙動の検討と対策の確立(H17まで) (3)ほ場整備後の畑作物等を前提とした場合のほ場排水対策及び営農技術対策の確立(H18まで)	D	生産工学 土壌作物栄養	農産部会
19	農業大学校	「生産技術体系」の追加更新及び「クーパー博士」のバージョンアップ	(1)生産技術体系の更新 (2)ネットワーク対応型の経営設計システムの開発	A	農業経営 関係研究室	総合部会
20	盛岡農業改良普及センター	飼料用トウモロコシの獣(熊)害防除のための電気牧柵の設置方法	熊による食害を防ぐため放牧用の電気牧柵が使われている事例があるが、この効果的な設置方法(電圧や設置形態など)を明らかにする。	C	専門技術員室	畜産部会
21	盛岡農業改良普及センター 岩手地域普及所	高WSC含量の牧草栽培技術	(1)刈り取り時期(時間)、施肥、草種等がWSC含量に及ぼす影響 (2)サイレージ化するにあたって適当なWSC含有量	C C	飼料生産	畜産部会
22	盛岡農業改良普及センター 岩手地域普及所	本県におけるコーンプロセッサー導入効果	(1)コーンプロセッサー導入による踏圧効果及び品質効果 (2)コーンプロセッサー調整サイレージの消化率	D	飼料生産	畜産部会
23	盛岡農業改良普及センター 岩手地域普及所	草地の物理性改善による肥効、収量等への効果	(1)長期間にわたり重量機械によって硬化した草地での物理性改善による収量アップ効果の確認 (2)物理性改善による肥料効率の確認 (3)現場で容易に測定可能な草地の硬化程度	C C C	飼料生産	畜産部会
24	盛岡農業改良普及センター 岩手地域普及所	肥育牛における尿石症、肝炎対策	肉質を重視した牛肉生産を目的とした濃厚飼料多給肥育が行われている。しかし、過剰な飼料給与により、消化器官に多大な負荷がかかり、尿石症、肝炎等の疾患を引き起こす結果となっている。このため、飼料の消化性や具体的な飼料要求量を調査し、消化器官を健全に機能させる必要がある。	A	家畜育種	畜産部会
25	盛岡農業改良普及センター 岩手地域普及所	肥育牛における抗生物質、抗菌性物質の代替	食に対する安全志向が高まっている社会情勢の中で、健康畜にあらかじめ抗生物質が添加されている配合飼料を給与することは、その畜産物への購買意欲を減退させる可能性がある。そのため、抗生物質の代替品の紹介と効果を調査する必要がある。	D	家畜育種	畜産部会
26	盛岡農業改良普及センター 岩手地域普及所	おいしい牛肉の解明	現在の日本格付協会による牛肉格付は、脂肪交雑がきめ、しまり等、外貌上の特徴により行われており、食味に対応するものではない。そこで、おいしさを客観的に数値化することでより詳細な牛肉の情報を消費者へ提供を可能とする。	B	家畜育種	畜産部会
27	水沢農業改良普及センター	夏秋施設果菜産地における生物農薬等を利用した減化学農薬栽培技術の確立	(1)化学農薬の使用量を減らす具体的な防除技術体系の確立平成18年 (2)夏秋産地で成功する天敵利用技術のポイントを明らかにする平成17年	B A	病理昆虫 環境保全	園芸畑作部会 (野菜)

No	要望機関名	要望課題名	要望課題の内容	措置区分	担当研究室(主査)	検討部会
28	水沢農業改良普及センター	酪農メガファームの成立要件の検討	(1)酪農メガファームの経営がうまくいく要件を明らかにする。 (2)酪農メガファームのクリアすべき技術要件を実証する。	A	農業経営 家畜飼養	畜産部会
29	一関農業改良普及センター	稲発酵粗飼料の超低コスト生産技術の確立	(1)低コスト直播栽培技術の確立 特に無コーティング直播あるいは低コストコーティング資材の利用による直播栽培の確立 (2)新規投資の少ない田植機利用直播(マット利用)の有効性の検証 (3)中山間地向けの移植栽培(粗植、乳苗等)によるWCS栽培体系 (4)病害虫抵抗性品種等(マルチライン利用、抵抗品種の混植栽培技術、既存の高度抵抗性品種等)の利用による低コスト病害虫防除体系の確立	B	水田作 飼料生産	農産部会
30	一関農業改良普及センター	いちごの高設栽培における施肥削減	慣行の土耕栽培より高設栽培の方が減肥可能であることの実証成果	A	南部園芸	園芸畑作部会(野菜)
31	一関農業改良普及センター	稲発酵粗飼料(WCS)の安定給与技術の確立	(1)現地におけるWCS発酵品質評価基準の作成 平成17年度まで (2)畜種別WCS適正給与量の検討と給与マニュアルの作成 平成17年度まで (3)コントラクター等によるWCS安定流通の条件 平成17年度まで	D B C C	飼料生産 飼料生産 家畜育種 農業経営	畜産部会
32	宮古農業改良普及センター	契約販売の事例集の発行と契約数量の限界点の評価	近年、量販店等との契約販売による農産物の出荷が進んできているが、産地では安定的な契約数量確保の試算方法等が確立されていない状況にある。 今後、契約販売により安定的に農産物の価格を確保するため、契約販売の事例を収集するとともに、出荷量に対する契約販売可能な数量を気象条件などを勘案して限界点の評価を行う。	C	専門技術員室	総合部会
33	宮古農業改良普及センター	消費者・量販店の青果物に対する意識調査	産地偽装問題、登録失効農薬の不正使用などの問題により、消費者の食品青果物に対する評価が厳しくなっている。 そこで、 (1)農薬に対する認識、安全な野菜の条件、安定的な野菜供給の必要性の認識程度等について把握するため、消費者・消費者団体・量販店担当者・市場担当者等を対象としたアンケート調査を実施し、現在の野菜生産における課題点を整理する。 (2)また、有機農産物と慣行栽培農産物の消費動向についても調査する。	B C	農業経営	総合部会
34	宮古農業改良普及センター	わさびの花芽形成・休眠特性の把握	冬期間の所得確保として促成わさび栽培の導入が進んできているが、より所得を向上させるためには単価的にも高い花茎出荷の割合を増やすことが重要である。 しかしながら、わさびの抽台生理については充分な解明がなされていないことから、低温遭遇時間の不足による花芽の減少が起り安定的な生産ができない事例が見られる。このため、花芽形成にかかる根株の低温要求量について特定を行ってほしい。	C D	野菜畑作	園芸畑作部会(野菜)
35	宮古農業改良普及センター	近紫外線除去フィルムの特性把握	近紫外線カットフィルム各資材について、効果の経時変化(吸収率が低下程度)などの資材特性を明らかにすることにより、資材選択が容易となり、効率的な病害虫防除技術の確立につながる。	C	専門技術員室	園芸畑作部会(野菜)
36	久慈地方振興局 農政部、久慈農業改良普及センター	久慈地方における寒じめほうれんそうの栽培法の確立	久慈地方における寒じめほうれんそうの栽培法の確立 (1)露地及びハウスの各作型における播種時期及び収穫開始時期の設定 ア 気象条件(温度・日照)と生育反応(縮葉や開帳のメカニズム)及び生育相の解析 イ 気象条件が栄養成分に及ぼす影響 ウ 生育可能な地帯区分の設定 (2)露地及びハウスの各作型における施肥法(基肥・追肥)と効率的な栽植密度の策定 (3)栄養価が高いなど有利販売が可能な寒じめ作型品種の検索 (4)寒じめ作型導入によるハウスの周年連作体系での萎凋病等連作障害への影響とその対応策	B D B A	産地育成 保鮮流通技術	園芸畑作部会(野菜)
37	久慈地方振興局 農政部、久慈農業改良普及センター	ほうれんそうの夏期栽培法の見直し	ほうれんそうの夏期栽培法の見直し (1)夏期栽培向け品種の検索(丸葉も含めて) (2)栽植密度、灌水方法等夏期の栽培法の見直し (3)ハウス内気温低下方法の検討	B B B	産地育成	園芸畑作部会(野菜)
38	二戸農業改良普及センター	りんどう褐斑病の発生生態の解明	(1)りんどう褐斑病の発生生態の解明 (2)発生生態に基づいた効果的な防除対策の確立	C B	病理昆虫	園芸畑作部会(花き)

No	要望機関名	要望課題名	要望課題の内容	措置区分	担当研究室 (主査)	検討部会
39	二戸農業改良普及センター	りんどうの栄養サイクルに関する基礎的研究	(1)養分の吸収・貯蔵・消費についての年間動態の解明 特に窒素の動態解明 茎葉の生長が、貯蔵養分依存から自立栄養に転換する時期の解明 (2)窒素供給時期が切り花品質や株の生育に及ぼす影響の解明	B  D D	土壌作物栄養 花き	園芸畑作部会 (花き)
40	二戸農業改良普及センター	大型機械等の走行が畑地の耕盤形成に及ぼす影響の解明と防止対策	(1)大型機械等の走行畑地の耕盤形成に及ぼす影響 耕盤がどのように形成されるかの過程解明 透水性に与える影響 (2)防止対策技術の開発 野菜栽培の継続を前提とした透水性改善対策技術の開発 ブラソイラーやサブソイラー等の効果、実施間隔の明確化 降雨量が降雨後の防除作業に及ぼす影響と速やかに撒布できる技術の開発	B	産地育成 生産工学 営農技術	園芸畑作部会 (野菜)
41	二戸農業改良普及センター	排水不良畑地土壌における低コストで効果的な透水性付与技術の開発	飼料作物導入による透水性改善効果 緑肥作物等を組み入れた輪作体系等の透水性改善効果 ブラソイラーやサブソイラー等農家レベルで実施できる排水対策技術の効果度や実施間隔	B	産地育成 生産工学 営農技術	園芸畑作部会 (野菜)
42	二戸農業改良普及センター	小規模栽培面積を想定した雑穀の機械化栽培体系技術の開発	機械化(小型播種機+中耕培土機+バインダー+小型の脱穀機+乾燥法)体系と栽培法の確立対象作物:あわ、ひえ、いなきび、そば、だったんそば、アマランサス	A	営農技術	
43	二戸農業改良普及センター	雑穀在来品種の生態的並びに栄養価としての特性把握	雑穀在来品種の生態的特性把握 栄養価としての特性把握 用途別にみた場合の適性分類	B	やませ利用 保鮮流通技術	
44	二戸農業改良普及センター	鶏ふん焼却灰の土壌改良資材としての利用特性の解明	(1)鶏ふん焼却灰の土壌改良資材としての利用技術 鶏ふん焼却灰の県内における生産実態(生産量、流通実態、規格・品質等) 土壌改良資材としての特性(化学成分、アルカリ含量等) 土壌改良効果と適正施用量	C	専門技術員室	



#### 4 共同研究等の推進

##### (1) 地域基幹農業技術体系化促進研究（国庫1/2補助）

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	主査研究室
不耕起・無中耕・無培土栽培を基幹とした大豆の超省力安定栽培技術の確立	栃木農試 愛知農総試	11～15	不耕起・無中耕・無培土技術を中心とした超省力栽培体系の確立による転換畑大豆作の規模拡大	野菜畑作
中山間地域における産地マーケティングに基づく特産的高付加価値農産物生産技術	青森畑園試 秋田農試	11～15	地域資源を活用した高付加価値農産物の生産・流通システムの確立	農業経営
市場評価向上を目指した黒毛和種肥育素牛の集約放牧技術	北海道畜試 青森畜試 福島畜試	11～15	放牧肥育素牛の発育改善、肥育成績向上のための技術対策	外山畜産
新素材新省力技術を基幹とした高品質・値頃感リンゴの生産技術	青森りんご試 山形園試 長野果樹試	12～16	食味本位の果実を安定して省力的に生産・供給する技術の確立	果樹
寒冷地における立毛間播種機利用による麦・大豆輪作栽培技術	宮城古川農試 山形農試	13～16	東北北部地域での立毛間播種機利用による小麦・大豆輪作技術の確立	生産工学
地域資源活用による乳牛の生涯生産性向上に向けた飼養技術の確立	北海道畜試 青森畜試 秋田畜試 宮城畜試 福島畜試	14～16	資源循環型の高品質な自給粗飼料生産技術、高能力牛の飼養管理技術の確立	飼料生産

##### (2) 先端技術等地域実用化研究促進事業（国庫1/2補助）

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
優良種畜の安定的大量生産技術の開発	北海道畜試 山梨酪農試 兵庫中央農セ 広島畜技セ 島根畜試 徳島畜試 熊本農研セ	10～15	高能力牛胚の大量生産や家畜改良における世代間隔短縮のための核移植技術の開発	家畜工学
リンゴわい化栽培における省力・安定生産のためのJM台木利用・早期成園化技術の開発	秋田果樹試 宮城農・園総合研 福島果樹試 長野果樹試	11～15	挿し木繁殖性に優れ、高品質果実生産が期待できるJM系わい性台木を利用した低樹高栽培法の確立	果樹
寒冷地における枝物花木類の栽培技術体系の確立	山形園試 福島農試 鳥取園試	12～15	寒冷地に適した露地向け花き品目である枝物花木類の栽培技術の確立	花き

##### (3) 国庫委託研究事業（国庫10/10委託）

事業名・課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
特性検定試験事業 ・ 麦類（耐寒雪性） ・ 大豆（立枯性病害抵抗性）	国	継続	国及び育種指定試験地で育成中の系統について、育成地では実施しがたい特性の検定を行い、選抜効率の向上のための資料を得る	野菜畑作 野菜畑作
系統適応性検定試験事業 ・ 水陸稲 ・ 馬鈴薯 ・ 小豆 ・ とうもろこし ・ 果樹	国	継続	国及び育種指定試験試験地で育成中の系統について、育成地と異なった風土での確認を行い、新品種決定のための資料を提供する。	水稲育種 野菜畑作 野菜畑作 飼料生産 果樹
種苗特性分類調査 ・ アマランサス	国	14～15	品種登録のため、主要品種の特性を調査するとともに審査基準の案を作成する。	やませ利用

(4) 交付金プロジェクト委託研究 (10 / 10 委託)

事業名・課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
画期的園芸作物新品種創出による超省力栽培技術の確立	(独)果樹研究所	13～17	リンゴのカラムナータイプに適合した省力技術体系の開発	果樹
特定資材を用いた現地農法に関する総合研究	(独)東北農業研究センター	12～16	電解水によるキュウリ等の病害に対する抑制効果の実証	環境保全
寒冷地におけるイチゴの周年供給システムの確立	(独)東北農業研究センター	15～19	東北北部内陸地域における夏秋どり新作型の開発	野菜畑作
			超促成・越年(株)型経営モデル作成	農業経営

(5) 委託プロジェクト研究 (10 / 10 委託)

事業名・課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
有用遺伝子活用のための植物(イネ)・動物ゲノム研究	(独)農業生物資源研究所	13～15	イネの遺伝子機能-圃場生産インターエース型シミュレーターの開発	水稲育種
新鮮でおいしい「ブランドニッポン」農産物提供のための総合研究	(独)野菜茶業研究所	14～16	ハウレンソウの機械収穫に適した品種の選定	営農技術
	(独)東北農業研究センター	15～17	有望小麦系統の高品質・安定多収栽培技術の開発	野菜畑作
			麦後大豆の高品質栽培技術の確立	野菜畑作
農林水産生態系における有害化学物質の総合管理技術の開発	(独)農業環境技術研究所	15～17	東北地域における野菜の低吸収・低蓄積機構の解明	環境保全
			動態モデル開発のための水田用農薬の動態解明	環境保全
食品の安全性及び機能性に関する総合研究	(独)農業生物資源研究所	15～19	日本短角種の全個体認証システムの構築	家畜育種
細断型ロールペーラの開発促進評価試験	(独)生物系特定産業技術研究支援センター	14～15	21世紀型農業機械等緊急開発事業で開発した農機について実用化のための資料を得るもの	飼料生産
データベース・モデル協調システムの開発	(独)中央農業総合研究センター	13～16	分散協調型農業技術体系データベースを用いた生産計画支援システムの開発	農業経営

(6) 先端技術を活用した農林水産研究高度化事業 (10 / 10 委託)

課題名	中核機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
野菜における硝酸塩蓄積機構の解明と低減化技術の開発	(独)野菜茶業研究所	14～16	塩基バランス制御によるハウレンソウ、キャベツの硝酸塩濃度低減化	土壌作物栄養
日本短角種 DM 牛の高度活用による次世代型機能性健康ビーフの開発	東北大学大学院	15～19	早期遺伝子診断を取り入れた優良種雄牛短期造成技術の開発	外山畜産
寒締め野菜の高品質化シナリオの策定と生産支援システムの開発	(独)東北農業研究センター	15～17	寒締め野菜の品目の拡大と環境調節シナリオの策定	産地育成

## (7) 民間委託研究 (10/10 委託)

事業名・課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
たばこ耕作資材試験	(財)日本葉たばこ技術開発協会	継続	資材 3件	やませ利用
農薬及び植物調節剤等の効果検 定試験	(社)岩手県植物防疫協会	継続	新農薬効果試験 58件	病理昆虫
	(財)日本植物調節剤研究協会	継続	除草剤実用化試験 36件	水田作 野菜畑作 果樹 やませ利用
	新稲作研究会	15	水田用除草機の性能確認試験 1件	生産工学
	(社)農林水産航空協会	15	無人ヘリコプターによる小麦の赤か び病防除試験 1件	野菜畑作
肥料の効果に関する試験	岩手県施肥合理化協議会	継続	水田作 1件 生産工学 1件 野菜畑作 4件 土壌作物栄養 8件 保鮮流通技術 2件 果樹 2件 営農技術 7件 産地育成 3件 南部園芸 3件	主査： 土壌作物栄養
東北新幹線盛岡・八戸間鉄道施 設の日陰に伴う農作物影響調査	(独)鉄道建設・運輸 施設整備支援機構 鉄道建設本部 盛 岡支社	15	東北新幹線盛岡・八戸間において、 岩手県内の沿線で作付けされた農作 物に対し、新幹線高架橋による日照 不足で生じる影響を調査し評価する	水田作

## (8) 夢県土いわて戦略的研究推進事業 (科学技術課所管 公募競争型 県単)

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
フラットベツトスキャナを用い た土壌全炭素簡易推定キット開 発	工業技術センター	15~16	土壌全炭素含量の簡易推定用キット 試作品開発	土壌作物栄養
野菜類の残留農薬分析における 簡易分析法の開発	環境保健研究センタ-	15~17	イムノアッセイ法による野菜類の残 留農薬の簡易・迅速な分析手法の開 発	環境保全
新遺伝子増幅技術「LAMP 法」 を用いた病原ウイルス・ウイル スの検出に関する調査 (試験研究機関機能強化推進事業可能性調査研究)	(財)岩手生物工学研 究センター	15	(1) LAMP 法の原理についての学習 (2) LAMP 法の実験手法の学習 (3) 実用化した先進地の事例調査 (4) ウイルス診断に関する情報収集	応用生物学

## (9) 21世紀型農業経営モデル実証試験 (県単)

課題名	振興局 (市町村名)	研究 期 間	実 証 研 究 課 題	担 当 研究室
畑地かんがい地帯における野 菜、花き等の高収益モデル実証	盛岡 (岩手町)	13~15	(1) 有機質資源の活用指針の作成 (2) 効率の高い稲作・転作営農技術の確立 (3) 土壌水分予測に基づく効率のかん水技術の 開発	営農技術
水田を活用した持続的作付体系 及び優良種苗の安定確保による サトイモ産地強化の実証	北上 (北上市)	13~15	(1) 根腐病対策を中心とした水田活用による持 続型作付け体系の実証 (2) 優良種苗の現地選抜	野菜畑作 応用生物 病理昆虫

課 題 名	振興局 (市町村名)	研 究 期 間	実 証 研 究 課 題	担 当 研 究 室
大規模ほ場整備地区におけるほ場畦畔の雑草抑制と景観形成技術確立	水沢 (胆沢町)	13～15	(1) 町委託事業への参画による有望 GCP の検討 (2) 有望 GCP の増殖管理技術の検討	水田作 生産工学
水田地帯における園芸生産の高度・安定化「いちご栽培における省力技術の導入による高度生産化」	一関 (花泉町)	13～15	(1) 新品種導入に際する技術支援 (2) 短日処理技術実証に係る技術支援 (3) 導入技術に対する経営モデル確立	南部園芸
東磐井地区における園芸省力安定生産モデル経営の実証	千厩 (大東町)	13～15	(1) トマト点滴かん水施肥栽培技術の実証確立	南部園芸
ほ場整備地区における園芸団地形成に向けた農業経営の確立	大船渡 (陸前高田市)	13～15	(1) 農業経営モデルの分析・評価	農業経営
雨よけほうれんそうの大型経営確立による産地拡大	遠野 (遠野市)	13～15	(1) ほうれんそう大型経営の栽培技術実証	野菜畑作 産地育成
沿岸中山間地域における花き周年生産モデルの確立	宮古 (宮古市)	13～15	(1) トルコギキョウの良品生産技術の指導 (2) スプレーギクの日長管理技術の指導 (3) オリエンタル系ゆりの良品生産技術の指導 (4) ストックの良品生産技術の指導 (5) 花き周年栽培モデル体系の確立	花き
大規模畑作における輪作を基本とした園芸作物の普及型安定生産技術体系の確立	久慈 (普代村)	13～15	(1) 野菜・緑肥を中心とした輪作体系の確立 (2) 灌漑施設を利用した野菜安定栽培技術の確立 (3) 新規開発畑における土壌管理・輪作マニュアルの策定 (4) 経営感覚に優れた主業型農家の育成	やませ利用 農業経営 営農技術

(10) 岩手県生物工学研究所との共同研究

課 題 名	担当研究室
いもち病抵抗性関連遺伝子を導入した水稲の耐病性評価	応用生物工学
DNA マーカーを用いた水稲特性検定法の確立	水稲育種 応用生物工学
りんどう病原ウイルス (CMV 等) の検出・診断技術の利用	応用生物工学
トマト黄化えそウイルス (TSWV) の検出・診断技術の確立及び利用	応用生物工学
アグロバクテリウム・リゾジェネス A4 菌を用いた矮化リンドウの特性評価	応用生物工学 花き
耐病性関連遺伝子を導入したりんごの糸状菌病抵抗性評価	応用生物工学
リンゴ根頭がんしゅ病菌の検出・診断技術の確立と利用	病理昆虫 応用生物工学
ピーマン病原ウイルス (PMMoV) の検出・診断技術及び系統解析技術の利用	応用生物工学
ナス科作物青枯病菌の検出・診断技術の利用	応用生物工学

(11) 大学との共同研究

課 題 名 等	相手方	研究期間	研 究 の 内 容	担当研究室
カイコ及び野蚕からの新規機能性物質の利用開発	岩手大学	12～	カイコの抗カビ性物質や天蚕の休眠制御物質、天蚕フィブロインからの化粧水等の新機能性物質と関連化合物を農業生産場面で効率的に利用する方法と医療場面で有効に活用する方法を開発する。	病理昆虫

(12) AFR(岩手農林研究協議会)研究会  
ア 研究会

名 称	構 成	研究期間	共同研究者
花卉育種研究会	岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	10～	児玉 勝雄、内藤 善美、阿部 潤、茂市 修平、川村 浩美、藤井 伸行、高橋 聡子、葛巻美和子、小田島 雅
昆虫機能利用研究会	岩手大学農学部・教育学部、岩手医大、岩手県農業研究センター、岩手県立農業大学校	10～	鈴木 敏男、藤沢 巧、大友 令史、後藤 純子、桐山 直盛
植物育種研究会	岩手大学農学部・教育学部、生物工学研究所、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター	10～	木内 豊、中野 央子、仲条 眞介、田村 和彦、阿部 陽
農作物ウイルス病診断防除研究会	岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	10～	勝部 和則、猫塚 修一、阿部 弘
機能性食品研究会A(雑穀)	岩手大学農学部、岩手大学大学院連合農学研究科、工業技術センター、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター、二戸農業、浄法寺農業、カナン牧場	10～	大清水保見、長谷川 聡
機能性食品研究会B(豆腐)	岩手大学農学部、工業技術センター、岩手県農業研究センター、黒川食品㈱、花巻起業化支援センター	10～	門間 剛
農作業システム自動化研究会	岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	10～	高橋 修、大里 達朗、藤井 智克、高橋 昭喜
乳牛の周産期疾患研究会	岩手大学農学部、岩手県農業研究センター畜産研究所、小岩井農牧、日本金葉工業	10～	阿閉 博明、菊地 正人、山口 直己、茂呂 勇悦
水稻栽培研究会	岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	11～	高橋 政夫、大清水保見、小田中温美、吉田 宏、尾形 茂、臼井 智彦、寺田 道一、藤田 智美、及川 あや
果樹栽培研究会	岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	11～	佐々木 仁、鈴木 哲、小野 浩司、河田 道子、奥平麻里子、浅川 知則
リンドウ研究会	岩手大学農学部、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター、安代町花き開発センター	11～	阿部 潤、児玉 勝雄、竹澤 利和、阿部 弘、安ヶ平紀子
植物耐冷性研究会	岩手大学農学部、岩手県農業研究センター、生物工学研究所	12～	中野 央子、仲条 眞介、田村 和彦、阿部 陽、竹澤 利和
雑穀の病害虫に関する研究会	岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	12～	飯村 茂之、勝部 和則、大友 令史、桐山 直盛、長谷川 聡
ホップの機能性研究会	岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	11～	高橋 壯
有機質資源循環利用研究会	岩手大学農学部、工業技術センター、岩手県農業研究センター	12～	川畑 茂樹、高橋 修、小野 剛志、折坂 光臣、佐藤 千秋、高橋 正樹、高橋 良学、小田島川ミ子、松浦 拓也
始原生殖細胞(PGCs)利用研究会	岩手大学農学部、岩手県農業研究センター、小岩井農牧	13～	小松 繁樹、吉田 登
里地・里山生物多様性研究会	岩手大学人文社会科学部、県立博物館、(社)岩手県植物防疫協会、環境保健研究センター、岩手県農業研究センター	14～	阿部 節男、武田 眞一、築地 邦晃、佐藤千穂子、鈴木 敏男、後藤 純子、大友 令史

名 称	構 成	研究期間	共同研究者
硝酸性窒素動態研究会	岩手大学農学部、岩手県立大学総合政策学部、環境保健研究センター、農業普及技術課、岩手県農業研究センター	14～	築地 邦晃、小野 剛志、中野 亜弓、平賀 昌晃、小田嶋 ルミ子、高橋 好範
食品廃棄物の飼料化研究会	岩手大学農学部、東北農業研究センター、工業技術センター、岩手県農業研究センター	14～	小松 繁樹、川畑 茂樹、鈴木 賢、吉田 登、安田 潤平、松木田裕子
農業IT活用研究会	岩手県立大学、八戸工業高等専門学校、農業普及技術課、岩手県農業研究センター	15～	武田 眞一、前山 薫、鈴木 敏男、勝部 和則、後藤 純子、大友 令史、猫塚 修一、高橋 正樹、高橋 良学、平賀 昌晃、沼田 芳宏、佐藤千穂子、折坂 光臣、桐山 直盛、松浦 拓也

#### イ AFR協議会等の開催

開催月日	場 所	内 容
15. 8. 1	農業研究センター	(1) AFR 協議会 現状評価、今後の活動予定、報告事項 (2) 成果報告会 79名出席 6成果を報告
15.11.28	岩手大学	シンポジウム 「農林業と産学官連携～地域の期待」(財)岩手経済研究所 谷藤 邦基主任研究員 「植物研究への期待～コンボン研究所及びトヨタにおける研究展開」 (株)コンボン研究所 井上 恵太

#### (13) その他共同研究契約

課 題 名	相手方	研究期間	研 究 の 内 容	担当研究室
野菜の内部品質向上対策のための品質評価に関する研究	全農岩手県本部	13～15	(1) 野菜の内部品質評価のための簡易分析法開発及び成分変動要因の解析 (2) 化学分析による成分評価及び県産野菜の成分実態調査	保鮮流通技術
黒毛和種及び日本短角種における経済形質に関わるゲノム解析研究	(社)畜産技術協会	13～	岩手県種雄牛の半兄弟家系を作成し、DNA マーカーによる連鎖解析を行い、経済形質遺伝子座を明らかにする。また、劣性遺伝病について、発病牛家系の DNA マーカーによる連鎖解析を行い、原因となる遺伝子座を明らかにする。	家畜工学
降霜予測手法の開発	横河電子機器(株)	14～16	(1) 降霜現象を気象因子から解析し、降霜推定式を開発する。 (2) 降霜現象を客観的に自動でモニタリングする手法を開発する。	環境保全
生物遺伝資源交換に関する研究協定	(独)農業生物資源研究所	14～24	(1) 植物、動物、微生物の生物遺伝資源及び DNA の相互交換	-

#### (14) その他産学官連携

名称	開催月日	場 所	内 容
イーハトーブ産学官連携推進の成果と課題発表会 〔岩手大学地域共同研究センター〕 10周年記念行事	15.10.8	盛岡市	記念講演「21世紀の新しい産業の創造を目指して～産学官連携に期待するもの」(岩手県知事) ・ 農業研究センター共催 ・ ポスターセッションに4題参加
岩手県産学官連携会議	年6回	盛岡市ほか	事務局：岩手大学地域共同研究センター
作物ゲノム育種ネットワークグループ	-	-	事務局：(独)作物ゲノム育種センター 参加職員：田村和彦、竹澤利和、安ヶ平紀子
寒冷圏未利用資源研究ネットワーク	-	-	事務局：岩手大学大学院連合農学研究科

5 現地試験の実施

内 容 ( 試験研究課題名 )	市町村名	地 区 名	担 当 研 究 室
草花花木流通情報サポートシステム設置実証(地域資源を活用した高付加価値農産物の生産・流通システムの確立)	八戸市	県北中山間	企画経営情報部 農業経営研究室 産地育成研究室
	軽米町	〃	
	大野村	〃	
	二戸市	〃	
〃			
〃			
〃			
〃			
県南沿岸地域の小規模農業地域における地域農業再編モデルの策定(21世紀型農業経営モデル実証試験地事業)	陸前高田市	浜田川	農業経営研究室
水稲奨励品種決定現地調査(粳)	雫石町	上野	農産部 水田作研究室
〃	紫波町	星山	〃
〃	西根町	大更	〃
〃	花巻市	矢沢	〃
〃	沢内村	前郷	〃
〃	胆沢町	小山	〃
〃	江刺市	稲瀬	〃
〃	花泉町	花泉	〃
〃	千厩町	千厩	〃
〃	遠野市	青笹	〃
〃	山田町	豊間根	〃
〃	陸前高田市	竹駒町	〃
〃	種市町	宿戸	〃
〃	浄法寺町	浄法寺	〃
〃	紫波町	南日詰	〃
〃	一関市	厳美町	〃
県産米の品質・食味レベルアップ現地実証栽培(純情米総合実証展示圃)	一関市	中里	水田作研究室
〃	前沢町	古城	〃
〃	水沢市	佐倉河	〃
〃	胆沢町	大畑平	〃
〃	金ヶ崎町	永栄	〃
〃	江刺市	稲瀬	〃
〃	北上市	飯豊	〃
〃	花巻市	宮野目	〃
〃	東和町	前田	〃
〃	遠野市	青笹	〃
〃	石鳥谷町	八幡	〃
〃	矢巾町	東徳田	〃
〃	雫石町	安庭	〃
〃	西根町	平笠	〃
〃	九戸村	荒屋	〃
寒冷地北部におけるホールクロップサイレージ用イネの栽培実証(ブランドニッポン)	紫波町	片寄	水田作研究室
不良環境地帯向け水稲品種の育成	沢内村	高下	水稲育種研究室

内 容 ( 試験研究課題名 )	市町村名	地 区 名	担 当 研 究 室
重機の走行がほ場整備後の土壌均一性に与える影響の解明	宮守村	宮守川上流	生産工学研究室
”	江刺市	袖野	”
”	胆沢町	いさわ南部	”
ロングマット水耕苗移植栽培技術の確立と実証	江刺市	藤里	生産工学研究室
”	胆沢町	小山	”
麦・大豆立毛間播種栽培の現地実証	北上市	藤根	生産工学研究室
ネギの省力機械化体系確立実証	花巻市	太田	生産工学研究室
JM 台木の現地適応性試験	二戸市	金田一	園芸畑作部 果樹研究室
”	宮古市	内の沢	”
”	矢巾町	煙山	”
”	江刺市	小倉沢	”
”	花泉町	花泉町	”
リンゴ育種系統の現地適応性試験	二戸市	金田一	果樹研究室
”	宮古市	内の沢	”
”	矢巾町	煙山	”
”	江刺市	小倉沢	”
”	花泉町	花泉町	”
食味本位リンゴ栽培体系化実証試験	紫波町	長岡	果樹研究室
麦類奨励品種決定現地調査	紫波町	水分	野菜畑作研究室
”	東山町	長坂	”
大豆奨励品種決定現地調査	前沢町	古城	野菜畑作研究室
”	藤沢町	要害	”
不耕起大豆の超省力安定栽培技術の確立	玉山村	門前寺	野菜畑作研究室
”	北上市	相去	”
はとむぎの優良品種選定現地試験	東和町	南川目	野菜畑作研究室
”	衣川村	八地	”
豆腐有望品種現地導入試験	江刺市	田原	野菜畑作研究室
”	二戸市	金田一	”
水田を活用した持続的体系及び優良種苗の確保によるサトイモ産地強化の実証	北上市	二子	野菜畑作研究室
雨よけほうれんそうの大型経営確立による産地拡大	遠野市	小友	野菜畑作研究室
地域確立「寒冷地イチゴ」現地実証	盛岡市	飯岡	野菜畑作研究室



内 容 ( 試験研究課題名 )	市町村名	地 区 名	担 当 研 究 室
ネギの低コスト・安定供給技術の実証	花巻市	太田	野菜畑作研究室
ピーマン PMMoV 抵抗性品種の現地実証	石鳥谷町	八幡	野菜畑作研究室
沿岸中山間における花き周年生産モデルの確立	宮古市	老木	花き研究室
りんどう品種育成に係る現地調査	石鳥谷町	北寺林	花き研究室
小ぎく品種育成に係る現地調査	北上市	江釣子	花き研究室
鉢物りんどうの栽培試験に係る現地調査	北上市	稲瀬	花き研究室
りんどうこぶ症の発生要因の解明	石鳥谷町	戸塚	花き研究室
水田地帯における園芸生産の高度安定化 「イチゴ栽培における省力技術導入による高度生産化」	花泉町	永井	南部園芸研究室
東磐井地方における園芸省力安定生産モデル経営の実証 「トマト点滴かん水施肥栽培技術の実証」	大東町	大原	南部園芸研究室
水稻減農薬栽培技術の確立	江刺市	稲瀬	生産環境部 環境保全研究室
有機農産物生産条件の解明	胆沢町	若柳	環境保全研究室
〃	松尾村	松尾	〃
〃	矢巾町	広宮沢	〃
主要葉菜類の内部品質向上栽培技術の確立	西根町	平傘	土壌作物栄養研究室
〃	遠野市	小友	〃
新肥料の実用化 - 減化学栽培対応有機配合肥料の肥効	北上市	成田	保鮮流通技術研究室
寒締め菜っぱの簡易品質評価法	久慈市、西根町ほか		保鮮流通技術研究室
「小枝柿」の脱渋技術の確立	大船渡市		保鮮流通技術研究室
特産作物ハトムギを利用した新規加工品の開発	衣川村		保鮮流通技術研究室
果実を丸ごと使った健康志向食品の開発	花泉町		保鮮流通技術研究室
水稻初期害虫の密度調査 ( 水稻初期害虫の隔年防除技術の確立 )	雫石町	御明神	病害虫部 病理昆虫研究室
〃	岩手町	黒内	〃
畦畔草刈りによる斑点米カメムシ類の耕種的防除試験 ( 斑点米カメムシ類の総合的防除技術の組み立て )	花巻市	太田	病理昆虫研究室
斑点米カメムシ類の薬剤防除時期の検討 ( 斑点米カメムシ類の総合的防除技術の組み立て )	金ヶ崎町	六原 ( 農大 )	病理昆虫研究室

内 容 ( 試験研究課題名 )	市町村名	地 区 名	担 当 研 究 室
りんどうこぶ症の土壤消毒試験 (こぶ症発現に関連する微生物・線虫および昆虫の検索)	石鳥谷町	八重畑	病理昆虫研究室
リンゴ紫紋羽病の防除試験 (リンゴ紫紋羽病の発生実態と新たな防除法の開発)	久慈市	広野	病理昆虫研究室
〃	江刺市	米里	〃
〃	花泉町	金沢	〃
〃	二戸市	米沢	〃
〃	藤沢町	上山	〃
〃	岩泉町	乙茂	〃
リンゴ斑点落葉病の防除試験(複合交信攪乱剤利用りんご園における散布回数削減病害虫防除体系の確立と実証)	花巻市	外台	病理昆虫研究室
リンゴ防除回数削減体系の実証試験(複合交信攪乱剤利用りんご園における散布回数削減病害虫防除体系の確立と実証)	江刺市	小倉沢	病理昆虫研究室
リンゴ褐斑病の防除試験(複合交信攪乱剤利用りんご園における散布回数削減病害虫防除体系の確立と実証)	久慈市	広野	病理昆虫研究室
リンゴ炭疽病の感染時期の検討 (リンゴ炭そ病の発生予察技術の開発)	一関市	巖美	病理昆虫研究室
ブドウ晩腐病の防除試験(新農薬の効果検定と防除基準作成)	金ヶ崎町	六原(農大)	病理昆虫研究室
リンドウ褐斑病の防除試験 (りんどう葉枯れ症状の原因解明と防除法)	花巻市	湯口	病理昆虫研究室
キュウリ病害虫総合防除現地実証試験 (きゅうりににおける総合的病害防除技術の確立)	東和町	全域	病理昆虫研究室
レタス腐敗病防除試験(新農薬の効果検定と防除基準作成)	西根町	寺田	病理昆虫研究室
ホップ灰色かび病防除試験 (地域特産物における新防除資材の実用化)	江刺市	稲瀬	病理昆虫研究室
ブルーベリーのショウジョウバエ類発生生態の解明と防除試験 (地域特産物における新防除資材の実用化)	石鳥谷町	新堀	病理昆虫研究室
細断型ロールペーラの基本性能調査	滝沢村	鵜飼	畜産研究所 飼料生産研究室
良質イネホールクロップサイレージ調整技術の確立	紫波町		飼料生産研究室
奥中山地域における液状コンポスト調製システムの確立	一戸町	奥中山	飼料生産研究室
北上山地における黒毛和種肥育素牛育成技術の現地実証	遠野市	貞任	外山畜産研究室
いわてっこの生育診断指標	岩手町	一方井	県北農業研究所 営農技術研究室
〃	久慈市	小久慈	〃
〃	二戸市	上海上	〃

内 容 ( 試験研究課題名 )	市町村名	地 区 名	担 当 研 究 室
奥中山地域における液状コンポストの調製利用システムの確立	一戸町	奥中山	営農技術研究室
新肥料の実用化	軽米町	晴山	営農技術研究室
”	軽米町	山内	”
”	九戸村	荒屋	”
レタス腐敗性病害の発生実態解析	岩手町	奥中山	営農技術研究室
畑地かんがい地帯における野菜・花き等の高収益モデル実証	岩手町	一方井	営農技術研究室
ヒエ・アワの乾燥・調製法	軽米町	軽米	営農技術研究室
県北地域の水稲栽培における有機質資材の化学肥料代替利用法の確立	軽米町	山内	営農技術研究室
新農薬の効果検定と防除基準作成	西根町	焼走	営農技術研究室
高冷地レタスの高位安定生産技術の確立	一戸町	奥中山	産地育成研究室
雨よけハウレンソウ大型経営体育成のための技術確立	軽米町	山内	産地育成研究室
地域適応性に優れた品種の選定(ハウレンソウ)	軽米町	笹渡	産地育成研究室
地域適応性に優れた品種の選定(ダイコン)	大野村	高森	産地育成研究室
特産的花きの商品化技術	二戸市	上斗米	産地育成研究室
いわてっこの栽培法検討	久慈市	小久慈	やませ利用研究室
ヒエの無農薬水田移植栽培	軽米町	上館	やませ利用研究室
21世紀型農業経営モデル実証試験地における現地支援実証試験	普代村	和野山	やませ利用研究室
麦類奨励品種決定現地調査	玉山村	下田	やませ利用研究室
大豆奨励品種決定現地調査	玉山村	下田	やませ利用研究室



### III 試験研究の成果



## 1 試験研究成果

成果区分	水稲	畑作物	果樹	野菜	花き	畜産	総合	総計
普及	7	6	3	8	3	8	2	37
指導	17	5	3	9	5	11	1	51
行政	4					11	4	19
研究	6	4	4	10	6	7	3	40
計	34	15	10	27	14	37	10	147

### 試験研究成果の区分

- 1 普及（普及に移しうる成果）  
農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果。
- 2 指導（技術指導に参考となる成果）  
普及員等指導者の技術指導上の参考として適当と認められる成果。
- 3 行政（行政施策等に反映すべき成果）  
行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの。
- 4 研究（技術開発に有効な成果）  
新しい技術の試みで、今後の試験研究により技術に仕上げられる可能性のあるもの及び技術の基礎的知見、研究手法等に関するもの。

#### (1) 成果区分別一覧

【普及（普及に移しうる成果）】

成果区分	作目分野	成果番号	成果名	担当研究室（主査）	外部評価
普及	水稲	H15-普-01	「もち美人」の期待生育量一部改定と栄養診断基準	水田作	
		H15-普-02	「いわてっこ」の期待生育量と栽培法（一部改定）	営農技術 やませ利用 水田作	
		H15-普-03	「いわてっこ」の生育栄養診断基準	営農技術 やませ利用 水田作	
		H15-普-04	温湯処理により杵搗き生餅の製造時間が短縮できる	保鮮流通技術	
		H15-普-05	数年に一度の地域一斉防除で水稲初期害虫を防除できる	病理昆虫	
		H15-普-06	生物農薬「トリコデルマ・アトロピリデ 水和剤」の特性と使用上の留意点	病理昆虫	
		H15-普-07	平成16年度雑草防除基準に採用した水稲除草剤	水田作 やませ利用	-

成果区分	作目分野	成果番号	成果名	担当研究室 (主査)	外部評価
普及	畑作物	H15-普-08	小麦冬期播種栽培技術体系	野菜畑作	
		H15-普-09	だいず不耕起栽培技術と作付体系への導入法	野菜畑作	
		H15-普-10	東北地域におけるダツタンソバの栽培法	やませ利用	
		H15-普-11	品種 はとむぎ「東北3号」	野菜畑作	
		H15-普-12	はとむぎを原料とするペースト状食品の製造方法	保鮮流通技術	
		H15-普-13	白干しひえの粒形を残したレトルト粥の製造技術	保鮮流通技術	
	果樹	H15-普-14	りんご新しい性台木「JM1」「JM7」の利用法(追補) - 改植園における「JM7」の特性 -	果樹	
		H15-普-15	りんご台木の挿し木における発根促進剤(インドール酪酸液剤)の利用法	果樹	
		H15-普-16	フルアジナム水和剤によるリンゴ紫紋羽病の防除	病理昆虫	
	野菜	H15-普-17	トマトの翌日出荷のための予冷方法(追補)	保鮮流通技術	
		H15-普-18	天敵と物理的防除法を活用したピーマン害虫防除方法	病理昆虫	
		H15-普-19	品種 大果率が高く良質のいちご促成品種「さちのか」	南部園芸	
		H15-普-20	早春まきまたは防虫ネットの利用でキャベツの殺虫剤散布を省略できる	環境保全	
		H15-普-21	極晩抽性で萎ちょう病に強い6~7月播きほうれんそう品種「晩抽銀河21」	産地育成	
		H15-普-22	簡易被覆によるウレイの早出し継続出荷技術	産地育成	
		H15-普-23	5月播種に適し品質の良いだいこん品種「YR桜坂」	産地育成	
		H15-普-24	ながいも栽培における岩手町大規模養豚団地産発酵豚ぷんの利用法	営農技術	
	花き	H15-普-25	リンドウ褐斑病の発生生態と防除対策	病理昆虫	
		H15-普-26	品種 夏秋ぎく系小ぎく「CM17」(橙色 スプレー咲き)	花き	
		H15-普-27	品種 夏秋ぎく系小ぎく「CM20」(赤色 スプレー咲き)	花き	
	畜産	H15-普-28	黒毛和種県産種雄牛「金菊徳」の作出(現場後代検定法)	種山畜産	-
		H15-普-29	黒毛和種種雄牛「糸安菊」「北勝次郎」の作出(産肉能力検定(間接法))	種山畜産	-
		H15-普-30	肉量肉質に優れた県産黒毛和種種雄牛「平茂夏」の作出	種山畜産	
		H15-普-31	細断型ロールペーラによる飼料用とうもろこしの省力的収穫調製技術	飼料生産	
		H15-普-32	細断型ロールペーラによる飼料用とうもろこしの省力的収穫調製技術 (1) 作業機の基本性能及び省力的作業	飼料生産	
		H15-普-33	品種 乾物収量性、耐倒伏性に優れたソルガム中生品種「FS5(ゴールドソルゴー)」	飼料生産	
		H15-普-34	品種 高消化性で耐倒伏性に優れたソルガム極晩生品種「東山交22号(秋立)」	飼料生産	
		H15-普-35	岩手地鶏を活用した特産肉用鶏の開発	家畜育種	
	総合	H15-普-36	平成16年度病害虫防除基準に採用した主な殺菌剤、殺虫剤	病理昆虫 営農技術	-
		H15-普-37	産地直売施設における生産流通支援システムの導入効果	農業経営	



【指導(技術指導に参考となる成果)】

成果区分	作目分野	成果番号	成果名	担当研究室 (主査)	外部評価
指導	水稲	H15-指-01	平成15年水稲生育の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	水田作 やませ利用 土壌作物栄養 病害虫	-
		H15-指-02	平成15年異常気象下の障害不稔発生の解析(早生品種)	やませ利用 営農技術	
		H15-指-03	平成15年異常気象下の障害不稔発生の解析(中・晩生品種)	水田作	
		H15-指-04	平成15年における水稲品種「いわてっこ」の耐冷性評価	水稲育種	
		H15-指-05	平成15年度異常気象下の水管理の実態と深水管理の効果	水田作 やませ利用	
		H15-指-06	平成15年異常気象下のひとめばれ・あきたこまちの玄米品質と刈取時期	水田作	
		H15-指-07	平成15年異常気象下のかげはし・いわてっこの玄米品質と刈取時期	やませ利用	
		H15-指-08	平成15年における穂もち被害度と玄米収量の関係	病理昆虫	
		H15-指-09	特別栽培農産物(水稲減農薬栽培)に対応した防除体系の組立て	環境保全	
		H15-指-10	リン酸緩衝液抽出法による可給態ケイ酸測定法	土壌作物栄養	
		H15-指-11	牛ふん堆肥・稲わらの連用による水田土壌養分の土壌型別蓄積傾向	土壌作物栄養	
		H15-指-12	春先の降水量からの乾土効果発現予測	土壌作物栄養	
		H15-指-13	耕種的管理と初期除草剤等の組み合わせによる水田雑草の防除効果	水田作 生産工学	
畑作物		H15-指-14	県北部を中心とした葉たばこ農家の経営発展と支援方策	農業経営	
		H15-指-15	大豆不耕起栽培の生産性と導入条件	農業経営	
		H15-指-16	立毛間播種栽培により大豆・小麦の2年3作ができる	生産工学 野菜畑作 土壌作物栄養 営農技術 やませ利用	
		H15-指-17	青だいず「青丸くん」の緑色を損なわないコンバイン収穫適期	野菜畑作	
		H15-指-18	ホップうどんこ病の新奇発生と防除対策	病理昆虫	
果樹		H15-指-19	りんご新品種「黄香」の斑点落葉病及び黒星病に対する抵抗性の評価	果樹	
		H15-指-20	りんご「きおう」に対するジクロルクロップ液剤の落下防止効果(追補)	果樹	
		H15-指-21	「葉取らずりんご」の樹相診断	果樹	
野菜		H15-指-22	黒ボク土畑土壌における各種堆肥の酸性化防止効果	土壌作物栄養	
		H15-指-23	野菜作経営における雇用労力活用のポイントと効果	農業経営	
		H15-指-24	キュウリ炭そ病は罹病葉の摘葉と薬剤の併用で増加を止めることができる	病理昆虫	
		H15-指-25	ピーマンPMMoV抵抗性品種「京鈴」「さらら」の特性と導入上の注意事項	野菜畑作	
		H15-指-26	黒大豆えだまめ品種「ちゃげ丸」の収穫適期	保鮮流通技術	
		H15-指-27	ほうれんそう品種の調製機適応性判定指標	営農技術	
		H15-指-28	全自動収穫機と根葉切り皮むき機利用によるねぎの収穫・調製省力化	生産工学	
		H15-指-29	ねぎの7月穫り作型におけるチェーンポット育苗の適応性	野菜畑作	
		H15-指-30	大消費地に向けたウルイの出荷荷姿の設定	農業経営	
		花き		H15-指-31	えぞりんどうの葉片培養由来増殖個体は交配親として利用できる
H15-指-32	キクえそ病病原ウイルスTSWVの現地における簡易迅速診断			応用生物学	
H15-指-33	中山間地域に適した宿根草・枝物の品目別収益性			産地育成 農業経営	
H15-指-34	枝物花木の寒冷地における栽培適応性			花き	
H15-指-35	枝物花木の仕立法(スモークツリー、シンフォリカルパス)			花き	

成果区分	作目分野	成果番号	成果名	担当研究室 (主査)	外部評価
指導	畜産	H15-指-36	主業型農家の経営変遷から捉えた酪農経営支援方策	農業経営	
		H15-指-37	黒毛和種雄牛別枝肉成績	種山畜産	
		H15-指-38	公共牧場の高度活用による黒毛和種肥育素牛の生産 (1)集約放牧による黒毛和種親子放牧子牛の市場評価向上	外山畜産	
		H15-指-39	公共牧場の高度活用による黒毛和種肥育素牛の生産 (2)放牧地における後期生産性を高めるための追肥時期の検討	外山畜産	
		H15-指-40	公共牧場の高度活用による黒毛和種肥育素牛の生産 (3)放牧育成素牛の肥育特性の解明	家畜育種	
		H15-指-41	中型ロールベアラ体系による収穫作業に適したソルガムの品種・栽培方式の選択	飼料生産	
		H15-指-42	イネホールクロップサイレージの栄養特性	飼料生産	
		H15-指-43	黒毛和種における遺伝性内水頭症原因領域の解明	家畜工学	
		H15-指-44	黒毛和種多生子の個体識別とキメラ判定	家畜工学	
		H15-指-45	搾乳ロボットによる多回搾乳が生産性に及ぼす影響	家畜飼養	
	H15-指-46	乳用雌育成牛の集約放牧による発育効果	家畜飼養		
総合	H15-指-47	マニアブレダ-を用いた農作物残渣の堆肥化と利用技術	土壌作物栄養		

【行政(行政施策等に反映すべき成果)】

成果区分	作目分野	成果番号	成果名	担当研究室 (主査)	外部評価
行政	水稻	H15-行-01	平成15年度奨励品種決定本調査・現地調査結果	水田作 やませ利用	-
		H15-行-02	平成16年度奨励品種決定本調査・現地調査新規供試系統	水田作 やませ利用	-
		H15-行-03	平成16年度水稻新配布系統(候補系統)	水稻育種	-
		H15-行-04	畦畔管理に関する農業者の意向	水田作	
	畜産	H15-行-05	黒毛和種産肉能力検定成績(直接法)成績	種山畜産	-
		H15-行-06	黒毛和種産肉能力検定成績(間接法)成績	種山畜産	-
		H15-行-07	黒毛和種産肉能力検定成績(現場後代検定法)成績	種山畜産	-
		H15-行-08	黒毛和種の種雄牛における子牛市場成績	種山畜産	
		H15-行-09	放牧地の適正な林地配置による水土保全機能	外山畜産	
		H15-行-10	液状コンポスト調整システムの確立(1)臭気及び成分に及ぼす曝気効果	飼料生産	
		H15-行-11	土壌固化材を利用したシート利用簡易堆肥貯留施設	飼料生産	
		H15-行-12	日本短角種に適したDNA個体識別マーカーセットの構築	家畜工学	
		H15-行-13	日本短角種産肉能力検定(直接法)成績	家畜育種	-
		H15-行-14	日本短角種産肉能力検定(間接法)成績	家畜育種	-
		H15-行-15	日本短角種基礎雌牛群の育種学的評価	家畜育種	-
	総合	H15-行-16	岩手県の畑作物における化学合成資材投入の実態および慣行レベル案	環境保全 土壌作物栄養	
		H15-行-17	岩手県の野菜(葉菜・根菜類)における化学合成資材投入の実態および慣行レベル案	環境保全 土壌作物栄養	
		H15-行-18	岩手県の野菜(果菜類)における化学合成資材投入の実態および慣行レベル案	環境保全 土壌作物栄養	
		H15-行-19	岩手県の果樹(りんご)における化学合成資材投入の実態および慣行レベル案	環境保全 土壌作物栄養	

【研究(研究開発に有効な成果)】

成果区分	作目分野	成果番号	成果名	担当研究室(主査)	外部評価
研究	水稲	H15-研-01	育苗箱施用殺菌剤および初中期一発除草剤はアカネ属トンボ幼虫羽化率への影響が小さい	環境保全	-
		H15-研-02	水稲籾熟度別のクロロフィル含量と光学特性	水田作	-
		H15-研-03	直播水稲の選抜のための耐ころび型倒伏性基準品種の選定	水稲育種	-
		H15-研-04	DNAマーカーを用いた水稲「岩南23号」の穂いもち圃場抵抗性に関する解析	水稲育種	-
		H15-研-05	県内堆肥センター産堆肥を用いた水稲50%減化学肥料栽培の可能性	土壌作物栄養	-
		H15-研-06	水稲栽培における秋一発施肥法	営農技術 土壌作物栄養	-
	畑作物	H15-研-07	日射量、雨量、気温による小麦の子実水分変動予測法	営農技術	-
		H15-研-08	平成14年の異常気象におけるだいの収穫遅延と品質変動	野菜畑作	-
		H15-研-09	極早生だいず「ユキホマレ」の県南部における生育特性	野菜畑作	-
		H15-研-10	畑地帯における大豆・小麦立毛間播種栽培の雑草管理技術	営農技術	-
	果樹	H15-研-11	りんごわい性台木「JM7」利用樹の密植栽培の評価	果樹	-
		H15-研-12	非破壊選果機利用による「葉取らずりんご」の着色評価	果樹	-
		H15-研-13	チオニン遺伝子導入りんごの耐病性評価	応用生物学	-
		H15-研-14	りんごにおける病害虫防除回数削減モデル	病理昆虫	-
	野菜	H15-研-15	有機と慣行栽培圃場の土壌微生物性と化学性	環境保全	-
		H15-研-16	夏秋どり露地きゅうり栽培における栄養診断部位	土壌作物栄養	-
		H15-研-17	いちご夏どり栽培における種子系四季成り性品種「F1エラン」の栽培特性	野菜畑作 南部園芸	-
		H15-研-18	遮光がほうれんそうの生育に及ぼす影響	産地育成	-
		H15-研-19	ねぎの品種特性と適応作型	野菜畑作	-
		H15-研-20	ねぎの予冷、保蔵、流通における留意点	保鮮流通技術	-
		H15-研-21	さといも「培養苗」「培養いも」の特性とその経年推移	応用生物学	-
		H15-研-22	さといも「培養苗」「培養いも(1年目)」の定植方法	応用生物学	-
		H15-研-23	さといも在来種「二子いも」の系統別特性	野菜畑作	-
		H15-研-24	さといも安定生産のための石灰窒素の施用効果	野菜畑作	-
	花き	H15-研-25	WEB上での宿根草枝物花木流通支援システムの導入条件	農業経営	-
		H15-研-26	りんどう「極々早生」育成系統の特性	花き	-
		H15-研-27	キクえそ病原ウイルスTSWVのDAS-ELISAによる検定法	応用生物学	-
		H15-研-28	シンフォリカルポスの当年枝利用挿し木苗生産	花き	-
		H15-研-29	スターチス・シヌアータ育成系統の特性	花き	-
		H15-研-30	ゆり育成系統の特性	花き	-
	畜産	H15-研-31	黒毛和種間接検定における遺伝的趨勢	種山畜産	-
		H15-研-32	粗砕カキ殻の施用が土壌PH及び牧草に及ぼす影響	外山畜産	-
		H15-研-33	被覆植物を活用した雑草制御技術	飼料生産	-
		H15-研-34	Open Pulled Strawを用いた牛パイオプシー胚の超急速ガラス化保存	家畜工学	-
		H15-研-35	スーダングラスを用いたTMR給与が産乳成績に及ぼす影響	家畜飼養	-
		H15-研-36	「いわて短角和牛」適正出荷のための肥育技術の確立	家畜育種	-
		H15-研-37	未利用資源を利用したリサイクル飼料による豚肉生産コストの低減	家畜育種	-
	総合	H15-研-38	フラットベッドスキャナ利用による土壌全炭素含量の簡易推定法	土壌作物栄養	-
		H15-研-39	テキストマイニングとキーワードマッピングによる消費者評価分析の商品開発への適用	農業経営	-
		H15-研-40	ホームページ上で利用可能な営農指標作成システム	農業経営	-

## (2) 外部評価結果一覧

【普及（普及に移しうる成果）】

(A:提出可、B:一部修正、C:大幅修正、D:提出不可)

【普及・・・1/2】

[ 委員数(%) ]

成果区分	作物	成果番号	成果名	総合評価		
				A	B	C
普及	水稲	H15-普-01	「もち美人」の期待生育量一部改定と栄養診断基準	3(75%)	1(25%)	
		H15-普-02	「いわてっこ」の期待生育量と栽培法(一部改定)	3(75%)	1(25%)	
		H15-普-03	「いわてっこ」の生育栄養診断基準	3(75%)	1(25%)	
		H15-普-04	温湯処理により杵搗き生餅の製造時間が短縮できる	3(75%)	1(25%)	
		H15-普-05	数年に一度の地域一斉防除で水稲初期害虫を防除できる	3(75%)	1(25%)	
		H15-普-06	生物農薬「トリコデルマ・アトロビリデ 水和剤」の特性と使用上の留意点	2(50%)	2(50%)	
	畑作	H15-普-08	小麦冬期播種栽培技術体系	1(50%)	1(50%)	
		H15-普-09	だいち不耕起栽培技術と作付体系への導入法	2(100%)		
		H15-普-10	県北地域におけるダットンソバの栽培法	2(100%)		
		H15-普-11	品種 はとむぎ「東北3号」	2(100%)		
		H15-普-12	はとむぎを原料とするペースト状食品の製造方法	2(100%)		
		H15-普-13	白干しひえの粒形を残したレトルト粥の製造技術	2(100%)		
	果樹	H15-普-14	りんご新しい性台木「JM1」「JM7」の利用法(追補) - 改植園における「JM7」の特性 -	1(50%)	1(50%)	
		H15-普-15	りんご台木の挿し木における発根促進剤(インドール酪酸液剤)の利用法	1(50%)	1(50%)	
		H15-普-16	フルアジナム水和剤によるリング紫紋羽病の防除	1(50%)	1(50%)	
	野菜	H15-普-17	トマトの翌日出荷のための予冷方法(追補)	1(50%)	1(50%)	
		H15-普-18	天敵と物理的防除法を活用したピーマン害虫防除方法	1(50%)		1(50%)
		H15-普-19	品種 大果率が高く良質のいちご促成品種「さちのか」	1(50%)	1(50%)	
		H15-普-20	早春まきまたは防虫ネットの利用でキャベツの殺虫剤散布を省略できる	1(50%)		
		H15-普-21	極晩抽性で萎ちよう病に強い6~7月播きほうれんそう品種「晩抽銀河21」	1(50%)	1(50%)	
		H15-普-22	簡易被覆によるウレイの早出し継続出荷技術	1(50%)	1(50%)	
		H15-普-23	5月播種に適し品質の良いだいこん品種「YR桜坂」	2(100%)		
		H15-普-24	ながいも栽培における岩手町大規模養豚団地産発酵豚ふんの利用法	1(50%)		1(50%)
	花き	H15-普-25	リンドウ褐斑病の発生態態と防除対策	1(100%)		
		H15-普-26	品種 夏秋ぎく系小ぎく「CM17」(橙色 スプレー咲き)	1(100%)		
		H15-普-27	品種 夏秋ぎく系小ぎく「CM20」(赤色 スプレー咲き)	1(100%)		

成果 区分	作物	成果番号	成果名	総合評価		
				A	B	C
普及	畜産	H15-普-30	肉量肉質に優れた県産黒毛和種種雄牛「平茂夏」の作出	6( 86%)	1( 14%)	
		H15-普-31	細断型ロールペーラによる飼料用とうもろこしの省力的収穫調製技術 (1) 作業機の基本性能及び省力的作業	5( 71%)	2( 29%)	
		H15-普-32	細断型ロールペーラによる飼料用とうもろこしの省力的収穫調製技術 (2) 細断型ロールペールの開封時のロス及び発酵品質の検討	5( 71%)	2( 29%)	
		H15-普-33	品種 乾物収量性、耐倒伏性に優れたソルガム中生品種 「FS5 (ゴールドソルゴー)」	6( 86%)	1( 14%)	
		H15-普-34	品種 高消化性で耐倒伏性に優れたソルガム極晩生品種 「東山交22号(秋立)」	6( 86%)	1( 14%)	
		H15-普-35	岩手地鶏を活用した特産肉用鶏の開発	4( 57%)	3( 43%)	
総合		H15-普-37	産地直売施設における生産流通支援システムの導入効果	1( 33%)	2( 67%)	

【指導（技術指導に参考となる成果）】

（A:提出可、B:一部修正、C:大幅修正、D:提出不可）

【指導・・・1 / 2】

[ 委員数（%）]

成果区分	作物	成果番号	成果名	総合評価		
				A	B	C
指導	水稲	H15-指-02	平成15年異常気象下の障害不稔発生の解析（早生品種）	2( 50%)	2( 50%)	
		H15-指-03	平成15年異常気象下の障害不稔発生の解析（中・晩生品種）	3( 75%)		1( 25%)
		H15-指-04	平成15年における水稲品種「いわてっこ」の耐冷性評価	3( 75%)	1( 25%)	
		H15-指-05	平成15年度異常気象下の水管理の実態と深水管理の効果	2( 50%)	1( 25%)	1( 25%)
		H15-指-06	平成15年異常気象下のひとめぼれ・あきたこまちの玄米品質と刈取時期	3( 75%)	1( 25%)	
		H15-指-07	平成15年異常気象下のかけはし・いわてっこの玄米品質と刈取時期	3( 75%)	1( 25%)	
		H15-指-08	平成15年における穂いもち被害度と玄米収量の関係	3( 75%)		1( 25%)
		H15-指-09	特別栽培農産物（水稲減農薬栽培）に対応した防除体系の組立て	2( 50%)	2( 50%)	
		H15-指-10	リン酸緩衝液抽出法による可給態ケイ酸測定法	3( 75%)		1( 25%)
		H15-指-11	牛ふん堆肥・稲わらの連用による水田土壌養分の土壌型別蓄積傾向	3( 75%)	1( 25%)	
		H15-指-12	春先の降水量からの乾土効果発現予測	3( 75%)	1( 25%)	
		H15-指-13	耕種的管理と初期除草剤等の組み合わせによる水田雑草の防除効果	2( 50%)	1( 25%)	1( 25%)
		畑作		H15-指-18	県北部を中心とした葉たばこ農家の経営発展と支援方策	2( 67%)
H15-指-19	大豆不耕起栽培の生産性と導入条件			2(100%)		
H15-指-20	立毛間播種栽培により大豆・小麦の2年3作ができる			2(100%)		
H15-指-21	青だいず「青丸くん」の緑色を損なわないコンバイン収穫適期			2(100%)		
H15-指-22	ホップうどんこ病の新奇発生と防除対策			2(100%)		
果樹		H15-指-23	りんご新品種「黄香」の斑点落葉病及び黒星病に対する抵抗性の評価	2(100%)		
		H15-指-24	りんご「きおう」に対するジクロルプロップ液剤の落下防止効果（追補）		2(100%)	
		H15-指-25	「葉取らずりんご」の樹相診断		2(100%)	

成果区分	作物	成果番号	成果名	総合評価		
				A	B	C
指導	野菜	H15-指-26	黒ボク土畑土壌における各種堆肥の酸性化防止効果	2(67%)	1(33%)	
		H15-指-27	野菜作経営における雇用労力活用のポイントと効果	3(100%)		
		H15-指-28	キュウリ炭そ病は罹病葉の摘葉と薬剤の併用で増加を止めることができる	1(50%)		1(50%)
		H15-指-29	ピーマンPMMoV抵抗性品種「京鈴」「さらら」の特性と導入上の注意事項	2(100%)		
		H15-指-30	黒大豆えだまめ品種「ちゃげ丸」の収穫適期	2(100%)		
		H15-指-31	ほうれんそう品種の調製機適応性判定指標	1(50%)	1(50%)	
		H15-指-32	全自動収穫機と根葉切り皮むき機利用によるねぎの収穫・調製省力化	2(100%)		
		H15-指-33	ねぎの7月穫り作型におけるチェーンポット育苗の適応性	1(50%)	1(50%)	
		H15-指-34	大消費地に向けたウレイの出荷荷姿の設定	3(100%)		
		花き	H15-指-35	えぞりんどうの葉片培養由来増殖個体は交配親として利用できる	1(100%)	
	H15-指-36		キクえそ病病原ウイルスTSWVの現地における簡易迅速診断	1(100%)		
	H15-指-37		中山間地域に適した宿根草・枝物の品目別収益性		1(100%)	
	H15-指-38		枝物花木の寒冷地における栽培適応性	1(100%)		
	H15-指-39		枝物花木の仕立法(スモークツリー、シンフォリカルボス)	1(100%)		
	畜産	H15-指-40	主業型農家の経営変遷から捉えた酪農経営支援方策	3(100%)		
		H15-指-41	黒毛和種種雄牛別枝肉成績	7(100%)		
		H15-指-42	公共牧場の高度活用による黒毛和種肥育素牛の生産(1)集約放牧による黒毛和種親子放牧子牛の市場評価向上	6(86%)	1(14%)	
		H15-指-43	公共牧場の高度活用による黒毛和種肥育素牛の生産(2)放牧地における後期生産性を高めるための追肥時期の検討	5(71%)	2(29%)	
		H15-指-44	公共牧場の高度活用による黒毛和種肥育素牛の生産(3)放牧育成素牛の肥育特性の解明	4(57%)	3(43%)	
		H15-指-45	中型ロールベアラ体系による収穫作業に適したソルガムの品種・栽培方式の選択	6(86%)	1(14%)	
		H15-指-46	イネホールクroppサイレージの栄養特性	6(86%)	1(14%)	
		H15-指-47	黒毛和種における遺伝性内水頭症原因領域の解明	6(86%)	1(14%)	
		H15-指-48	黒毛和種多生子の個体識別とキメラ判定	6(86%)	1(14%)	
		H15-指-49	搾乳ロボットによる多回搾乳が生産性に及ぼす影響	6(86%)	1(14%)	
		H15-指-50	乳用雌育成牛の集約放牧による発育効果	5(71%)	2(29%)	
	総合	H15-指-51	マニアス <sup>レガ</sup> -を用いた農作物残渣の堆肥化と利用技術	2(67%)	1(33%)	

【行政（行政施策等に反映すべき成果）】 （A:提出可、B:一部修正、C:大幅修正、D:提出不可）

【行政・・・1/1】

[ 委員数(%) ]

成果区分	作物	成果番号	成果名	総合評価		
				A	B	C
行政	水稻	H15-行-04	畦畔管理に関する農業者の意向	2( 50%)	2( 50%)	
	畜産	H15-行-08	黒毛和種の種雄牛における子牛市場成績	6( 86%)	1( 14%)	
		H15-行-09	放牧地の適正な林地配置による水土保全機能	5( 71%)	2( 29%)	
		H15-行-10	液状コンポスト調整システムの確立(1)臭気及び成分に及ぼす曝気効果	6( 86%)	1( 14%)	
		H15-行-11	土壌固化材を利用したシート利用簡易堆肥貯留施設	6( 86%)	1( 14%)	
		H15-行-12	日本短角種に適したDNA個体識別マーカセットの構築	6( 86%)	1( 14%)	
	総合	H15-行-16	岩手県の畑作物における化学合成資材投入の実態および慣行レベル案	1( 33%)	2( 67%)	
		H15-行-17	岩手県の野菜(葉菜・根菜類)における化学合成資材投入の実態および慣行レベル案	1( 33%)	2( 67%)	
		H15-行-18	岩手県の野菜(果菜類)における化学合成資材投入の実態および慣行レベル案	1( 33%)	2( 67%)	
		H15-行-19	岩手県の果樹(りんご)における化学合成資材投入の実態および慣行レベル案	2( 67%)	1( 33%)	



## 2 追跡評価

### <平成12年度研究成果>

#### (1) 普及区分の追跡評価結果

データの個数 : No	効果		
普及状況	A	B	総計
A	13	1	14
B	1	6	7
C		8	8
総計	14	15	29

#### 追跡評価に係る主となる評価項目と目標値(平成12年度成果)(H15調査、専技室)

No	「普及」成果名	評価項目	目標値	現在値
1	品種 早生水稲 「いわてっこ(岩南16号)」	栽培面積	3000ha	2250ha
2	酒造好適米品種「吟ぎんが」の栄養診断基準	上位等級率	90%	94.20%
3	酒造好適米品種「ぎんおとめ」の生育栄養診断	上位等級率	80%	80.30%
4	平成13年度雑草防除基準に採用した水稲除草剤	利用実績	-	-
5	品種 小麦 製めん適性に優れる「東北206号」	普及面積	200ha	70ha
6	平成13年度雑草防除基準に採用した果樹除草剤	流通量、使用面積		
7	りんご「きおう」の表面色カラーチャート(追補)	上位等級率	77.20%	83.60%
8	りんごの新しい性台木「JM1」,「JM7」の耐水性	苗木の供給量	6,000本	18,000
9	「安芸クイーン」「ノースレッド」の花振防止法	使用状況		
10	複合交信攪乱剤を利用したりんご主要害虫防除	技術導入地域	100%	100%
11	りんご早生品種「きおう」の高鮮度短期貯蔵技術	使用実績		0
12	品種 きゅうり 耐病性・多収型の「夏ばやし」	普及面積	50ha	21ha
13	えだまめ品種「滝系C8」の長期継続出荷技術	作付面積		10ha
14	ハウス栽培なばなのコナガ防除における性フェロモン剤の使用回数削減(追補)	使用状況		
15	ストロビルリン系殺菌剤耐性キュウリべと病菌	使用状況		
16	生物農薬「非病原性エルビニア・カトポーラ」製剤の特性と使用上の留意点	使用状況		
17	キャベツ根こぶ病おとり作物ヘイオーツの効果	作付面積		188ha
18	品種だいこん6月播種に適し高品質な「貴宮」	普及面積	100ha	56ha
19	ジベレリンによるりんどうの株養成期間短縮技術	実施割合		80%
20	品種 夏秋ぎく系小ぎく「CM1」(黄色)	普及面積	5ha	50a
21	品種 夏秋ぎく系小ぎく「CM3」(白色)	普及面積	5ha	30a
22	品種 夏秋ぎく系小ぎく「CM7」(桃色)	普及面積	5ha	37a
23	品種 秋ぎく系小ぎく「CM8」(黄色)	普及面積	5ha	25a
24	産肉性と強健性に優れた新ランドレース種系統豚	原種豚供給腹	30腹	24
25	乳牛に分娩前の段階的増量給与で周産期病予防	実施割合	TMR農家	76%
26	品種 飼料用とうもろこし中生品種「35G86」	普及面積	50ha	95ha
27	簡易牧草追播機利用による簡易草地更新法	普及面積	50ha	45ha
28	ソルガムのRR作業体系による収穫調製技術	普及面積	1割	1.6ha
29	平成13年度病害虫防除基準に採用した主な殺虫剤 殺菌剤	流通量等	利用状況	

## (2) 指導区分の追跡評価結果

データの個数：区分番号	指導効果				総計
参考になったか	A	B	C	-	
A	8	7			15
B		13	11	2	26
C			3		3
総計	8	20	14	2	44

## 指導区分追跡調査集計票 (H12 成果、H15 調査、専技室)

区分番号	「指導」成果名
1	水稲育苗において出芽抑制を引き起こす浸種条件
2	平成 12 年における水稲生育の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析
3	水稲主要品種の玄米白度に関与する要因
4	水稲除草剤データベース
5	イネいもち病の無防除栽培が可能となる立地条件と施肥基準
6	葉いもち予防剤の育苗箱施用による河川への薬剤成分流出の低減化
7	イネいもち病防除を対象とした育苗箱施用剤の持続効果
8	家畜ふん堆肥の秋施用効果
9	水稲における岩手町大規模養豚団地産発酵豚ふんの利用法
10	りんご「きたろう」の果実特性
11	ぶどう「安芸クイーン」の栽培法 - 適性樹相と着果量 -
12	ぶどう「紅伊豆」の垣根仕立てにおける台木利用法
13	りんご各種殺菌剤に対するポリオキシエチレン脂肪酸エステル系展着剤の添加効果
14	TPI法によるトマト、ピーマン等の青枯病の診断
15	だいこん収穫機の作業特性及び導入基準
16	生食用中玉トマトの品種特性
17	プレハブ冷蔵庫利用による種用さといもの安定貯蔵技術
18	雨よけトマトの低段密植による不耕起連続栽培法
19	チェーンポット苗移植栽培と非病原性フザリウム菌の組み合わせによるハウレンソウ萎凋病防除技術
20	ピーマン黄化えそ病の発生特徴と伝染源
21	漬物用芭蕉菜の辛み成分含量の変動
22	キャベツ及びスイートコーンにおける岩手町大規模養豚団地産発酵豚ふんの利用法
23	ほうれんそう調製機の作業特性と省力効果
24	だいこんのマルチ同時播種機の作業特性
25	支柱栽培による調理用トマトの作業軽労化技術
26	スターチス・シヌアータに発生するウィルス病
27	オリエンタル系ゆりブレルーティング処理球の二度切り栽培特性
28	トルコギキョウの春出し作型における播種期
29	光反射マルチによるトルコギキョウえそモザイク病の抑制効果
30	採花年早生りんどうに対する石灰質資材施用効果
31	キク矮化病の発生実態と対策
32	ガーデニング用素材としての中輪系シクラメンの栽培法
33	座繰り糸・つむぎ糸による製品製作
34	交雑三眠蚕を利用した細織度繭糸素材の生産技術
35	採卵用天蚕に見られる天蚕微粒子病病原検出数の最近の推移
36	切繭調査による繭品質の推定
37	酪農経営への搾乳ロボットの導入条件
38	日本短角種産能力検定(直接法)成績
39	日本短角種産能力検定(間接法)成績
40	シバムギの飼料価値
41	黒毛和種親子放牧における子牛の発育向上対策
42	褐毛和種放牧子牛の発育特性と別飼方法
43	県有種雄牛の産子枝肉成績及び育種価推定
44	平成 12 年度県内家畜ふんたい肥の成分特性

### 3 東北農業試験研究成果

< 研究成果情報 >

#### (1) 研究成果数

部会区分	東北農業研究成果情報	研究成果選シリーズ候補
水稲	5	-
畑作物	4	1
果樹	1	-
野菜花き	7	-
畜産	2	-
生産環境	8	1
作業技術	2	-
生物学	1	-
流通・加工	4	1
経営	4	-
計	38	3

#### (2) 研究成果

( : 研究成果選シリーズ候補)

部会名	部会 No	成 果 名	分 類	主査研究室
水稲	4	直播向け水稲選抜のための押し倒し抵抗値の評価	科学・参考	水稲育種
	13	障害不稔発生程度と刈取適期	技術・参考	水田作
	14	色彩色差計を利用した水稲籾黄化程度の判定	科学・参考	水田作
	15	平成15年の不稔歩合は減数分裂期15日間冷却量と関係が高かった	技術・参考	水田作
	26	耕種の管理と機械防除を組み合わせた水田雑草の防除法	技術・参考	水田作
畑作物	1	畑地帯における大豆・小麦立毛間播種栽培の雑草管理技術	技術・参考	営農技術
	2	岩手県におけるだいち不耕起栽培の栽培特性	技術・普及	野菜畑作
	3	岩手県におけるはとむぎ「東北3号」の栽培特性	技術・参考	野菜畑作
	4	秋播性小麦の冬期播種栽培における収量・品質安定化技術	技術・普及	野菜畑作
果樹	3	リンゴの「葉とらず栽培」における好適樹相	技術・普及	果樹
野菜花き	3	簡易被覆によるウレイの早出し連続出荷技術	技術・普及	産地育成
	4	遮光がほうれんそうの生育に及ぼす影響	技術・参考	産地育成
	5	ほうれんそうの調製機に適応するほうれんそうの形質	技術・参考	営農技術
	29	スプレータイプ小ぎく品種「CM系」2品種の育成とその利用	技術・普及	花き
	30	寒冷地における枝物花木の栽培適応性	技術・参考	花き
	31	枝物花木「スモークツリー、シンフォリカルポス」の仕立て法	技術・参考	花き
	32	中山間地域に適した宿根草・枝物の品目別収益性	技術・参考	産地育成
畜産	2	黒毛和種における遺伝性内水頭症減員領域の解明	技術・普及	家畜工学
	3	細断型ロールペーラによる飼料用トウモロコシの省力的収穫調製技術	技術・普及	飼料生産
生産環境	土1	マニアスプレッター利用による農作物残渣の堆肥化技術	技術・参考	土壌作物栄養
	土4	フラットヘッドスキャナー利用による土壌炭素含量の簡易推定法	科学・参考	土壌作物栄養
	土5	県内堆肥センター産堆肥を用いた水稲50%減化学肥料栽培	技術・参考	土壌作物栄養

部会名	部会 No	成 果 名	分 類	主査研究室
生産 環境	病2	東北地方で発生したホップうどんこ病とその防除対策	技術・参考	病理昆虫
	病3	成苗ポットのカルプロバミド剤処理量と葉いもち防除効果	技術・参考	病理昆虫
	虫5	数年に一度の地域一斉防除で水稻初期害虫を防除できる	技術・普及	病理昆虫
	虫6	天敵と物理的防除法を利用した施設ビーマンの害虫防除	技術・参考	病理昆虫
	虫7	早春まき栽培または防除ネットでキャベツの殺虫剤散布を省略できる	技術・参考	環境保全
作業 技術	5	畑地帯における大豆・小麦立毛間播種栽培の雑草管理技術	技術・参考	営農技術
	7	ほうれんそうの調整機に適應するほうれんそうの形質	技術・参考	営農技術
生物 工学	3	えぞりんどうの葉片培養由来増殖個体は交配親として利用できる	科学・普及	応用生物工学
流通・ 加工	1	黒大豆エダマメ「ちゃげ丸」の収穫適期	技術・参考	保鮮流通技術
	2	ヒエの粒形を残したレトルト粥の製造技術	技術・普及	保鮮流通技術
	3	湯温処理により杵搗き生餅製造時間が短縮できる	技術・普及	保鮮流通技術
	4	ハトムギを原料とするペースト状食品の製造方法	技術・普及	保鮮流通技術
経営	2	産地直売施設における生産流通支援システムの導入効果と課題	技術・参考	
	3	大消費地アンテナショップにおける消費者の好むウルイの販売荷姿	技術・参考	
	4	キーワードを位置する方法を用いたヒエ調理加工品の改善方向の解明	技術・参考	
	5	岩手県北部を中心とした葉たばこ農家の経営発展と支援方策	行政・参考	

## IV 試験研究成果の発表



1 試験成績書等刊行物

資料番号	表題名	発行年月	ページ数
I S S N 1346 - 4035	岩手県農業研究センター研究報告 第4号	16. 3	50
企画経営 15 - No.1	平成 15 年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書	16. 2	320
企画経営 15 - No.2	特定研究開発促進事業地域基幹農業技術体系化促進研究 中山間地域における産地マーケティングに基づく特産の高付加 価値農産物の生産技術 平成 14 年度試験成績書 農産物のマーケティング 中山間地域特産物マーケティング活動活性化マニュアルダイジ ェスト版 中山間地域特産物マーケティング活動活性化マニュアル マーケティング実践マニュアル	15.11 16. 1 16. 2 16. 2	169 11 43 75
農産 15 - No.1	平成 10 (1998) 年度 水稻新品種育成試験成績書	15. 8	157
農産 15 - No.2	平成 11 (1999) 年度 水稻新品種育成試験成績書	15. 8	167
農産 15 - No.3	平成 12 (2000) 年度 水稻新品種育成試験成績書	15. 9	179
農産 15 - No.4	平成 14 (2002) 年度 水稻新品種育成試験成績書	15.10	176
農産 15 - No.5	平成 14 年度 試験成績書 (水田作研究室)	15.10	269
農産 15 - No.6	平成 15 年度 水稻除草剤試験成績書 (水田作研究室)	15.10	47
農産 15 - No.7	平成 12 年度 水稻新品種育成試験成績書 (農産部銘柄米開発研究室)	15.10	107
農産 15 - No.8	平成 13 年度 水稻新配布系統成績書 (農産部銘柄米開発研究室)	15.11	22
農産 15 - No.9	平成 16 年度 水稻新配布系統成績書 (水稻育種研究室)	16. 3	25
農産 15 - No.10	岩手県における平成 15 年水稻冷害の技術的解析 (農産部、生産環境部、 病害虫部、企画経営情報部、県北農業研究所、専門技術員室)	16. 3	600
園芸 14 - No.1	平成 14 年度 果樹試験成績書 (果樹研究室)	16. 3	202
園芸 14 - No.2	平成 14 年度 野菜試験成績書 (野菜畑作研究室)	16. 3	116
園芸 14 - No.3	平成 13・14 年度 畑作試験成績書 (野菜畑作研究室)	16. 3	121
園芸 14 - No.4	平成 14 年度 花き試験成績書 (花き研究室)	16. 3	68
園芸 14 - No.5	平成 14 年度 試験成績書 (南部園芸研究室)	16. 3	80
環境 15 - No.1	平成 15 年度 試験成績書 (環境保全研究室)	16. 3	175
環境 15 - No.2	平成 13・14 年度 成績書 (土壌作物栄養研究室)	16. 3	287
畜産 15 - No.1	平成 15 年度 試験成績書 (畜産研究所)	16. 3	150
	平成 15 年度 試験研究成績書 (営農技術研究室)	16. 3	140
	平成 13 年度 試験研究成績書 (産地育成研究室)	15. 4	125
	平成 14 年度 試験研究成績書 (産地育成研究室)	16. 3	120

## 2 学会等研究報告

部 所 研究室名	発表者 氏 名	学 会 研究会名	開 催 年月日	発 表 課 題 名	発表誌, 巻(号) 掲載ページ, 発行年月
企画経営情報部 農業経営研究室	菅原 豊司 他 2 名	第 46 回東北農 業試験研究発 表会	15. 7.25	ウルイの消費者評価と購買調査 に基づく荷姿、価格の設定	東北農業研究第 56 号, 277-278,15.12
	加藤 満康 他 1 名	第 46 回東北農 業試験研究発 表会	15. 7.25	生産者意識を主とした黒毛和種 親子放牧の評価	東北農業研究第 56 号, 289-290,15.12
	井村 裕一	第 46 回東北農 業試験研究発 表会	15. 7.25	岩手県における中山間地域等直 接支払制度による集落活動の特 徴	東北農業研究第 56 号, 291-292,15.12
	田代 勇樹	第 51 回日本農 村生活学会	15.10.29 ~ 31	JA が取り組む介護事業に関す る研究 - JA 安房を事例として -	口頭発表
	前山 薫	2004 年度日本 農業経済学会	16. 3.30 ~ 31	農業経営支援システムの課題と 開発方向 - 岩手県におけるアン ケート分析 -	個別報告(印刷中)
農産部 水田作研究室	高橋 政夫 他 2 名	日本農業気象 学会 2003 年 度全国大会	15. 9. 8	2002 年 7 月の台風 6 号による水 稲冠水被害 - 岩手県一関の事例 - 第 1 報 出水の様相と流入 土の特徴	農業工学関連 5 学会 2003 年大会講演要旨 P35
	吉田 宏 他 2 名	日本農業気象 学会	15. 9. 8	2002 年 7 月の台風 6 号による水 稲冠水被害 - 岩手県一関の事例 - 第 2 報 冠水が水稻の生 育・収量におよぼす影響	農業工学関連 5 学会 2003 年大会講演要旨 P36
水稻育種研究室	阿部 陽 他 4 名	日本作物学会 第 215 回講演 会	15. 4. 4 ~ 5	寒冷地における遺伝子型の異な る水稻品種の乾物生産および分 配特性	日本作物学会紀事第 72 巻(別号 1),40-41,15.4
	田村 和彦 他 5 名	第 46 回日本作 物学会東北支 部	15. 8.21 ~ 22	マイクロサテライトマーカーに よる岩手県水稻奨励品種の判別	日本作物学会東北支部 会報第 46 号,67-68, 15.12
	仲條 眞介 他 6 名	日本作物学会 第 217 回講演 会	16. 3.29 ~ 30	水稻「ミルキークイーン」のア ミロース合成の温度反応性に関 する解析	日本作物学会紀事第 73 巻(別号 1),102-103, 16.3
	阿部 陽 他 2 名	日本作物学会 第 217 回講演 会	16. 3.29 ~ 30	寒冷地における直播向け水稻選 抜のための押し倒し抵抗値指標 品種の選定	日本作物学会紀事第 73 巻(別号 1),16-17,16.3
応用生物工学 研究室	安ヶ平 紀子 他 3 名	日本育種学会 第 104 回講演 会	15. 9.18 ~ 21	イネいもち病真性抵抗性遺伝子 <i>Pii</i> に関連する DNA マーカーの 作出	育種学研究 5(別 2) , 2003.104
	阿部 弘 他 1 名	第 57 回北日本 病害虫研究発 表会	16. 2.18 ~ 20	DAS - ELISA によるキクえそ 病の診断部位は、葉より茎が優 れる	北日本病害虫研究会報 第 55 号(投稿中)



部 所 研究室名	発表者 氏 名	学 会 研究会名	開 催 年月日	発 表 課 題 名	発表誌, 巻(号) 掲載ページ, 発行年月	
生産工学研究室	大里 達朗 他 5 名	農業機械学会 東北支部会	15. 8. 6	寒冷地における水稲ロングマ ット水耕苗移植栽培技術(第 1 報) ロングマット水耕苗の省力効果 と作業負担度から見た軽労効果	農業機械学会東北支部 報第 50 号,5-8,15.12	
	高橋 修 他 4 名	農業機械学会 東北支部会	15. 8. 6	代かき同時打ち込み点播機の播 種ロール改良による作業能率の 向上	農業機械学会東北支部 研究発表会講演要 旨,17-18	
	大志田 建男 他 2 名	農業土木学会 東北支部	15.10.29	ほ場整備後の基盤土の土質変化 に関する調査	農業土木学会東北支部 第 47 回研究発表会講演 要旨集,77-78	
	阿部 節男 他 1 名	農業土木学会 東北支部	15.10.29	石灰石設置によるホタルが棲め る水路環境への改良のための試 み(速報)	農業土木学会東北支部 第 47 回研究発表会講演 要旨集,83-84	
	園芸畑作部 果樹研究室	奥平 麻里子 他 2 名	第 46 回東北農 業試験研究発 表会	15. 7.25	9 月下旬に成熟するリンゴ新品 種 ' 岩手 6 号(仮称) '	東北農業研究第 56 号
		浅川 知則 他 1 名	第 46 回東北農 業試験研究発 表会	15. 7.25	リンゴわい性台木 ' JM1 ' ' JM7 ' の挿し木繁殖安定技術	東北農業研究第 56 号
野菜畑作研究室	山田 修 他 2 名	第 46 回東北農 業試験研究発 表会	15. 7.25	短日処理開始時期が夏秋どりイ チゴの果実生産に及ぼす影響	東北農業研究第 56 号	
	山田 修 他 2 名	園芸学会東北 支部平成 15 年 度大会	15. 8.22	短日処理前の育苗期間がイチゴの 花芽分化に及ぼす影響	園芸学会東北支部平成 15 年度大会研究発表要 旨	
生産環境部 環境保全研究室	菅 千穂子 築地 邦晃 武田 眞一	北日本病害虫 研究会		アカネ属トンボ幼虫の羽化率に及 ぼす殺虫剤の影響	北日本病害虫研究会報 第 54 号,210,15.11	
	沼田 芳宏 武田 眞一 築地 邦晃	北日本病害虫 研究会		岩手県における水稲主要病害虫の 被害発生の地域性とリスク	北日本病害虫研究会報 第 54 号,23-28,15.11	
	佐藤 千穂子 高城 保志 築地 邦晃	第 57 回北日本 病害虫研究発 表会	16. 2.19 ~ 20	早春まき栽培または防虫ネット でキャベツの殺虫剤散布を省略 できる	ポスター発表	
	中野 亜弓 築地 邦晃他	日本農薬学会	16. 3.24 ~ 26	イムノアッセイを利用した果菜 類の残留農薬分析(アセタミプリ ド)	口頭発表	
土壌作物栄養 研究室	武田 眞一 菅 千穂子	AFR 事業成果 報告会	15. 8. 1	農村環境の多様性と「農の営み」 はスミレの多様性を保全する	口頭発表	
	小田島ルミ子 平賀 昌明 高橋 正樹 小野 剛志	第 46 回東北農 業試験研究発 表会	15. 7.25	雨よけほうれんそうへのオガク ズ牛ふん堆肥の効果	東北農業研究第 56 号 191-192,15.12	

部 所 研究室名	発表者 氏 名	学 会 研究会名	開 催 年月日	発 表 課 題 名	発表誌, 巻(号) 掲載ページ, 発行年月
土壌作物栄養 研究室	小野 剛志 高橋 政夫 吉田 宏	日本土壌肥料 学会東北支部 大会	15. 9.18	平成 14 年台風 6 号により北上川 下流遊水地に流入した堆積土壌 の特徴	口頭発表
	高橋 良学	東北土壌肥料 協議会	15. 9.19	画像解析によるわい性台リンゴ 樹の栄養診断法	口頭発表
	小野 剛志	第 20 回新農耕 法研究会	16. 2.14	有機物連用による黒ボク畑土壌 の酸性化防止	口頭発表
	高橋 良学 島 輝夫 高橋 好範 高橋 正樹 小野 剛志	日本土壌肥料 学会		水稲無カリ栽培が可能となる土 壌中カリ蓄積水準	日本土壌肥料学雑誌、 74 巻 3 号 p353-356 (2003)
	横田 剛 伊藤 豊彰 小野 剛志 高橋 正樹 三枝 正彦	日本土壌肥料 学会		製造条件の異なる牛ふん堆肥の 無機態リン酸組成	日本土壌肥料学雑誌、 74 巻 2 号 p133-140 (2003)
	佐藤 喬 高橋 正樹 新家 晴夫 小野 剛志	日本土壌肥料 学会		岩手県中南部におけるリンドウ 圃場の土壌環境実態と石灰質資 材施用効果	日本土壌肥料学雑誌、 75 巻 1 号 p37-44 (2004)
保鮮流通技術 研究室	菊地 淑子	第 46 回東北農 業試験研究発 表会	15. 7.25	ヒエ、アワ、キビの精白による ミネラル及びプリフェノールの 変動	東北農業研究第 56 号 15.12
病害虫部 病理昆虫研究室	佐々木 直子	北日本病害虫 研究発表会	16. 2.19 ~ 20	イミダクロプリド・カルプロパ ミド水和剤のポット成苗におけ る処理量と葉いもち防除効果及 び稲体残留量の関係	北日本病害虫研究会報 第 55 号(投稿中)
	後藤 純子 大友 令史 飯村 茂之	北日本病害虫 研究発表会	16. 2.19 ~ 20	数年に一度の薬剤使用による水 稲初期害虫の防除方法	北日本病害虫研究会報 第 55 号(投稿中)
	後藤 純子 樋口 博也	日本応用動物 昆虫学会大会	16. 3.26 ~ 28	宙吊り飛翔法で測定したアカヒ ゲホソミドリカスミカメの飛翔 能力	日本応用動物昆虫学会 会報(投稿中)
	猫塚 修一 他	北日本病害虫 研究会	15.11.20	リンドウ褐斑病の感染時期と防 除適期	北日本病害虫研究会報 54:208
	猫塚 修一	北日本病害虫 研究発表会	16. 2.19 ~ 20	シプロジニル・ジラム水和剤を 用いたリンゴ斑点落葉病の防除	北日本病害虫研究会報 55(投稿中)
	猫塚 修一 他	日本植物病理 学会	15. 8.20	リンゴ樹上における炭疽病菌 <i>Colletotrichum acutatum</i> の分 生子形成と感染時期	日本植物病理学会報 69:259
	猫塚 修一	日本植物病理 学会大会	16. 3.28 ~ 30	着果痕を伝染源とするリンゴ炭 疽病の果実感染に対する薬剤の 防除効果	平成 16 年度大会講演要 旨集

部 所 研究室名	発表者 氏 名	学 会 研究会名	開 催 年月日	発 表 課 題 名	発表誌, 巻(号) 掲載ページ, 発行年月
病理昆虫研究室	勝部 和則 他	日本植物病理 学会	15. 8.20	キュウリうどんこ病の急増期に おける炭酸水素塩剤による病勢 進展の阻止効果	日本植物病理学会報 69:292
	勝部 和則 他	北日本病害虫 研究会	15.11.20	キュウリベと病増加初期におけ るジメトモルフ剤による病勢進 展抑制	北日本病害虫研究会報 第 54 号:206
	勝部 和則 他	日本植物病理 学会	16. 2.20	岩手県におけるホップうどんこ 病の発生と防除時期	日本植物病理学会報 70:53
	勝部 和則 他	北日本病害虫 研究発表会	16. 2.19 ~ 20	アセタミプリド・プロベナゾー ル粒剤のセルトレイ (NIMF-2002 粒剤)処理によるレ タス腐敗病の体系防除効果	北日本病害虫研究会報 第 55 号(投稿中)
	勝部 和則 他	日本植物病理 学会大会	16. 3.28 ~ 30	キュウリ炭そ病の病勢進展期に おける総合防除効果	平成 16 年度大会講演要 旨集
	勝部 和則	百町満朗監修	15. 8. 3	非病原性 <i>Eusarium</i> 菌によるホ ウレンソウ萎凋病の防除	拮抗微生物による作物 病害の生物防除(発行: クマイ化学工業)
畜産研究所 家畜飼養研究室	山田 直己	第 46 回東北農 業試験研究発 表会	15. 7.25	乳用雌育成牛のペレニアルライ グラス草地における集約放牧に よる発育効果	東北農業研究第 56 号 107-108,15.12
家畜育種研究室	安田 潤平	第 30 回短角牛 研究会	15.11.13	岩手県における短角牛試験研究 の取り組み	口頭発表
	吉田 登	平成 15 年度獣 医畜産業績発 表会	16. 3.10	岩手地鶏を活用した特産肉用鶏 の開発	口頭発表
家畜工学研究室	福成 和博	東日本家畜受 精卵移植研究 会	16. 1.30	黒毛和種多生子における血液キ メラの DNA 解析	東日本受精卵移植研究 会報 20,28-29,16.1
	鈴木 暁之	平成 15 年度獣 医畜産業績発 表会	16. 3.10	黒毛和種における遺伝性内水頭 症の原因領域の解明	発表会抄録 7 16. 3
飼料生産研究室	濱戸 もえぎ	第 46 回東北農 業試験研究発 表会	15. 7.25	ロックウール脱臭装置排水のオー チャードグラスに対する液肥 施用効果	東北農業研究第 56 号 107-109,15.12
外山畜産研究室	千葉 恒樹	第 46 回東北農 業試験研究発 表会	15. 7.25	日本短角種における妊娠鑑定と 子宮内薬液注入による受胎率改 善	東北農業研究第 56 号 117-118,15.12
県北農業研究所 営農技術研究室	桐山 直盛	北日本病害虫 研究会	16. 2.19 ~ 20	血清学的手法を併用したレタス 腐敗病菌の検出・定量法	北日本病害虫研究会報 第 55 号(掲載予定)
やませ利用 研究室	長谷川 聡	日本育種学会	15. 4. 2	岩手由来の食用ヒエに見いださ れた低アミロース系統の特徴	育種学研究第 5 巻 別冊 1 号 p234(2003.4)

### 3 雑誌等掲載

部 所 名	執筆者氏名	タ イ ト ル	掲 載 誌 名	掲載年月
企画経営情報部	加藤 満康	規模拡大と農業生産法人化が進む本県の酪農	農業普及	15. 9
農産部	加藤 満康	主業型農家の経営変遷から捉えた酪農経営支援方策	岩手の畜産	16. 3
	高橋 政夫	特集：平成 15 年冷害の実態と優良事例 水稲生育経過と被害実態（障害不稔発生要因と水管理の実態）	農業普及	16. 3
	木内 豊	特集：平成 15 年冷害の実態と優良事例 耐冷性品種の導入効果と品種育成の課題	農業普及	16. 3
	八重樫 耕一	農作業事故の発生要因と防止対策	農業普及	15. 5
	大里 達朗	ロングマット水耕苗技術の省力・軽労効果	農業普及	15.10
	吉田 宏	水稲直播栽培インタビューノート （玉山村 高橋静男氏へのインタビュー記事）	水稲直播栽培インタビューノート生産者の心を探る 第 1 巻北東北編	15.10
	高橋 政夫	試験地探訪	日植調東北支部会報第 39 号	16. 3
園芸畑作部	高橋 政夫	・各県における 15 年度の生育収量の特徴と被害様相（岩手県分） ・深水管理の実施状況と今後の課題（岩手県分）	東北地方における平成 15 年異常気象による被害の実態と解析	16. 3
	河田 道子	りんごの生育予測と栽培管理	J A 果樹だより	15. 4
	奥平 麻里子	果樹園の効果的な除草剤の使い方	J A 果樹だより	15. 5
	鈴木 哲	りんごの適正着果量「仕上げ摘果」	J A 果樹だより	15. 6
	小野 浩司	ぶどうの収穫前管理	J A 果樹だより	15. 7
	浅川 知則	りんご早生種の着色管理と落果防止剤の使用法	J A 果樹だより	15. 8
	小野 浩司	西洋なしの栽培管理と収穫期	J A 果樹だより	15. 9
	河田 道子	りんご中生種の収穫と晩生種の着色管理	J A 果樹だより	15.10
	奥平 麻里子	りんご園の秋期管理と樹相診断	J A 果樹だより	15.11
	佐々木 仁	平成 16 年度果樹栽培について	J A 果樹だより	16. 1
	鈴木 哲	りんごの花芽分化と生産予測について	J A 果樹だより	16. 2
	佐々木 仁	平成 15 年度果樹関係試験成果の概要	J A 果樹だより	16. 3
	浅川 知則	結実確保について	岩手りんごタイムス	15. 4

部 所 名	執筆者氏名	タ イ ト ル	掲 載 誌 名	掲載年月
園芸畑作部	佐々木 仁	摘花剤の利用について	岩手りんごタイムス	15. 4
	河田 道子	摘花剤の利用について	岩手りんごタイムス	15. 5
	小野 浩司	夏期管理について	岩手りんごタイムス	15. 7
	奥平 麻里子	9月下旬に成熟する黄色品種「岩手6号」	岩手りんごタイムス	15. 9
	鈴木 哲	新・改植の進め方	岩手りんごタイムス	15.12
	小野 浩司	果樹園管理のポイント・リンゴ	果実日本	16.1~3
	河田 道子	季節の農作業（西洋なし）	農業普及	15.4~9
	門間 剛	技術講座「大豆の不耕起栽培」	農業普及	15. 6
	児玉 勝雄	岩手オリジナル小ぎく「アイマム」シリーズの育成	研究ジャーナル	16. 1
	千田 裕	季節の農作業「きゅうり」	農業普及	15.6~11
生産環境部	高橋 良学	果樹園の土づくり	J A 果樹だより	15.10
	高橋 良学	高品質果実生産の施肥技術	J A 果樹だより	15.11
	及川 一也	りんごの貯蔵と鮮度保持について	J A 果樹だより	15.10
	及川 一也	農産物加工の視点と技術	農業普及	15.10
	上山 純子	より安全な農産加工品を提供するために	農業普及	15.10
病害虫部	後藤 純子	畑ワサビの新害虫ミドリサルゾウムシの発生生態と防除対策	今月の農業	15. 8
畜産研究所	山口 直己	初乳の必要給与量	岩手の畜産	15. 9
	山口 直己	哺乳ロボットを応用した省力管理技術	岩手の畜産	16. 3
	菊地 正人	搾乳ロボットは「ゆとりある酪農」を実現するか	農業普及	15. 9
	野口 龍生	尿道結石症の陰嚢前方切開による治療方法	平成 14 年度「東北地域新しい技術シリーズ」	15.10
	吉川 恵郷	乳牛の胚移植技術活用	農業普及	15. 9
	野口 龍生 他 4 名	体細胞クローン技術を応用した黒毛和種雄牛造成期間短縮の可能性と経済性	肉牛ジャーナル	15. 6
	鈴木 暁之	牛における DNA 解析技術	岩手の畜産	15.10

部 所 名	執筆者氏名	タ イ ト ル	掲 載 誌 名	掲載年月
畜産研究所	野口 龍生	尿道結石症の陰嚢前方切開による治療法	社団法人畜産技術協会 ホームページ	16. 3
	増田 隆晴	細断型ロールペーラによる飼料用とうもろこしの 省力的な収穫調製技術	農業普及	15.11
	増田 隆晴	細断型ロールペーラによる飼料用とうもろこし省 力的収穫調製技術	岩手の畜産	15.11
	濱戸 もえぎ	ロックウール脱臭装置のもう一つの働き	農業普及	15. 9
	伊藤 孝浩	パドックの泥濘化とその対策（前編） パドックの泥濘化とその対策（後編）	酪総研	15.12
			“	16. 1
	西田 清	県産種雄牛「糸安菊」号 B M S 4.0 の快挙	岩手の畜産	15. 7
	西田 清	県有種雄牛「糸安菊」号間検 B M S 4.0 !	岩手の畜産	15. 8
	西田 清	「金菊徳」号 広域後代検定事業で脂肪交雑育種 価トップに	岩手の畜産	15.12
	西田 清	黒毛和種における分割胚移植技術を活用した高能 力種雄牛の作出	岩手の畜産	16. 1
県北農業研究所	桐山 直盛	エンバク（ハイオーツ）をおとり作物に用いるア パラナ科野菜の根こぶ病発生抑制	野菜園芸技術	15.11
	長谷川 聡	ひえ水田移植栽培での育苗体系とプール育苗法の 実用性	グリーンレポート No.417	16. 3
	長谷川 聡	水田を利用した食用ヒエの栽培と雑草防除	日本植物調節剤研究協 会東北支部会報第 39 号	16. 3
	大清水 保見 長谷川 聡	岩手県雑穀栽培農家と実需者個別調査	平成 15 年度新需要穀類 等生産・流通体制確立 事業実績報告書 (財)農産業振興奨励会	16. 3

4 新聞等掲載

部所名	記事見出し(内容)	掲載紙名	掲載年月日	
総務部	農作業の雨具テーマに 農業科学博物館で企画展 北上	岩手日日	15. 4.18	
	生活の技 民芸の美 北上で農の手作り雨具展	岩手日報	15. 5. 2	
	秋篠宮ご夫妻 24 日に来県 高校馬術大会に出席	岩手日報	15. 7.18	
	秋篠宮ご夫妻 24 日本県入り 馬術大会ご出席	読売新聞	15. 7.18	
	北上 除草用具の変遷紹介 農業科学博物館で企画展	岩手日日	15. 7.22	
	秋篠宮ご夫妻が来県 県農研センターなど視察 北上市民ら沿道で歓迎	岩手日日	15. 7.25	
	秋篠宮ご夫妻水沢へ 高校馬術開会式に出席	河北新報	15. 7.25	
	秋篠宮ご夫妻県内入り 水沢、北上の施設ご訪問	読売新聞	15. 7.25	
	秋篠宮ご夫妻を市民 400 人出迎え 全国高校馬術大会出席で来県	毎日新聞	15. 7.25	
	秋篠宮ご夫妻が来県 全日本高校馬術 水沢農高できょう	岩手日報	15. 7.25	
	北上・農業科学博物館企画展から 水田除草用具の移り変わり	岩手日日	15. 8.17	
	日報アンテナ	岩手日報	15. 8.26	
	プロから学ぶ菓子作り 加工工房セミナー 県内各地から 30 人参加	岩手日日	15. 9.12	
	中国河南省から友好訪問団来訪 北上市に 11 日から	岩手日報	15.11. 6	
	相互交流で深まる理解 中国・三门峡市から訪問団 北上	岩手日報	15.11.15	
	雑穀栽培と農具紹介 来月 23 日まで 農業科学博物館で企画展 北上	岩手日日	15.11.15	
	昔の農具ずらり 岩手県立農業ふれあい公園で企画展	日本農業新聞	15.11.23	
	北上市勢 10 大ニュース 16 位 秋篠宮ご夫妻が県農業研究センターを視察	岩手日日	15.12.17	
	懐かしの農具並ぶ 農業科学博物館で企画展 北上	岩手日日	15.12.18	
	昭和初期の“食の技”紹介 加工・貯蔵用器具を展示 北上・農業科学博物館	岩手日日	16. 2.13	
	昭和初期の暮らしぶり今に 自給自足に農家の知恵絞る 食品加工・貯蔵用具 農業科学博物館で企画展 北上	岩手日日	16. 2.23	
	企画経営情報部	研究成果を展示、発表 14 日から春季一般公開 県農業研究センター 最終日にセミナーも 北上	岩手日日	15. 4.11
		告知板 県農業研究センターの春季一般公開	岩手日報	15. 4.11
		試験研究施設 14 日から公開 岩手県農研センター 県生物工学研究所	日本農業新聞	15. 4.12
		北上 県農研センターと生物工学研究センター 昨年度の研究成果報告 18 日まで一般公開	岩手日日	15. 4.16
		農林系で産学官連携 AFR の活動注目	岩手日報	15. 4.22
来月 1 日に 1 日子供農業研究員 北上の県農業研究センター		岩手日日	15. 7. 4	
1 日子ども農業研究員を募集 県農業研究センター		日本農業新聞	15. 7. 4	
告知 県農業研究センター子ども農業研究員募集		岩手日報	15. 7. 4	
集まれ! こども研究員 - 1 日子供農業研究員・夏休み蚕の飼育体験 -		読売新聞	15. 7. 4	
来月 1 日に蚕飼育体験 北上・県農業研究センター		岩手日日	15. 7.10	
告知板 1 日に岩手農林研究協議会 2002 年度事業成果報告会		日本農業新聞	15. 7.31	
ホップの苦み医薬品に有用 岩手農林研究協 北上で事業成果報告会		岩手日日	15. 8. 2	
蚕学んで育てるぞ 北上で「一日子ども農業員」		岩手日報	15. 8. 3	
告知板 県農業研究施設公開		岩手日報	15. 8.26	
来月に一般 「参観デー」 県試験研究機関		日本農業新聞	15. 8.29	
自慢の花き 297 点 北上・県農研センター フラワーカーニバル開幕		岩手日日	15. 9. 7	
北上の 2 施設 参観デー 施設内で収穫の野菜即売が好評 県農研センター DNA 抽出の体験コーナーも 岩手生工研センター		岩手日日	15. 9. 7	
「農」の精華 一堂に 北上の県農業研究センター 参観デーにぎわう		岩手日報	15. 9. 7	

部所名	記事見出し(内容)	掲載紙名	掲載年月日
企画経営情報部	告知板 一日子供研究員を募集	日本農業新聞	15.12.7
	告知板 県農業研究センター一日子ども農業研究員募集	岩手日報	15.12.7
	県農研センターで「繭と生糸の研究」 北上、9日	岩手日日	16.1.4
	養蚕に理解深める 県農業研究センター 小学生が一日研究員 北上	岩手日日	16.1.10
農産部	挑む 農の行方 第2部 かけはし誕生物語 ㊤ 20年の空白越え品種開発	朝日新聞	15.4.9
	挑む 農の行方 第2部 かけはし誕生物語 ㊤ 暖かい沖縄で種子育てる	朝日新聞	15.4.16
	ロングマット水耕苗使い田植え(1面トップ)	岩手日日	15.5.14
	ロール苗江刺で実演-田植え作業軽く、早く-	岩手日報	15.5.14
	新技術の田植え江刺で-省力化と軽労化実現-	胆江日日新聞	15.5.14
	ロール苗田植えに期待 現地試験で省力効果示す	日本農業新聞	15.5.16
	棚田に2品種 飯豊小	岩手日日	15.5.30
	棚田に実れ 北上飯豊小が田植え	岩手日報	15.6.2
	試練の秋 03いわて稲作最前線 耐寒性かつ耐病性次なる新品種追求	岩手日報	15.10.8
	冷夏でも高収量(12/4開催の全国ロングマット懇話会での岩手県実証農 家菊池氏と黒沢氏の発表内容からの引用)	農村ニュース	15.12.15
	冷夏の稲作、農家ら論議 花巻でシンポ	岩手日報	16.1.21
	深水管理が不稔に効果 花巻でいわて冷害シンポ	河北新報	16.1.21
	農研センター4人が発表	岩手日日	16.1.22
	水稲被害の要因探る 県農研センター 花巻で冷害シンポ	日本農業新聞	16.1.23
	水稲被害要因探る いわて冷害シンポ	日本農業新聞	16.3.10
	除草効果アップ-深水:ノビエ、機械:タマガヤツリ- (3/9新稲作研究会成果検討会記事)	日本農業新聞	16.3.10
園芸畑作部	黄色リンゴ「岩手6号」に期待 岩手県農研センター 9月下旬が収穫期	日本農業新聞	15.5.22
	小菊 新たに4品種開発 スプレタイプ 岩手県農研センター 来年から苗供給へ	日本農業新聞	15.8.12
	誕生、コギク4品種 人気高いスプレー型ブランド化図る 県農業研究センター	岩手日報	15.9.2
	コギク、イチゴ計3品種を採用 県の奨励品種	岩手日報	16.2.13
生産環境部	県農業研究センター パソコン使い診断 リンゴの木の栄養状態 新たな解析法開発	毎日新聞	15.7.12
	品質の良いリンゴ 葉の茂りで判別 岩手県農業研究センター パソコン画像解析	日本経済新聞	15.7.18
	リンゴ樹の栄養診断法 江刺で実証試験始まる 県農業研究センター 枝の繁茂状況撮影	岩手日日	15.8.6
	22日に雑穀を学ぶ講演会 大迫町で県農業研究センター	日本農業新聞	15.8.15
	デジカメでパチリ パソコン画像解析 リンゴの木養分ビタリ 肥培管理より楽に	日本農業新聞	15.8.17
	雑穀と食文化に迫る 県農研センター 22日、大迫で講演会	岩手日日	15.8.22
	自然との共生呼び掛け~雑穀と食文化・環境を学ぶ	岩手日日	15.8.23
	“うまい”雑穀の振興策は?大迫でシンポジウム	岩手日報	15.8.23
	リンゴ樹の窒素栄養状態 デジカメ画像で判別 県農業研究センター新手法の特許出願	岩手日報	15.8.25
	リンゴの栄養状態デジカメで診断	農業共済新聞	15.9.17
	岩手県農業研究センター開発 園地で判定も可能に 雑穀の魅力焦点に	HJ健康食品新聞	16.2.4



部所名	記事見出し(内容)	掲載紙名	掲載年月日
病害虫部	リンゴの褐斑病撃退 (リンゴ褐斑病の新しい防除法を確立)	産経新聞	15. 5.14
	リンゴ褐斑「防げる」 (リンゴ褐斑病の新しい防除法を確立)	朝日新聞	15. 5.15
	リンゴの褐斑病効果的防除法を確立 県農研センター 最小限の農薬で被害減少 病害虫防除 今年度基準に取り入れ	岩手日日	15. 5.19
	リンゴ褐斑病新防除法を確立 農研センター 農薬散布回数少なく5,6月集中使用で効果	岩手日報	15. 5.21
	県農業研究センター キュウリに減農薬栽培法 予防重視、今の5~7割に	朝日新聞	15. 6.21
	基本徹底し農薬減らす 夏秋キュウリ総合防除を開発 岩手県農研センター	日本農業新聞	15. 6.29
	農薬減らし、病害少なく キュウリ栽培で新技術開発 県農業研究センター	毎日新聞	15. 7. 1
	斑点落葉病に注意 県内全域 圃場率、10年で最高	岩手日報	15. 7.10
	畜産研究所	牛 尿結石に新技術 腹側から切って流す 岩手県農業研究センター	日本農業新聞
肉質最高級の種牛誕生 霜降り度全国歴代6位 県種山畜産研(住田)の黒毛和種		岩手日報	15. 6.14
岩手の種雄牛「糸安菊」 脂肪交雑4.0		日本農業新聞	15. 6.18
産肉能力検定 県農業研究センターの黒毛和種 「糸安菊」が全国2位		読売新聞	15. 6.18
県の優良種雄牛に選定		東海新報	15. 6.19
スーパー種牛誕生 霜降り度 全国最高ランク 岩手県畜産研 糸安菊		河北新報	15. 6.23
日報アンテナ		岩手日報	15. 6.30
「金菊徳」の育種価日本一		胆江日日	15.11. 4
県農業研究センターの種雄牛「金菊徳」 検定全国1位に輝く 群抜く霜降り度合い 「糸安菊」も上位 振興の原動力に		岩手日報	15.11. 4
種牛 金菊徳霜降り度全国1位 県「岩手牛のレベルを証明」		読売新聞	15.11. 6
日報アンテナ		岩手日報	15.11. 6
岩手県の種雄牛「平茂夏」 脂肪交雑は平均3.3 1日の増体重1.11キロの好成績		日本農業新聞	15.11. 9
県産牛に熱い視線 前沢と金ヶ崎 2頭、最高の産肉能力 岩手ブランド確立好機		朝日新聞	15.11.20
探求空間 いわて牛の種牛づくり 血統がカギ 選抜し改良		朝日新聞	15.11.27
広域後代検定で全国一 岩手の「金菊徳」 A4以上が8割 肉質向上に期待		日本農業新聞	15.12. 1
優良種雄牛を作れ!		東海新報	16. 1. 1
県北農業研究所		ヒエの精白機械体系 ロス減り歩留まり向上	日本農業新聞
	ヒエの精白工程見直し 米麦用の機械改良 歩留まり60%強に	岩手日報	15. 5. 7
	ハウレンソウ 根切りから袋詰めまで	日本農業新聞	15. 5.14
	あきたこまちの稔実歩合 紫波町で70% 県農水部長が県内視察 低温障害の地域も 生育ばらつき目立つ	岩手日報	15. 8.24
	米の刈り取り早め呼びかけへ 品質劣化防止で県	朝日新聞	15. 9.13
	盛岡や二戸などで早め刈り取りを 稲作技術会議で確認	岩手日報	15. 9.13
	雑穀増産を後押し	農業共済新聞	15.11. 5

## 5 テレビ・ラジオ放送

### (1) テレビ

部所名	出演者氏名	内 容	放送局名	放送年月日
企画経営情報部	渡辺 芳幸	Y u i 「ぼくたち一日子供研究員！」～夏休み・カイコの飼育体験～	岩手朝日テレビ	15. 8.16
農産部	阿部 潤	いわて情報ステーション 「やさしいバイオテクノロジー」	テレビ岩手	15. 4. 6
	大里 達朗 他	ニュースエコー 新しい田植え（ロングマット水耕苗移植）	I B C	15. 5.13
	阿部 潤	おばんです岩手 染色用植物『紫草（ムラサキ）』の増殖技術に対するインタビュー	NHK 盛岡放送局	15. 9. 4
	木内 豊	IAT スーパーニュースJチャンネル(岩手県の水稲品種開発について)	岩手朝日テレビ	15.12.22
畜産研究所	鈴木暁之 野口龍生	いわて情報ステーション 「やさしいバイオテクノロジー」	テレビ岩手	15. 4. 6
	西田 清	ニュー・プラス1いわて（優良種雄牛作出）	テレビ岩手	15. 6.15
県北農業研究所	長谷川 聡	Y u iチャンネル（雑穀の新事業紹介）	岩手朝日テレビ	16. 3.13

### (2) ラジオ 番組名「おはよう今日も元気で」

部所名	出演者氏名	内 容	放送局名	放送年月日
企画経営情報部	松澤 一志	春期一般公開について	I B C ラジオ	15. 4. 4
	加藤 満康	黒毛和種の親子放牧の推進について	〃	15. 6. 6
	菅原 豊司	ウルの消費ニーズについて	〃	15. 7. 4
	阿部 哲哉	野菜作における労力支援事業の取り組みについて	〃	15. 7.25
	松澤 一志	参観デーの開催について	〃	15. 8.22
	菅原 豊司	中山間地域に適する宿根草・花木の実需者ニーズ	〃	15.11. 7
	農産部	小田中 温美	水田の初期管理のポイント	〃
仲條 眞介		寒さに強いイネについて	〃	15. 6.13
吉田 宏		水稲の栄養診断 - 今年の追肥のポイント -	〃	15. 7.11
阿部 弘		組織培養苗を利用したサトイモ栽培	〃	15. 8.29
阿部 節男		水田施設の管理について	〃	15. 9.19
阿部 陽		米の食味について	〃	15.11. 4
安ヶ平 紀子		DNAマーカーって何？	〃	15.12.19
大志田 建男		グランドカバープランツの動力吹付緑化工法について	〃	16. 1.23
藤井 智克		安全な農作業について	〃	16. 2.20
及川 あや		今年の育苗のポイント	〃	16. 3.19
園芸畑作部	河田 道子	りんごの生育と春期管理	〃	15. 4. 4
	奥平 麻里子	りんごの仕上げ摘果について	〃	15. 5.23
	土田 典子	雨よけトマトの点滴灌水施肥栽培における施肥量低減	〃	15. 6.20
	荻内 謙吾	小麦の新しい奨励品種「ゆきちから」について	〃	15. 8. 1
	浅川 知則	りんご早生種の収穫と中性種の管理	〃	15. 9. 5
	小田島 雅	小ぎくの親株の伏込みについて	〃	15.10.10
	葛巻 美知子	りんどうの促成栽培について	〃	15.11.21

部所名	出演者氏名	内 容	放送局名	放送年月日
園芸畑作部	小野 浩司	りんごの作柄予想と冬期管理	I B C ラジオ	15.12.26
	門間 剛	大豆の不耕起栽培技術について	"	16. 2. 6
	川村 浩美	りんどうの春期管理	"	16. 3. 5
生産環境部	沼田 芳宏	岩手県の水稲病害虫発生の地域性と特徴	"	15. 5. 9
	小田島 ルミ子	県内産ケイフン主体肥料による水稲栽培	"	15. 7.18
	平淵 英利	農産物加工の取組み	"	15.10.24
	菅 千穂子	岩手のお米は安全です	"	15.12.12
	高橋 正樹	堆肥による化学肥料代替法	"	16. 1.16
	中野 亜弓	簡易な方法で残留農薬を分析する	"	16. 3.12
病害虫部	齋藤 誉志美	新しい農薬取締法	"	15. 4.25
	藤沢 巧	環境にやさしい害虫防除技術	"	15. 8.15
	佐々木 直子	環境にやさしい病害防除技術	"	15.10.31
畜産研究所	高杉 亘	黒毛和種放牧牛の放牧効果について	"	15. 4.18
	小梨 茂	日本短角種における黒毛和種の胚移植の導入効果	"	15. 5.30
	鈴木 暁之	牛の遺伝子解析技術	"	15. 6.27
	千葉 恒樹	日本短角種における妊娠鑑定と子宮内薬液注入による受胎率改善について	"	15. 8. 8
	茂呂 勇悦	T M R 調整の留意点	"	15. 9.12
	山口 直己	クローズアップ管理による周産期予防	"	15.10.17
	濱戸 もえぎ	たい肥の有効利用について	"	15.12. 5
	西田 清	黒毛和種の種雄牛造成	"	16. 1. 2
	安田 潤平	ビタミンA制限飼料を用いた黒毛和種肥育	"	16. 1.30
	吉田 登	「イワテ地鶏」を活用した岩手独自の特産鶏	"	16. 2.27
	平久保 友美	春の草地管理について	"	16. 3.26
	県北農業研究所	桐山 直盛	交信攪乱剤利用によるキャベツのコナガ防除	"
高橋 昭喜		ほうれんそうの計量・包装機について	"	15. 9.26
藤田 智美		葉たばこ栽培における生分解性マルチの利用について	"	15.10. 3
長谷川 聡		雑穀についての試験研究の取り組みについて	"	16. 1. 9
根田 美和子		ほうれんそうの品種特性と作型について	"	16. 2.13

## 6 指導資料等掲載

部所・研究室名	執筆者氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月
園芸畑作部 果樹研究室	佐々木 仁	主要果実の栽培技術(りんご、ブルーベリー)	果樹指導要綱	16. 3
	鈴木 哲	〃 (りんご、ぶどう)	〃	〃
	小野 浩司	〃 (ぶどう、西洋なし)	〃	〃
	河田 道子	〃 (りんご、もも)	〃	〃
	奥平 麻里子	〃 (りんご、おうとう)	〃	〃
	浅川 知則	〃 (りんご)	〃	〃
野菜畑作研究室	山田 修	品目別栽培技術指針 きゅうり	平成16年度野菜栽培技術指針	16. 3
	土田 典子	品目別栽培技術指針 ピーマン	〃	〃
	高橋 大輔	品目別栽培技術指針 ばれいしょ	〃	〃
花き研究室	川村 浩美	品目別栽培技術指針 りんどう	平成16年度花き栽培技術指針	16. 3
	内藤 善美	品目別栽培技術指針 鉢物りんどう	〃	〃
	葛巻 美知子	品目別栽培技術指針 花木	〃	〃
	小田島 雅	品目別栽培技術指針 小ぎく	〃	〃
南部園芸研究室	志田 たつ子	品目別栽培技術指針 アネモネ	平成16年度花き栽培技術指針	16. 3
	千田 裕	品目別栽培技術指針 いちご	平成16年度野菜栽培技術指針	16. 3
県北農業研究所 産地育成研究室	佐藤 美和子	品目別栽培技術指針 ほうれんそう	平成16年度野菜栽培技術指針	16. 3
	三浦 利奈	品目別栽培技術指針 キャベツ	〃	〃
	高橋 聡子	品目別栽培技術指針 ダイコン	〃	〃
	藤井 伸行	品目別栽培技術指針 枝物花木	平成16年度花き栽培技術指針	16. 3
	高橋 聡子	品目別栽培技術指針 花壇苗	〃	〃

## 7 トライアングル

発行年月日	主 な 内 容
15. 8. 1 ( 27 )	1 巻頭言 「外部評価に学ぶ」 農業研究センター所長 高橋 壯 2 トピックス (1)DNA マーカーでイネを判別できるようになりました ・DNA マーカーを利用した岩手県水稲奨励品種の識別 水稲育種研究室 ・イネいもち病真性抵抗性遺伝子を判定する DNA マーカーの作出 応用生物工学研究室 (2)画像分析によるわい性台りんご樹の栄養診断法 土壌作物栄養研究室 (3)「酪農勉強会」を開催しています！ 家畜飼養研究室 3 報告 (1)小野剛志・土壌作物栄養研究室長が平成 15 年度研究功労者表彰を受賞！ 企画情報室 (2)平成 15 年度岩手県農業研究センター参観デーの開催予定について 企画情報室
15.10.10 ( 28 )	1 巻頭言 「次世代型機能性健康ビーフの開発」 畜産研究所長 駒米 勉 2 トピックス (1)水稲で使用する殺虫剤のさらなる削減に向けて 病理昆虫研究室 (2)アマランサス種苗特性分類調査基準策定委員会が開催されました 県北農業研究所 (3)岩手のりんごについて中学生が取材 果樹研究室
16. 1. 5 ( 29 )	1 巻頭言 「マニフェスト」 県北農業研究所長 櫻井 一男 2 トピックス (1)水田農業改革を支援する取り組みについて 農業経営研究室 (2)ねぎの機械化一貫作業体系の確立に向けて 専門技術員室 (3)秋篠宮ご夫妻、農業研究センターをご視察 総務部総務課 3 報告 (1)高橋良学 専門研究員が平成 14 年度藤原彰夫研究奨励賞を受賞！ 企画情報室 (2)平成 15 年度岩手県農業研究センター参観デーの開催について 企画情報室
16. 3. 19 ( 30 )	1 巻頭言 「座右の『言葉』」 農業研究センター副所長 佐々木 忠勝 2 研究成果報告 (1)産地直売施設における生産流通支援システムの導入効果 農業経営研究室 (2)平成 15 年水稲冷害解析から - 障害不稔発生要因と水管理の実態 - 水田作研究室 (3)「葉とらずりんご」の樹相診断 果樹研究室 (4)ピーマン PMMoV 抵抗性品種「京鈴」「さらら」の特性と導入上の注意事項 野菜畑作研究室 (5)フラットベッドスキャナ利用による土壌全炭素簡易推定法 土壌作物栄養研究室 (6)ハトムギを原料とするペースト状食品(ペースト状ハトムギ茶)の製造方法 保鮮流通技術研究室 (7)天敵と物理的防除を組み合わせた施設ピーマンの害虫防除法 病理昆虫研究室 (8)細断型ロールペーラでデントコーンの収穫調製労力が大幅に低減!! 飼料生産研究室 (9)簡易被覆によるウルの早出し継続出荷技術 産地育成研究室 3 報告 宮古市で開催された「現地ふれあい農業研究センター」について 企画情報室

## 8 図書資料収集・提供

項 目	冊数・人数
総蔵書数	6 0 , 9 7 3 冊
平成 15 年度収集図書数	1 , 5 2 0 冊
図書館利用者数(延べ)	6 5 1 名
同貸し出し冊数	1 , 4 5 6 冊

数値はいずれもセンター本部のみ

## 9 ホームページ

項 目		件 数
入力件数	研究レポート	6 4
	試験研究成果	4 0 3
	研究報告類	3 7
	トライアングル	1 5
	行事予定	9
	各種資料	4 3
	農業科学博物館	1 2
	トピックス、その他	1 1
アクセス件数	トップページ	2 4 , 4 8 8
	総ページビュー	1 , 0 6 8 , 9 8 2

## V 指導・啓発活動





# 1 技術伝達研修等の実施

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
企画経営情報部	15. 9.29	農業研究センター	平成 15 年度経営担当者研修	15 名
	15.11.14	農業研究センター	改良普及員専門技術研修（作物 期）	3 名
	16. 1.19	農業研究センター	新技術普及指導検討会（経営）	15 名
	"	畜産研究所	"（畜産）	30 名
農産部	15.4.22-24	農業研究センター	ELISA 検定法研修	2 名
	15. 4.30	農業研究センター	岩手県水稲直播栽培米研究会実演会	50 名
	15. 6.30	農業研究センター、 現地圃場（盛岡、花 巻、水沢）	岩手県水稲直播栽培米研究会現地研修会	57 名
	15. 7.15	農業研究センター	平成 15 年度技術向上研修 「TSWV の発生と診断」	25 名
	15.11.13	農業研究センター	平成 15 年度改良普及員研修（専門技術研修） 「トレーサビリティと安全性」	3 名
	16. 1.18	農業研究センター	平成 15 年度新技術普及指導検討会 （果樹・花き・野菜）	25 名
	16. 1.20	農業研究センター	平成 15 年度新技術普及指導検討会 （水稲・畑作部門）	30 名
	16.2.19-20	花巻市	岩手県水稲直播栽培米研究会総会及び研修会	47 名
園芸畑作部	15. 5.22	石鳥谷町	りんどうこぶ症試験設計等現地検討会	25 名
	15. 6.13	花巻市	ぶどう栽培流通研修会	100 名
	15. 6.24	農業研究センター	りんご栽培技術研修会	150 名
	15. 7. 4	玉山村	りんどうこぶ症に関する実験圃現地検討会	26 名
	15. 7.25	農業研究センター	りんご栽培技術研修会	100 名
	15. 8.22	農業研究センター	りんご生産流通情報交換会	50 名
	15. 9. 4	石鳥谷町	りんどうこぶ症に関する試験圃現地検討会	18 名
	15. 9.12	農業研究センター	西洋なし栽培流通研修会	60 名
	15. 9.24	大迫町	ぶどう栽培流通研修会（品種検討会）	50 名
	15.10. 2	農業研究センター	りんご生産流通情報交換会	50 名
	15.10.23	農業研究センター	りんご・ぶどう品種情報交換会	30 名
	15.10.29	安代町	りんどうこぶ症対策検討会	49 名
	16. 1.19	農業研究センター	新技術普及検討会（花き）	32 名
	16. 1.20	農業研究センター	りんご冬季研修会	100 名
	16. 2.23	農業研究センター	果樹新技術セミナー	110 名
	生産環境部	16. 1.19-20	農業研究センター	平成 15 年度新技術普及指導検討会（水稲・畑作）
"		"	"（園芸）	26 名
"		"	"（経営・生活）	20 名
畜産研究所	16. 1.19	畜産研究所	新技術普及指導検討会	30 名
	16. 1.28	宮古市「近江屋」	ふれあい農研センター	160 名
県北農業研究所	15. 6. 3	県北農業研究所	平成 14 年度中山間特産物と生産技術向上とマー ケティング手法の研究報告会	39 名
	15. 9. 5	県北農業研究所	参観デー「ほうれんそうセミナー」 「宿根草・枝物花木セミナー」	130 名 50 名
	16. 3.22	県北農業研究所	中山間特産物と生産技術向上とマーケティング 手法の研究報告会	35 名

## 2 現地指導・研修会等への講師派遣

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>企画経営情報部</b> 齋藤 恭	岩手県 J A 営農指導員資格認証試験講習	15.11.19	岩手県農業協 同組合中央会	JA 岩手学園
<b>農業経営</b> 菅原 豊司	中山間特産物の生産技術向上とマーケティング手法 の研究報告会	15. 6. 3	県北農業研究 所	県北農業研究所
前山 薫	平成 15 年度水田農業改革研修	15. 7.29	農業普及技術 課	農業大学校
前山 薫	農業経営 I T 活用支援推進事業実施説明会	15.10.15	農業普及技術 課	盛岡市
佐藤 隆	岩手県 J A 営農指導員資格認証試験講習	15.11.17	岩手県農業協 同組合中央会	JA 岩手学園
前山 薫	地産地消システム構築成果報告会	15.11.18	農業普及技術 課	江刺市
阿部 哲哉	園芸流通改善セミナー	16. 2.12	流通課	盛岡市
井村 裕一	平成 15 年度アンケート調査に基づく意見交換会	16. 3.11	岩手県葉たば こ生産振興対 策協議会	岩手町
<b>農産部</b> 水田作				
高橋 政夫	農産物検査員育成研修 - 国内農産物検査コース - (水稲関係試験研究の取り組みと最近の研究成果)	15. 4.25	盛岡市	JA 岩手中央都南 地域営農センター
高橋 政夫	農業気象協議会 ミニ講座 (H14 年 7 月の水稲冠水被害)	15. 6.30	盛岡市	エスポワールいわて
尾形 茂	岩手県農業管理指導士養成研修(雑草防除)	16. 1.21	盛岡市	盛岡地区合同庁 舎
高橋 政夫	岩手県稲作経営者会議研修会(岩手の稲作を考える)	16. 3.12	盛岡市	産業会館
<b>水稲育種</b> 木内 豊	農業大学校 講師(水稲育種の実際)	15. 7.15 15. 9.30	農業大学校	農業研究センター
中野 央子	農業大学校 講師(作物育種)	15. 9.24 15.10. 1	農業大学校	農業大学校
<b>応用生物学</b> 阿部 潤	第一回採種技術検討会	15. 6.26	農産園芸課	種苗センター
阿部 潤	第二回採種技術検討会	15. 7.10	農産園芸課	種苗センター
阿部 潤	第三回採種技術検討会	15. 7.25	農産園芸課	種苗センター

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
応用生物工学				
阿部 潤	第四回採種技術検討会	15. 8. 1	農産園芸課	種苗センター
阿部 潤	第六回採種技術検討会	15. 8.21	農産園芸課	種苗センター
阿部 潤	第七回採種技術検討会	15. 9. 8	農産園芸課	種苗センター
阿部 潤	第八回採種技術検討会	15.10.10	農産園芸課	種苗センター
阿部 潤	農業大学校 講師（作物育種）	15.10. 8 15.10.22 15.10.29 15.11.26 15.12.17	農業大学校	農業大学校
阿部 潤	岩手町認定農業者研修会 講師	15.11. 7	岩手町	岩手町
阿部 潤	盛岡地方園芸産地力強化研修会 ユリ分科会 座長	16. 1.15 ~1.16	盛岡地方振興局	盛岡市
阿部 弘	二子いも生産組合総会 講師（培養いもの活用）	16. 3.25	JA きたかみ	北上市二子
生物工学				
大里 達朗	岩手県農業機械士技能検定	15. 6.18 15. 7.15	農業大学校	農業大学校
大志田 建男	岩手県農業機械士技能検定	15. 6.18 15. 9.19	農業大学校	農業大学校
高橋 修	岩手県農業機械士技能検定	15. 7.15 15. 9.19 15.10.24	農業大学校	農業大学校
高橋 修	農作業安全現地研修会	15. 8.26 15. 8.27	二戸市 紫波町	二戸地区合同庁舎 岩手中央農業協同組合本所
藤井 智克	岩手県農業機械士技能検定	15. 9.19 15.10.24	農業大学校	農業大学校
阿部 節男	岩手県農業機械士技能検定	15.10.24	農業大学校	農業大学校
高橋 修	岩手県農薬管理指導士養成研修 (農薬散布技術、防除機等に関する知識)	16. 1.21	盛岡市	盛岡地区合同庁舎
高橋 修	農業機械士養成研修	16. 2.13	農業大学校	農業大学校
園芸畑作部				
果樹				
佐々木 仁 鈴木 哲 小野 浩司	岩手県農協りんご生産流通研究会	15. 6.12	JA 全農岩手	矢巾町

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
果樹				
佐々木 仁	岩手6号栽培技術研修会	15. 6. 18	北上市農協	北上市
佐々木 仁	りんご苗木生育調査及び管理指導	15. 7. 16	種苗センター	江刺市
鈴木 哲	りんご栽培技術・新品種研修会	15. 7. 23	盛岡農業改良 普及センター	盛岡市
佐々木 仁	岩手県農協りんご生産流通研究会	15. 9. 26	JA 全農岩手	北上市～二戸市
佐々木 仁	岩手県JA営農指導員資格認証試験講義「果樹」	15.11.20	岩手県農業協 同組合中央会	JA 岩手学園
佐々木 仁	西洋なし剪定講習会	16. 1. 21	岩手中央農協	盛岡市
佐々木 仁	冬期短期研修	16. 1. 22	落葉果樹農業 研修所	雫石町
佐々木 仁 鈴木 哲	岩手県農協りんご生産流通研究会	16. 2. 10	JA 全農岩手	矢巾町
鈴木 哲	異業種交流会および高度技術分析検討会	16. 2. 13	千厩農業改良 普及センター	千厩町
佐々木 仁	西洋なし栽培技術・剪定研修会	16. 2. 18	花巻農協	農業研究センター
小野 浩司	加工もも「単収向上につながる土づくり」	16. 2. 20	大東町農林業 振興協議会	大東町
佐々木 仁	りんご栽培技術研修会	16. 3. 12	かろ <sup>o</sup> アりんご 振興協議会	二戸市
野菜畑作				
荻内 謙吾	N O S A I小麦研修会	15. 6. 25	NOSAI 岩手	北上市
荻内 謙吾 門間 剛	岩手県麦大豆栽培研究会	15. 8. 24	農産園芸課	滝沢村
作山 一夫	畑作物共済損害評価研修会	15.10.14	NOSAI 岩手	盛岡市
作山 一夫	平成15年度営農指導員コース研修会(野菜)	15.11.21	JA 岩手学園	滝沢村
作山 一夫	N O S A I大豆技術研修会	16. 2. 20	NOSAI 岩手	北上市
門間 剛	大豆栽培研修会	16. 3. 5	北上地方農業 振興協議会	北上市
花き				
児玉 勝雄 川村 浩美 内藤 善美	第1回りんどう採種技術検討会	15. 6. 26	農産園芸課	種苗センター

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
花き				
児玉 勝雄 川村 浩美 内藤 善美	第 2 回りんどう採種技術検討会	15. 7. 10	農産園芸課	種苗センター
児玉 勝雄 川村 浩美 内藤 善美	第 3 回りんどう採種技術検討会	15. 7. 25	農産園芸課	種苗センター
児玉 勝雄 川村 浩美 内藤 善美	第 4 回りんどう採種技術検討会	15. 8. 1	農産園芸課	種苗センター
児玉 勝雄 川村 浩美 内藤 善美	第 5 回りんどう採種技術検討会	15. 8. 7	農産園芸課	種苗センター
川村 浩美 内藤 善美	第 6 回りんどう採種技術検討会	15. 8. 21	農産園芸課	種苗センター
児玉 勝雄 川村 浩美 内藤 善美	第 7 回りんどう採種技術検討会	15. 9. 8	農産園芸課	種苗センター
川村 浩美 内藤 善美	第 8 回りんどう採種技術検討会	15. 10. 10	農産園芸課	種苗センター
児玉 勝雄 川村 浩美 内藤 善美	「いわて乙女」巡回指導	15. 6. 21 15. 7. 17	JA 花巻	JA 花巻管内
児玉 勝雄 内藤 善美	安代町りんどう巡回調査	15. 6. 27	JA 新いわて	安代町
児玉 勝雄 小田島 雅	小ぎく優良品種展示圃の検討	15. 9. 9 ~9. 10 15. 11. 12	農産園芸課	軽米町、安代町、 雫石町
児玉 勝雄 川村 浩美 内藤 善美 葛巻 美知子	りんどう主産地会議	16. 1. 21	農産園芸課	農業研究センター
南部園芸				
志田 たつ子	花壇づくり講習会	15. 5. 29	陸前高田市	南部園芸研究室
浅沼 一也	施設園芸の研究状況視察研修	15. 6. 25	彦部第 3 農家 組合	南部園芸研究室
千田 裕	講義「病害虫防除の基本」	15. 7. 2	陸前高田市総 合営農指導セン ター	陸前高田市総合 営農指導センター
浅沼 一也	リーディングファーム現地検討会	15. 7. 3	大船渡農業改 良普及センター	住田町

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
南部園芸 千田 裕	露地いちご栽培講習会	15. 7. 16	JA 大船渡市	大船渡市末崎町
千田 裕	いちごの試験研究状況視察研修	15. 7. 16	JA いわい東い ちご部会	南部園芸研究室
志田 たつ子	花壇コンクール審査	15. 8. 29	陸前高田市	陸前高田市内
千田 裕	リーディングファーム現地検討会	15. 9. 9	千厩農業改良 普及センター	大東町
千田 裕	いちご栽培講習会	15. 9. 16	JA 陸前高田	住田町
浅沼 一也	施設花き試験研究状況研修視察	15. 9. 19	JA とおの釜石 支部	南部園芸研究室
浅沼 一也	農業大学校生校外研修	15. 10. 7	農業大学校	南部園芸研究室
千田 裕	普及活動中間検討会	15. 10. 10	大船渡農業改 良普及センター	大船渡地区合同 庁舎
浅沼 一也	施設園芸視察研修	15. 10. 22	小梨水稻生産 組合	南部園芸研究室
志田 たつ子 千田 裕	陸前高田市農産物品評会審査	15. 10. 31	JA 陸前高田	陸前高田市物産 館
千田 裕	いちご栽培視察研修会	15. 12. 12	JA いわて中央 園芸いちご生 産部会	南部園芸研究室
千田 裕	普及活動実績検討会	16. 2. 26	大船渡農業改 良普及センター	大船渡地区合同 庁舎
<b>生産環境部</b>				
環境保全				
築地 邦晃	新規就農者研修「環境保全型農業」	15. 5. 30	農業大学校	農業大学校
築地 邦晃	環境にやさしい農業技術セミナー	15. 11. 28	盛岡農業改良 普及センター	産業文化センター
築地 邦晃	岩手県農業管理指導士養成研修	16. 1. 21	農業普及技術 課	盛岡市
土壌作物栄養				
小野 剛志	土づくりと安全安心な農産物生産における堆肥の役割	15. 4. 24	農業大学校	農大研修館
小田島ルミ子 及川 一也 菊地 淑子	ほうれんそう硝酸含量分析研修	15. 8. 27	専門技術員	農業研究センター

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
土壤作物栄養 小野 剛志	平成 15 年度 大東町営農大講座 有機野菜	16. 2. 13	大東町農業技 術センター	大東町農業技術 センター
保鮮流通技術 及川 一也	宮古下閉伊モノづくりネットワーク	15. 6. 23	宮古地方振興 局	浄土ヶ浜パ <sup>®</sup> -ク ル
平淵 英利	陸前高田市農産物加工研修会	15. 7. 16	陸前高田市	陸前高田市加工 センター
及川 一也	農産物加工概論	15. 9. 18 ~ 12. 18	農業大 学	農業大 学
及川 一也	岩手県大豆産大豆加工ビジョン策定会議	15. 9. 26 16. 2. 20	食品産業協 議会	農林会館ほか
及川 一也	二戸地方雑穀フォーラム	15. 10. 16	二戸地方振興 局	二戸地区合同庁 舎
及川 一也	雑穀再発見フォーラム	16. 1. 26	農産園芸課	KKR 本館東京
平淵 英利	食品包装研修会	16. 2. 23	JA 和賀中央	JA 和賀中央
<b>病害虫部</b>				
病理昆虫				
佐々木 直子	岩手県における水稲主要病害の発生動向と対策	15. 10. 8	住友化学品研 究所	兵庫県宝塚市 住友化学工業
猫塚 修一	平成 15 年病害虫発生動向と腐らん病対策について	16. 2. 6	大東町農林業 振興協議会	グリーンパ <sup>®</sup> レス大東 (大東町)
勝部 和則	トマト塾	16. 2. 24	千厩農業改良 普及センター	千厩町勤労福祉 会館
勝部 和則	小ぎく塾	16. 2. 24	千厩農業改良 普及センター	千厩地区合同庁 舎
<b>畜産研究所</b>				
家畜育種				
小松 繁樹	第 32 回岩手県肉牛共進会	15. 6. 30	県家畜商協	花巻市
小松 繁樹	農業大講師「肉用牛の飼養」	15. 10. 7 ~ 10. 15	農業大 学	農業大 学
小松 繁樹	岩手県畜産共進会「肉牛」審査	15. 11. 8	県畜産協 会	紫波町
鈴木 賢	農業大講師「肉用牛の飼養」	15. 11. 20	農業大 学	農業大 学

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
家畜育種 阿閉 博明	農業大学校講師「豚の飼養」	15.11.25 15.12. 2 15.12. 9 15.12.16	農業大学校	農業大学校
小松 繁樹	第3回岩手県家畜商協枝肉共進会	15.11.29	県家畜商協	紫波町
家畜飼養 松木田 裕子	岩手の酪農を考える会 「乳牛のダイエットについて」	15. 6.27	岩手中央酪農 協同組合	滝沢村「アピオ」
山口 直己	家畜商講習会	15. 7.17	畜産課	競馬会館
茂呂 勇悦	農業大学校講師「牛の観察について」	15. 9.24	農業大学校	農業大学校
山口 直己	職員技術研修会「乳牛の飼料給与マニュアル」	15.10. 1	県北家畜保健 衛生所	県北家畜保健衛 生所
山口 直己	家畜人工授精師講習会	15.10.29	畜産課	畜産研究所
茂呂 勇悦	家畜人工授精師講習会	15.10.29	畜産課	畜産研究所
松木田 裕子	家畜人工授精師講習会	15.10.29	畜産課	畜産研究所
松木田 裕子	田野畑産業実践大学出前講座 「泌乳効率を高める飼養管理」	15.12.18	田野畑村	田野畑村 「アズ ビ`-楽習センター」
茂呂 勇悦	酪農講習会 「ウイリアムマイナ - 集中セミナー - 研修報告」	15.12.19	水沢農業改良 普及センター	水沢農業改良普 及センター
松木田 裕子	農業大学校講師「カウコンフォート」	16. 1.20	農業大学校	農業大学校
山口 直己	農業大学校講師「フリーストール飼養管理」	16. 1.26	農業大学校	農業大学校
山口 直己	岩手の酪農を考える会 「酪農基本技術の向上対策」	16. 2.18	岩手中央酪農 協同組合	滝沢村「アピオ」
家畜工学 吉川 恵郷	受精卵移植技術各論	15. 5.19 15. 6.19	農業大学校	農業大学校
児玉 英樹	クローン技術	15. 8.21	農業大学校	農業大学校
鈴木 暁之	遺伝子解析技術	15. 9. 8	農業大学校	農業大学校
児玉 英樹	家畜人工授精講習会（発情鑑定）	15.11. 5	畜産課	畜産研究所
福成 和博	家畜人工授精講習会（人工授精注入実習）	15.11. 7	畜産課	畜産研究所



担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
家畜工学				
吉川 恵郷	体内受精卵移植概論	16. 2. 4	畜産課	畜産研究所
児玉 英樹	受精卵の生理、形態	16. 2. 5 ~2. 6	畜産課	畜産研究所
児玉 英樹	体内受精卵の処理	16. 2.18	畜産課	畜産研究所
福成 和博	体内受精卵の処理	16. 2.19	畜産課	畜産研究所
児玉 英樹	体内受精卵の処理	16. 2.20	畜産課	畜産研究所
福成 和博	受精卵の移植	16. 2.23	畜産課	畜産研究所
福成 和博	受精卵の移植	16. 2.24	畜産課	畜産研究所
児玉 英樹	受精卵の移植	16. 2.25	畜産課	畜産研究所
鈴木 暁之	牛の遺伝子解析技術	16. 3.22	岩手県獣医師 会岩手支会	盛岡市繫「愛真館」
飼料生産				
増田 隆晴	ふれあい農業研究センター（講演） 細断型ロールペーラによる飼料用とうもろこしの省 力的収穫調製技術	16. 1.28	農業研究センター	宮古市
川畑 茂樹	簡易シート方式による家畜排せつ物処理について	16. 2.17	畜産課	遠野市
種山畜産				
西田 清	いわての種牛づくり	15.12. 9	岩手ふるさと 農協和牛改良 組合	水沢市
西田 清	いわての種牛づくり	15.12.10	新岩手和牛改 良組合	西根町
西田 清	いわての種牛づくり	16. 1.28	農業研究センター	宮古市
西田 清	いわての種牛づくり	16. 2. 3	いわて中央和 牛育種組合	花巻市
西田 清	種雄牛紹介	16. 3.11	畜産協会	盛岡市
西田 清	現場後代検定牛の超音波肉質測定	15. 8.26	畜産協会	江刺市
西田 清	現場後代検定牛の超音波肉質測定	15.12.25	畜産協会	胆江地区
西田 清	現場後代検定牛の超音波肉質測定	16. 1.14	畜産協会	両磐地区

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>東北農業研究所</b>				
営農技術				
高橋 昭喜	雑穀大規模モデル実証試験検討会	15.10.3	農産園芸課	軽米町
高橋 昭喜	雑穀フォーラム	15.10.16	二戸地方振興局	二戸市
桐山 直盛	いわて純情野菜技術向上セミナー	16.1.30	農産園芸課	サケル盛岡
高橋 昭喜	ナガイモ栽培講習会	16.3.18	JA 新いわて	松尾村
産地育成				
佐藤 美和子	現地ふれあい農研センター（遠野地区）	15.6.24	遠野地方振興局	JA 遠野地方
藤井 伸行	二戸管内試験研究成果伝達研修会	16.1.30	二戸農業改良普及センター	二戸パルクホテル
やませ利用				
長谷川 聡	岩手県における雑穀試験研究の取組	15.5.12	ASAC	盛岡市 ホル山王
長谷川 聡	雑穀栽培法について	15.7.16	岩泉地域普及所	岩泉町 道の駅岩泉
長谷川 聡	岩手県における雑穀栽培の歩みと最近の動き	15.9.5	アマランス・キア研究会	東京 昭和女子大
長谷川 聡	ひえの無農薬水田移植栽培技術	15.8.22	雑穀研究会	大迫町
藤田 智美	岩手県におけるダットンソバの栽培研究の取組と栽培事例	16.2.21	ソバ研究会	つくば市 イカつくば

### 3 視察者、見学者の受け入れ状況(平成 15 年 4 月～平成 16 年 3 月)

区 分	公式来所者数	非公式来所者数	合 計	備 考
本 部	2,709 人	7,925 人	10,634 人	<b>【特記事項】</b> 平成 15 年 7 月 24 日に秋篠宮ご夫妻が本部をご視察された。  <b>【その他】</b> 非公式来所者数には、春季一般公開及び参観デー来所者を含む。
畜産研究所	1,852 人	1,673 人	3,525 人	
県北農業研究所	459 人	715 人	1,174 人	
計	5,020 人	10,313 人	15,333 人	

### 4 春季一般公開及び参観デー

名 称	開 催 期 日	開 催 場 所	参 集 人 員
農業研究センター 春季一般公開	15. 4. 14～18	農業研究センター	243名
”	15. 4. 14～18	畜産研究所	60名
”	15. 4. 14～18	県北農業研究所	13名
”	15. 4. 15～20	農業ふれあい公園「農業科学博物館」	62名
農業研究センター 参観デー	15. 9. 6～7	農業研究センター	8,000名
”	15. 8. 22～24	畜産研究所	1,573名
”	15. 9. 5～6	県北農業研究所	600名

### 5 現地ふれあい農業研究センター

開催期日	開 催 場 所	主 な 内 容	参集人員
15. 6. 24	JAとおの 野菜集出荷センター	ほうれんそうの夏期安定生産と省力化技術	58名
16. 1. 28	ホテル近江屋	宮古地方における黒毛和種子牛生産技術の向上	155名

### 6 一日子供農業研究員

名 称	開 催 期 日	内 容	参集人員
一日子供農業研究員 ～夏休み 蚕の研究～	15. 8. 1	小学5年生を対象とした蚕の研究 (蚕の観察、飼育体験)	22名
一日子供農業研究員 ～冬休み 繭と生糸の研究～	16. 1. 9	小学5年生を対象とした繭と生糸の研究 (繭からの繰糸、繭細工)	28名

### 7 加工体験

項 目	人 数(件 数)
加工実習	208人 (17件)
特産品試作	225人 (29件)
合 計	433人 (46件)

## 8 研修生の受け入れ

### (1) 海外研修員

氏名	所属	研修目的	受入れ部所 (研究室)	期間
【JICA 研修員】 アランカ・コーマニー (Ms.Aranka KORMANY)	ハンガリー チョンラト県病害防除所	農作物病害虫の総合的防除技術に関する研究	病害虫部 (病理昆虫研究室)	15. 5. 7 ~ 15. 7. 11

### (2) 短期研修生

氏名	所属	研修目的	受入れ部所 (研究室)	期間
佐々木 撰 及川 勇幸 和山 敬一	岩手中部農業共済組合 胆江地域農業共済組合 岩手県農業共済組合連合会	水稻の栽培技術研修 " "	農産部 (水田作研究室)	15. 5. 13 ~ 11. 13 (実 15 日間)
民部田 和幸 斎藤 斉 菊池 俊二 千葉 義行 武田 光清	盛岡地域農業共済組合 岩手中部農業共済組合 胆江地域農業共済組合 磐井農業共済組合 岩手県農業共済組合連合会	果樹の栽培技術研修 " " " "	園芸畑作部 (果樹研究室)	15. 5. 20 ~ 16. 1. 15 (実 12 日間)
菊池 貴	岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科	土壌中物質移動シミュレーション適用の有用分野及び問題点の調査	生産環境部 (環境保全研究室)	15. 9. 11 ~ 9. 30 (実 15 日間)

### (3) 改良普及員

氏名	所属	研修目的	受入れ部所 (研究室)	期間
和野 重美 工藤 佳徳 吉田 正博	盛岡農業改良普及センター 盛岡農業改良普及センター 盛岡農業改良普及センター 岩手地域普及所	小麦赤かび病対策(発生生態と防除、見分け方、ELISA 法による簡易分析): 講義と実習	園芸畑作部 (野菜畑作) 病害虫部 (病害虫防除課) (病理昆虫)	15. 5. 29-30 " "
大友 英嗣	盛岡農業改良普及センター 岩手地域普及所			
菅野 史拓 渡邊 麻由子 澤口 拓哉 菅原 浩視 小田中 浩哉 小綿 寿志 三熊 有孝 吉田 純子 根子 善照 永富 巨人 福土 敬子 中西 商量	花巻農業改良普及センター 北上農業改良普及センター 水沢農業改良普及センター 水沢農業改良普及センター 水沢農業改良普及センター 一関農業改良普及センター 千厩農業改良普及センター 遠野農業改良普及センター 遠野農業改良普及センター 宮古農業改良普及センター 宮古農業改良普及センター 宮古農業改良普及センター 岩泉地域普及所			
畠山 陽子 扇良 明 早坂 考広 小原 公則 伊藤 美穂	久慈農業改良普及センター 久慈農業改良普及センター 二戸農業改良普及センター 二戸農業改良普及センター 二戸農業改良普及センター 軽米地域普及所			
穴戸 貴洋	二戸農業改良普及センター 軽米地域普及所			

氏名	所属	研修目的	受入れ部所 (研究室)	期間
横田 啓 佐藤 由美子 阿部 敦	水沢農業改良普及センター 千厩農業改良普及センター 大船渡農業改良普及センター	専門技術研修(作物)	農産部	15. 6.12,17
		水稲生育調査法	(水田作)	
		施肥管理法	生産環境部	15. 6.17
			(土壌作物栄養)	
		畑作物生育調査法	園芸畑作部	15. 6.19-20
			(野菜畑作)	
		専門技術研修(作物)	園芸畑作部	15.11.10
		麦・大豆品質調査法	(野菜畑作)	
		米品質・食味調査法	農産部	15.11.11
		米成分分析法	(水田作)	15.11.12
トウモロコシと遺伝子組み換え の安全性評価	(水稻育種)	15.11.13		
農業・農村整備の現状と課題 / 農業機械の基礎と応用	(応用生物)	15.11.14		
作物生産における経営指標の とらえ方	(生産工学)	15.11.14		
土屋 淑子	千厩農業改良普及センター	専門技術研修(果樹)1期	企画経営情報部	15.11.14
			(農業経営)	
		専門技術研修(果樹)1期	園芸畑作部	15. 6.17-25
			(果樹)	
専門技術研修(果樹)2期	病害虫部	"		
	(病理昆虫)	"		
	(病害虫防除課)	"		
専門技術研修(果樹)2期	園芸畑作部	15.10.15-11.22		
	(果樹)			
専門技術研修(果樹)3期	園芸畑作部	15.11.26-12. 3		
	(果樹)			
専門技術研修(果樹)4期	園芸畑作部	16. 2. 8-25		
	(果樹)			
羽田 厚 畠山 隆幸 小野寺 理 小田島 裕	盛岡農業改良普及センター 北上農業改良普及センター 遠野農業改良普及センター 宮古農業改良普及センター 岩泉地域普及所	専門技術研修 期	園芸畑作部	15. 5.26- 6. 4
			(野菜畑作)	
		専門技術研修 期	園芸畑作部	15. 6.23-27
			(野菜畑作)	
		専門技術研修 期	病害虫部	"
	(病理昆虫)	"		
専門技術研修 期	県北研究所	15. 7.29- 8. 7		
	(産地育成)	"		
	(営農技術)	"		
	(やませ利用)	"		
専門技術研修 期	園芸畑作部	15. 9. 9-11		
	(南部園芸)			

氏名	所属	研修目的	受入れ部所 (研究室)	期間
齋藤 浩和 村田 就治 佐々木 直	宮古農業改良普及センター- 久慈農業改良普及センター- 二戸農業改良普及センター- 軽米地域普及所	専門技術研修 期	畜産研究所 (飼料生産) (外山畜産) (家畜育種) (家畜工学)	15. 7.29- 8. 8 " " "
		専門技術研修 期	畜産研究所 (飼料生産) (家畜飼養) (種山畜産)	15. 9.30-10. 9 " "
佐々木 真人 長崎 優子 多田 典穂 高田 真	盛岡農業改良普及センター- 水沢農業改良普及センター- 千厩農業改良普及センター- 宮古農業改良普及センター- 岩泉地域普及所	技術向上研修 (果樹：りんごコ-ス)1期	園芸畑作部 (果樹)	15. 6.26-27
阿部 将久 吉田 昌史	久慈農業改良普及センター- 二戸農業改良普及センター-	技術向上研修 (果樹：りんごコ-ス)2期	園芸畑作部 (果樹)	15.10.29-30
石川 勝規 名久井 一樹 江成 京子 高橋 司 昆 悦朗 稲森 幹幸	盛岡農業改良普及センター- 花巻農業改良普及センター- 花巻農業改良普及センター- 宮古農業改良普及センター- 久慈農業改良普及センター- 二戸農業改良普及センター-	技術向上研修 (果樹：ぶどうコ-ス)1期	園芸畑作部 (果樹) 病害虫部 (病害虫防除課)	15. 6.10-11 "
		技術向上研修 (果樹：ぶどうコ-ス)2期	園芸畑作部 (果樹) 病害虫部 (病理昆虫)	15. 9. 9-10 "
桑原 政之 村上 和史 外館 光一 高橋 史絵 小原 善一 高橋 寿夫 五日市 由美 馬場 剛 菊池 真奈美 大野 浩 田替 美佳 藤尾 拓也	盛岡農業改良普及センター- 花巻農業改良普及センター- 北上農業改良普及センター- 水沢農業改良普及センター- 一関農業改良普及センター- 千厩農業改良普及センター- 大船渡農業改良普及センター- 大船渡農業改良普及センター- 遠野農業改良普及センター- 釜石農業改良普及センター- 宮古農業改良普及センター- 宮古農業改良普及センター- 岩泉地域普及所	技術向上研修	園芸畑作部 (野菜畑作) 農産部 (応用生物工学) 病害虫部 (病理昆虫) (病害虫防除課)	15. 7.23-25 " " "
菅原 聡 松本 景子 阿部 亜希子 高橋 拓也	久慈農業改良普及センター- 二戸農業改良普及センター- 二戸農業改良普及センター- 二戸農業改良普及センター- 軽米地域普及所			

氏名	所属	研修目的	受入れ部所 (研究室)	期間
石川 勝規 井口 歩美 名久井 一樹 江成 京子 小田 豊 阿部 洋 長崎 優子 川守田 真紀 土屋 淑子 高橋 司 高田 真 阿部 将久 稲森 幹幸 吉田 昌史	盛岡農業改良普及センター- 盛岡農業改良普及センター- 岩手地域普及所 花巻農業改良普及センター- 花巻農業改良普及センター- 北上農業改良普及センター- 水沢農業改良普及センター- 水沢農業改良普及センター- 一関農業改良普及センター- 千厩農業改良普及センター- 宮古農業改良普及センター- 宮古農業改良普及センター- 岩泉地域普及所 久慈農業改良普及センター- 二戸農業改良普及センター- 二戸農業改良普及センター-	せん定研修 (新技術普及指導検討会)	園芸畑作部 (果樹)	16. 1.20-21
羽田 厚 桑原 政之 畠山 耕一 作山 勉 畠山 隆幸 高橋 史絵 菊池 真奈美 松浦 貞彦 小野寺 理 五日市 由美 大野 浩 吉田 泰 田替 美佳 小田島 裕 佐藤 喬 菅原 聡 阿部 亜希子 高橋 拓也	盛岡農業改良普及センター- 盛岡農業改良普及センター- 盛岡農業改良普及センター- 岩手地域普及所 花巻農業改良普及センター- 北上農業改良普及センター- 水沢農業改良普及センター- 遠野農業改良普及センター- 遠野農業改良普及センター- 遠野農業改良普及センター- 大船渡農業改良普及センター- 釜石農業改良普及センター- 宮古農業改良普及センター- 宮古農業改良普及センター- 宮古農業改良普及センター- 岩泉地域普及所 久慈農業改良普及センター- 久慈農業改良普及センター- 二戸農業改良普及センター- 二戸農業改良普及センター- 軽米地域普及所	ほうれんそう硝酸含量分析 研修	生産環境部 (保鮮流通) (土壌作物栄養) 県北研究所 (産地育成)	15. 8.27 " "
佐々木 満 羽田 厚 深澤 明子 小原 善一 高橋 寿夫 五日市 由美	盛岡農業改良普及センター- 盛岡農業改良普及センター- 水沢農業改良普及センター- 一関農業改良普及センター- 千厩農業改良普及センター- 大船渡農業改良普及センター-	隔離式養液栽培システム現地 研修会	園芸畑作部 (南部園芸)	16. 3.29-30

## (4)体験学習の受け入れ

小中学校及び高等学校等の「総合的な学習の時間」等に対応したもの

氏名	所属	研修内容	受入れ部所 (研究室)	期間
生徒 6名 引率 教諭 1名	筑波大学付属駒場中学校 3学年	県のオリジナル品種「きおう」 について	園芸畑作部	15. 5.21
生徒 83名 引率 教諭 6名	花巻市立宮野目中学校 3学年	水稻栽培とほ場見学、及び農業 科学博物館見学	農産部 総務部	15. 7. 3
生徒 1名	花巻市立南城中学校 2学年	ぶどう栽培について	園芸畑作部	15. 7.30
児童 38名 引率 教諭 1名	花巻市湯口小学校 5学年	米づくりについて	農産部	15.11. 7
生徒 14名 引率 教諭 3名	岩手県立水沢高等学校 1学年	昆虫観察と食品分析	病害虫部 生産環境部	15.11. 7
児童 18名 引率 教諭 2名	北上市立岩崎小学校 5学年	施設見学（農業研究センター、 農業科学博物館）	企画経営情報部 総務部	15.11.13
生徒 33名 引率 教諭 7名	岩手県立盛岡農業高等学 校 1, 2学年	水稻ロングマット、SDS抽出 法、アグリベンチャーネットに ついて	企画経営情報部 農産部 生産環境部	16. 2.23 16. 2.25



9 協議会、委員会等委員

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
東北地域直播推進会議	幹事	農産部長	東北農政局農産普及課
東北地域水稲安定生産推進連絡協議会	委員	農産部長	東北農政局農産普及課
東北地域水稲安定生産推進連絡協議会ワーキンググループ	グループ員	水田作研究室長	東北農政局農産普及課
日本農業経営学会	理事	農業経営研究室長	(独)中央農業総合研究センター
東北農業試験研究協議会	理事	所長	(独)東北農業研究センター
東北農業試験研究推進会議評価企画会議	専門委員	首席専門技術員	(独)東北農業研究センター
東北農業試験研究会議畑作部会	代表場所長	所長	(独)東北農業研究センター
東北農村生活研究会	理事	農業経営研究室長	(独)東北農業研究センター
東日本家畜受精卵移植技術研究会	理事	家畜工学研究室長	(独)畜産草地研究所
肉用牛広域後代検定評価技術検討会	委員 委員	種山畜産研究室 上席専門研究員	(独)畜産改良センター
岩手農林研究協議会（A F R）	副会長 委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員	所長 企画経営情報部長 農産部長 園芸畑作部長 生産環境部長 病害虫部長 畜産研究所長 県北農業研究所長	岩手大学農学部
岩手農林研究協議会（A F R）幹事会	幹事 幹事	企画経営情報部長 農産部長	岩手大学農学部
東北草地研究会	幹事	飼料生産研究室長	東北大学農学部
東北農業経済学会	理事	農業経営研究室長	東北大学農学部
岩手県研究開発推進連絡会議	委員	所長	科学技術課
いわて農業・農村表彰事業審査委員会	審査委員	所長	農林水産企画室
岩手県バイオテクノロジー研究調整会議	委員	所長	農林水産企画室
岩手県農業共済保険審査委員会	委員 委員	所長 農産部長	団体指導課

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
花の国づくり岩手県協議会	会員	園芸畑作部長	流通課
いわて純情米需要拡大推進協議会	幹事	農産部長	流通課
農業振興地域整備促進連絡会議	構成員	所長	農業振興課
岩手県農業気象協議会	委員 委員 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	企画経営情報部長 首席専門技術員 水田作研究室長 果樹研究室長 環境保全研究室長 飼料生産研究室長 やませ利用研究室長 専門技術員	農業普及技術課
岩手県農業農村指導士選考委員会	委員	所長	農業普及技術課
高度土づくり技術確立推進協議会	構成員 構成員	土壌作物栄養研究室長 営農技術研究室長	農業普及技術課
岩手県農薬管理士認定委員会	委員	環境保全研究室長	農業普及技術課
土地改良事業営農推進対策委員会	副委員長 委員 委員 委員 中央幹事	副所長 園芸畑作部長 首席専門技術員 県北農業研究所長 飼料生産研究室長	農村計画課
岩手県農業農村整備事業地区担い手育成協議会	委員	水田作研究室長	農村建設課
岩手県花き産地づくりコンクール	審査委員長 審査委員 審査委員 審査委員	園芸畑作部長 農業経営研究室長 花き研究室長 専門技術員	農産園芸課
岩手県奨励品種等審査委員会幹事会	幹事 幹事 幹事 幹事	首席専門技術員 農産部長 園芸畑作部長 県北農業研究所長	農産園芸課
岩手県主要農作物奨励品種審査委員会	委員	所長	農産園芸課
岩手県主要農作物奨励品種審査委員会幹事会	幹事	農産部長	農産園芸課
岩手県特産農産物生産振興共進会	審査委員長 審査委員 審査委員 審査委員	県北農業研究所長 農業経営研究室長 野菜畑作研究室長 やませ利用研究室長	農産園芸課

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手県農業機械士認定委員会	委員	農産部長	農産園芸課
岩手県農作業安全対策協議会	委員 委員	副所長 畜産研究所長	農産園芸課
岩手県農作業安全対策協議会	幹事 幹事	生産工学研究室長 飼料生産研究室長	農産園芸課
岩手県ふるさと食品コンクール	審査員	生産環境部長	農産園芸課
岩手県果樹産地づくりコンクール	審査委員長 審査委員 審査委員	園芸畑作部長 農業経営研究室長 果樹研究室長	農産園芸課
岩手純情野菜産地力強化共励会審査委員会	審査委員 審査委員 審査委員	野菜畑作室長 産地育成研究室長 専門技術員	農産園芸課
岩手県麦・大豆等産地体制確立推進協議会	委員 委員 委員	園芸畑作部長 首席専門技術員 県北農業研究所長	農産園芸課
同上 麦部会	部会長	首席専門技術員	
同上 大豆部会	部会長	園芸畑作部長	
いわて純情園芸産地づくり推進協議会	委員	所長	農産園芸課
いわて和牛育種改良推進事業県協議会	委員 委員	家畜育種研究室長 種山畜産研究室長	畜産課
畜産環境整備事業農機具導入委員会	委員	飼料生産研究室長	畜産課
岩手県畜産技術協会	世話人	畜産研究所長	畜産課
家畜改良増殖推進協議会	副委員長 委員	畜産研究所長 畜産研究所次長	畜産課
家畜導入事業資金供給事業県協議会	委員	家畜育種研究室長	畜産課
岩手県飼料増産推進協議会	委員 委員 委員	水田作研究室長 飼料作物研究室長 専門技術員	畜産課
北上地区行政連絡会議	構成員	副所長	北上地方振興局農政部
大船渡地方農業振興協議会	幹事	南部園芸研究室長	大船渡地方振興局農林部

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
大船渡地区行政事務連絡協議会	構成員	南部園芸研究室長	大船渡地方振興局農林部
気仙地域農林水産行政推進会議	構成員	南部園芸研究室長	大船渡地方振興局農林部
久慈地方農業農村活性化推進協議会	構成員 幹事 専門部会幹事	県北農業研究所長 県北農業研究所次長 県北農業研究所次長	久慈地方振興局農政部
土地改良事業営農対策推進委員会久慈地方幹事会	幹事 幹事	やませ利用研究室長 専門技術員	久慈農業改良普及センター
岩手県農作物等気象災害防止対策二戸地方支部	委員 幹事	県北農業研究所長 県北農業研究所次長	二戸地方振興局農政部
二戸地方農業振興協議会	構成員 幹事 園芸リソ部会幹事	県北農業研究所長 県北農業研究所次長 産地育成研究室長	二戸地方振興局農政部
奥中山地域液状コンポスト利用実証展示検討委員会	委員 委員	飼料生産研究室長 営農技術研究室長	二戸地方振興局農政部
二戸地方農林水産業振興会議	委員 幹事	県北農業研究所長 県北農業研究所次長	二戸地方振興局農政部
二戸地方農林行政連絡会議	構成員 構成員	県北農業研究所長 県北農業研究所次長	二戸地方振興局農政部
二戸地方エコファーマー認定委員会	委員	県北農業研究所次長	二戸地方振興局農政部
カシオペア連邦雑穀生産振興・流通対策協議会	構成員	県北農業研究所長 やませ利用研究室	二戸地方振興局農政部
カシオペア連邦特徴ある米生産流通推進協議会	委員	県北農業研究所長	二戸地方振興局農政部
馬淵川沿岸地区営農改善対策調査委員会	委員 委員	営農技術研究室長 専門技術員	二戸農業改良普及センター
二戸地方土地改良事業営農推進対策委員会	委員 委員	県北農業研究所次長 専門技術員	二戸農業改良普及センター
岩手県農業機械士技能検定	技能検定員（委嘱）	高橋 修 大里 達朗 阿部 節男 大志田 建男 藤井 智克	農業大学校
北上市みどりのまちづくり審査会	審査員	園芸畑作部長	北上市
江刺市環境保全型農業総合推進協議会	委員 委員	果樹病害担当研究員 果樹害虫担当研究員	病理昆虫研究室

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
陸前高田市総合農政推進協議会	委員	南部園芸研究室長	陸前高田市
陸前高田市経営・生産対策推進会議	委員	南部園芸研究室長	陸前高田市
住田町農業振興協議会	構成員	南部園芸研究室長	住田町
八戸平原地域対策協議会	委員 営農推進部会員	東北農業研究所長 産地育成研究室長	三戸農林水産事務所
国営八戸平原総合農地開発事業軽米地区畑地かんがい実証展示圃運営委員会	委員 幹事	東北農業研究所長 東北農業研究所次長	軽米町
軽米町農業振興地域整備促進協議会	委員	東北農業研究所長	軽米町
軽米町総合農政推進協議会	委員 幹事	東北農業研究所長 東北農業研究所次長	軽米町
軽米町農作物気象災害防止対策本部	委員 幹事	東北農業研究所長 やませ利用研究室長	軽米町
軽米町新需要穀類種子生産振興協議会	幹事	やませ利用研究室長	軽米町
軽米町産業祭実行委員会	委員 幹事	東北農業研究所長 東北農業研究所次長	軽米町
九戸村農林業振興対策会議 園芸振興支援センター 新規就農者支援対策事業審議会 農林業技術者連絡会議 農業経営改善支援センター	委員 委員 委員 運営委員 構成員	東北農業研究所長 東北農業研究所長 東北農業研究所次長 東北農業研究所次長 東北農業研究所次長	九戸村
九戸村農作物異常気象災害対策本部	委員 幹事	東北農業研究所長 やませ利用研究室長	九戸村
玉山村村営牧野運営委員会	委員	外山畜産研究室長	玉山村
岩手県施肥合理化協議会	参与 参与 参与 事業幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	副所長 畜産研究所長 首席専門技術員 水田作研究室長 果樹研究室長 野菜畑作研究室長 土壌作物栄養研究室長 飼料生産研究室長 営農技術研究室長	全農岩手
岩手県乳質改善協議会	委員	畜産研究所長	全農岩手

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
いわて純情米産地体質強化推進協議会	幹事 幹事	農産部長 首席専門技術員	全農岩手
いわて純情米良質・良食味生産コンクール	審査委員長	農産部長	全農岩手
酪農経営研究会	審査委員	畜産研究所長	全農岩手
和牛改良専門委員会	委員 委員 委員	家畜育種研究室長 種山畜産研究室長 " 上席専門研究員	全農岩手
J A岩手県教育審議会	委員	所長	岩手県農業協同組合中央会
日本農業賞岩手県代表審査委員	委員長	所長	岩手県農業協同組合中央会
岩手県農業共済組合連合会損害評価会 (果 樹) (農作物・水稲) (畑作物) (園芸施設) ( " ) (蚕 繭) (任 意)	部会長 委員 委員 委員 委員 委員 委員	果樹研究室長 水田作研究室長 野菜畑作研究室長 花き研究室長 南部園芸研究室長 病理昆虫研究室長 生産工学研究室長	NOSA I岩手
農業共済地域対応強化対策協議会地域集団引受 推進専門部会	委員 委員 委員	水田作研究室長 果樹研究室長 病理昆虫研究室長	NOSA I岩手
水田大豆加入推進協議会	委員	野菜畑作研究室長	NOSA I岩手
北上市小菊生産振興協議会	構成員 推進専門班構成員	花き研究室長 専門研究員	J A北上市、J A和賀中央、 北上農業改良普及センター
岩手県牛乳普及協会	行事開催実行委員	家畜飼養研究室長	牛乳普及協会
食品産業機能高度化実践事業実行委員会	実行委員	保鮮流通技術研究室長	岩手県こんにゃく組合
ミルクシステム診断事業推進委員会	委員 委員	家畜飼養研究室長 専門技術員	岩手県乳質改善協議会
いわてフラワーコンテスト2003	審査委員長 審査委員	園芸畑作室長 花き研究室長	花の国づくり岩手県協議会
いわて農林水産表彰事業審査委員会	審査委員	所長	いわて農林水産振興協議会
岩手県経営構造対策推進委員会	委員 構成員	副所長 農業経営研究室長	岩手県農業会議

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手県グリーン・ツーリズム推進協議会	幹事 幹事	農業経営研究室長 専門技術員	岩手県農業会議
農林統計協会二戸支部	会員	県北農業研究所次長	岩手農林統計情報事務所 二戸出張所
東北畜産学会	評議員 評議員	畜産研究所長 畜産研究所次長	東北畜産学会
東北畜産学会学会賞候補者選考委員会	選考委員	畜産研究所長	東北畜産学会
土壌保全調査事業全国協議会	幹事	土壌作物栄養研究室長	日本土壌協会
岩手県植物防疫協会	運営幹事 運営幹事 事業幹事 事業幹事 事業幹事 事業幹事 事業幹事 事業幹事 事業幹事	病害虫部長 農産部長 水田作研究室長 果樹研究室長 野菜畑作研究室長 病理昆虫研究室長 飼料生産研究室長 首席専門技術員 専門技術員	植物防疫協会
日本植物調節剤研究協会東北支部	委員	水田作研究室長	日本植物調節剤研究協会 東北支部
岩手県農産物改良種苗センター種子価格設定委員会	委員 委員	水田作研究室長 野菜畑作研究室長	農産物改良種苗センター
高性能畜産機械等普及促進協議会	委員	飼料生産研究室長	新農業機械実用促進株
岩手県畜産会	理事幹事 非常勤コンサルタント	畜産研究所長 家畜飼養研究室長 家畜工学研究室長 専門技術員	(社)岩手県畜産会
全国和牛登録協会産内能力検定委員会	参与 参与	畜産研究所長 種山畜産研究室長	(社)全国和牛登録協会
全国和牛登録協会県支部評議委員会	委員	畜産研究所長	(社)全国和牛登録協会
直接検定に関わる検討委員会	委員 委員	種山畜産研究室 上席専門研究員	(社)全国和牛登録協会
肉用子牛生産者補給金制度岩手県種別判定委員会	委員	家畜飼養研究室長	(社)岩手県農畜産物価格 安定基金協会
馬淵川沿岸地区畑地かんがい水質検討委員会	委員	生産環境部長	(社)畑地農業振興会

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
用排水・ほ場整備基礎諸元調査検討委員会	委員	生産工学研究室長	(社)畑地農業振興会
二戸地域雑穀産地形成推進協議会	委員	やませ利用研究室長	(社)カシオペア連邦アグロ振興協議会
革新的農業廃液処理技術検討会	委員	生産環境部長	(財)残留農薬研究所
(財)岩手生物工学研究センター評議員会	評議員	所長	(財)岩手生物工学研究センター
(財)岩手生物工学研究センター中核研究員選考委員会	委員	所長	(財)岩手生物工学研究センター
(財)岩手生物工学研究センター研究推進委員会	委員	所長	(財)岩手生物工学研究センター
産学官連携技術開発中央支援事業「食品の安全な保蔵と流通技術」部会	委員	保鮮流通技術研究室長	(財)食品産業センター
新需要穀類生産・流通体制確立推進協議会 産地・実需者等連携強化支援委員会	委員	やませ利用研究室長	(財)農産業振興奨励会



## VI 職員研修



### 1 大学院派遣

職・氏名	所属部所・研究室	研究内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 濱戸 もえぎ	畜産研究所 飼料生産研究室	環境負荷軽減のための地力評価に基づく施肥法の確立	岩手大学大学院 連合農学研究所	平成 15 年度 ~ 平成 17 年度

### 2 海外派遣・研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容等	派遣先	派遣期間
専門技術員 佐藤 正昭	企画経営情報部 専門技術員室	スローフード・環境保全型農業およびヨーロッパ型普及事業について	イタリア、スイス、 フランス	15. 9.27 ~15.10.13

### 3 国内研修への派遣

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 仲條 真介	農産部 水稻育種研究室	依頼研究員 米の品質・加工適性に関わる物質の同定と遺伝的制御機構の解明	独立行政法人 農業・生物系特定産 業技術研究機構 作物研究所	15. 9. 1 ~15.11.28
専門研究員 小田島 ルミ子	生産環境部 土壌作物栄養 研究室	依頼研究員 有機物施用が野菜の体内硝酸濃度に及ぼす影響	独立行政法人 農業環境技術研究所	15. 9. 1 ~15.11.28
技 師 細川 健	病害虫部 病害虫防除課	依頼研究員 ピーマンの PMMoV の土壌中におけるモニタリングとその結果に基づく臭化メチルによらない防除技術の体系化	独立行政法人 農業・生物系特定産 業技術研究機構 中央農業総合研究セ ンター	15. 9.16 ~15.12.12
専門研究員 平久保 友美	畜産研究所 飼料生産研究室	依頼研究員 飼料畑における雑草抑制方法の検討	独立行政法人 農業技術研究機構 畜産草地研究所	15. 5.19 ~15. 8.22
専門研究員 高畑 博志	畜産研究所 種山畜産研究室	依頼研究員 黒毛和種の産肉能力等の遺伝的特性把握と効率的選抜方法の検討	独立行政法人 農業技術研究機構 畜産草地研究所	15. 5.12 ~15. 8. 8
専門研究員 桐山 直盛	東北農業研究所 営農技術研究室	依頼研究員 レタス腐敗性病害の発病実態解析 レタス腐敗病菌検出手法の開発	独立行政法人 農業・生物系特定産 業技術研究機構 野菜茶業研究所	15.10. 1 ~15.12.26
技 師 白井 智彦	農産部 水田作研究室	独立行政法人農業技術研究機構 短期集合研修 農林水産試験研究のための統計的手法 (基礎編)	独立行政法人 農業・生物系特定産 業技術研究機構	15.10.20 ~15.10.24
技 師 浅川 知則	園芸畑作部 果樹研究室	"	"	"
専門研究員 前山 薫	企画経営情報部 農業経営研究室	独立行政法人農業技術研究機構 短期集合研修 農林水産試験研究のための統計的手法 (応用編)	独立行政法人 農業・生物系特定産 業技術研究機構	15.10.27 ~15.10.31
技 師 浅川 知則	園芸畑作部 果樹研究室	"	"	"

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 吉田 登	畜産研究所 家畜育種研究室	独立行政法人農業技術研究機構 短期集合研修 農林水産試験研究のための統計的手法 (応用編)	独立行政法人 農業・生物系特定産 業技術研究機構	15.10.27 ~15.10.31
主任専門研究員 加藤 満康	企画経営情報部 農業経営研究室	独立行政法人農業技術研究機構 短期集合研修 農業生産における技術と経営の評価方法	独立行政法人 農業環境技術研究所 (主催)	15. 7. 7 ~15. 7.11
主任専門研究員 阿部 哲哉	企画経営情報部 農業経営研究室	〃	〃	〃
主任専門研究員 大里 達朗	農産部 生産工学研究室	農業中核研究員養成研修 独立行政法人と都道府県との連携について 都道府県における競争的資金の確保について	農林水産技術会議	15.11.26 ~15.11.28
主任専門研究員 西田 清	畜産研究所 種山畜産研究室	〃	〃	〃
専門研究員 尾形 茂	農産部 水田作研究室	雑草生態及び除草剤試験に関する研修会	独立行政法人 農業技術研究機構 中央農業総合研究セン ター	15. 8.27 ~15. 8.28
主任専門研究員 大志田 建男	農産部 生産工学研究室	〃	〃	〃
専門研究員 河田 道子	園芸畑作部 果樹研究室	〃	〃	〃
技 師 高橋 大輔	園芸畑作部 野菜畑作研究室	〃	〃	〃
専門研究員 桐山 直盛	県北農業研究所 営農技術研究室	〃	〃	〃
主任専門研究員 長谷川 聡	県北農業研究所 やませ利用 研究室	ヒエデンブン分析技術講習	独立行政法人 農業・生物系特定産 業技術研究機構 作物研究所	15.11.10 ~15.11.14
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画経営情報部 企画情報室	地域情報化人材育成塾	東北総合通信局 岩手県 他(主催)	15.10.22 ~15.10.23
主任専門研究員 阿部 哲哉	企画経営情報部 農業経営研究室	試験研究機関研究員研修 県試験研究の概要、役割・仕組み、 公設試験研究員の在り方 等	地域振興部 科学技術課(主催)	15. 7.31
専門研究員 前山 薫	企画経営情報部 農業経営研究室	〃	〃	〃
主任専門研究員 竹澤 利和	農産部 応用生物学 研究室	〃	〃	〃
主任専門研究員 川村 浩美	園芸畑作部 花き研究室	〃	〃	〃
専門研究員 千田 裕	園芸畑作部 南部園芸研究室	〃	〃	〃

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 松木田 裕子	畜産研究所 家畜飼養研究室	試験研究機関研究員研修 県試験研究の概要、役割・仕組み、 公設試験研究員の在り方 等	地域振興部 科学技術課（主催）	15. 7.31
主任専門研究員 茂呂 勇悦	畜産研究所 家畜飼養研究室	”	”	”
技 師 田代 勇樹	企画経営情報部 農業経営研究室	改良普及員新任者研修 普及事業の原理について 普及方法の展開方法について 等	農林水産部 農業普及技術課 （主催）	15. 5.19 ～15. 5.20
技 師 藤井 智克	農産部 生産工学研究室	”	”	”

4 所内セミナー等

名 称	開催期日	内 容	参集人員
〔本 部〕 公開セミナー	15. 4.18	「どう取り組む、環境保全型農業」 基調講演 「環境保全型農業の最近の動向と秋田県大潟村における実践事例」 佐藤 了（秋田県立大学生物資源科学部 教授） 研究紹介 1 「有機循環における堆肥の役割」 小野 剛志（生産環境部 土壌作物栄養研究室長） 研究紹介 2 「病害虫防除技術の開発状況」 鈴木 敏男（病害虫部 病理昆虫研究室長）	120名
	15. 4.18	「研究成果発表会」 1 中山間地域における特産品づくりのキー・ポイント 菅原 豊司（企画経営情報部 農業経営研究室 主任専門研究員） 2 ドレンレイヤー工法による暗渠排水技術 大志田 建男（農産部 生産工学研究室 主任専門研究員） 3 品種りんご 9月下旬に成熟する省力的な黄色品種「岩手6号」 奥平 麻里子（園芸畑作部 果樹研究室 専門研究員） 4 岩手県の防除体系における米の農薬残留 -安全・安心な岩手県産米- 築地 邦晃（生産環境部 環境保全研究室 室長） 5 露地きゅうりにおける環境保全型病害防除 勝部 和則（病害虫部 病理昆虫研究室 主任専門研究員） 6 黒毛和種去勢牛における尿道結石症の陰囊前方切開による外科的治療法 吉川 恵郷（畜産研究所 家畜工学研究室 室長） 7 ひえの乾燥・調製技術 高橋 昭喜（県北農業研究所営農技術研究室 主任専門研究員）	100名
技術セミナー	15. 9. 6 ～ 15. 9. 7	「豊かないわての食材と技」 【食の匠実演】 ・ずいき井：高橋 節（北上市） ・きりせんしょ：瀬川アエ子（盛岡市） ・祭り寿司：平野一子（東和町）	320名
	15. 9. 6	【加工工房オープンセミナー】 「専門の菓子職人による菓子類の製品開発のノウハウを学ぶ」 小野寺 舜二（まつばや 和菓子一級職人）	23名
	15.11.27	「農林水産試験研究における公募競争型研究制度ワークショップ」 講演 1 「農林水産省における公募競争型研究制度」 岡崎 誠司（社団法人農林水産技術情報協会 研究開発部長）	70名

名 称	開催期日	内 容	参集人員
技術セミナー	15.11.27	講演 2 「先端技術を活用した農林水産研究高度化事業の地方領域設定型研究」 上原 泰樹（独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構 東北農業研究センター 企画調整部連絡調整室長） 先進事例報告 1 「岩手県林業技術センターにおける取組事例」 西村 和明（岩手県林業技術センター 副所長兼企画指導部長） 先進事例報告 2 「愛知県における取組事例」 渡辺 芳幸（企画経営情報部 企画情報室 上席専門研究員）	70名
	16. 2.27	「斑点米カメムシ防除研究会」 基調講演 「新しい作用性の斑点米カメムシ防除薬剤の開発～その苦労話」 桐谷 幸生（三井化学 機能化学品部 主任研究員） 研究発表 1 「斑点米の歴史について」 鈴木 繁実（病害虫部 部長） 研究発表 2 「アカスジメクラガメの休眠性と岩手県における発生消長」 飯村 茂之（病害虫部 病害虫防除課長） 研究発表 3 「岩手県における斑点米カメムシ類の動向と、生態に関する新知見」 齋藤 誉志美（病害虫部 病害虫防除課 技師） 研究発表 4 「耕種の防除も組み合わせた斑点米カメムシの総合防除」 後藤 純子（病害虫部 病理昆虫研究室 主任専門研究員）	23名
	16. 3.12	「天敵 ～研究と使用技術～」 事例発表 1 「チリカブリダニを利用したイチゴのハダニ防除（現地実証）」 大友 令史（病害虫部 病害虫防除課 主任） 事例発表 2 「天敵を利用したピーマンのハウス栽培」 藤沢 巧（病害虫部 病理昆虫研究室 主任専門研究員） 事例発表 3 「卵寄生蜂を利用したストックのコナガ防除の試み」 鈴木 敏男（病害虫部 病理昆虫研究室長） 基調講演 「天敵～生態と利用技術～」 矢野栄二（独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構 中央農業総合研究センター 虫害防除部 生物防除研究室長）	29名
研修成果発表会	15. 6.11	第 1 回研修成果発表会 （ 1 ） 依頼研究員 「斑点米カメムシ類の生態と防除に関する研究」 後藤 純子（病害虫部 病理昆虫研究室 主任専門研究員）	26名

名 称	開催期日	内 容	参集人員
研修成果発表会	15. 6.11	( 2 ) J I C A 研修員 「農作物病害虫の総合的防除に関する研究」 Ms.Aranka KORMANY (ハンガリー)	2 6 名
	16. 2.23	第 2 回研修成果発表会 ( 1 ) 依頼研究員 「黒毛和種の産肉能力等の遺伝的特性把握と効率的選抜方法の検討」 高畑 博志 (畜産研究所 種山畜産研究室 専門研究員) 「飼料畑における雑草抑制方法の検討」 平久保 友美 (畜産研究所 飼料生産研究室 専門研究員) 「レタス腐敗病菌検出手法の開発」 桐山 直盛 (県北農業研究所 営農技術研究室 専門研究員) 「米の品質・加工適性に関わる物質の同定と遺伝的制御機構の解明」 仲條 真介 (農産部 水稻育種研究室 専門研究員) 「有機物施用が野菜の体内硝酸濃度に及ぼす影響」 小田島 ルミ子 (生産環境部 土壌作物栄養研究室 専門研究員) 「ピーマンの PMMoV の土壌中におけるモニタリングとその結果に基づく臭化メチルによらない防除技術の体系化」 細川 健 (病害虫部 病害虫防除課 技師) ( 2 ) 海外派遣研修 「スローフード・環境保全型農業およびヨーロッパ型普及事業について」 佐藤 正昭 (専門技術員室 専門技術員)	4 5 名
〔畜産研究所〕 公開セミナー	15. 8.22	「搾乳ユニット自動搬送装置の開発と普及」 福森 功 (オリオン機械㈱ 酪農カンパニー技術顧問)	9 4 名
〔県北農業研究所〕 ほうれんそうセミナー	15. 9. 5	「夏期の安定生産、安全安心栽培そして寒締め栽培」 試験研究の事例報告 「夏期安定生産のためのかん水方法、遮光方法」 根田 美和子 (県北農業研究所 産地育成研究室 技師) 生産現場からの報告 「本県における安全安心な生産技術の現状と課題」 高橋 好範 (県北農業研究所 専門技術員) 講演 「寒締め栽培で美味しい！ほうれんそうづくり」 青木 和彦 (独立行政法人 農業・生物系特定産業技術研究機構 東北農業研究センター 地域基盤研究部 主任研究官)	2 0 0 名
宿根草セミナー	15. 9. 5	講演 「宿根草・枝物花木の生産・消費動向」 福永 秀雄 (福花園種苗㈱ 営業販売部 栽培卸課 次長) 事例紹介 「わたしの枝物花木生産」 坂川 スミ (大野村向田 枝物花木生産農家)	5 0 名



## VII 人事、予算、財産

1 岩手県農業研究センター予算（2月補正現計）

（単位：千円）

区 分	（内 訳）	予 算 額
<b>【農業費】</b>		
人件費（本部・県北）		976,613
庁舎管理費（本部）		125,751
防風林整備事業		4,148
ほ場管理費（本部）		63,772
ふれあい公園管理運営費		22,854
庁舎管理費（県北）		31,958
ほ場管理費（県北）		5,466
試験研究費（国庫助成、委託試験等）		128,702
（1）特定研究開発等促進事業	49,418	
（2）地域先端技術等研究開発促進事業	7,428	
（3）植物防疫研究費	18,050	
（4）土壌対策研究費	7,707	
（5）農業関係試験研究委託事業	26,031	
（6）民間委託試験研究費	20,068	
高生産性農業新技術開発促進研究費（県単研究費）		64,547
（1）基盤的・先導的農業技術開発研究事業	16,534	
（2）バイオテクノロジー実用化事業	11,475	
（3）先端的農業技術実用化研究事業	15,418	
（4）中山間地域活性化戦略研究事業	553	
（5）農業新技術緊急開発実用化推進研究事業	17,339	
（6）農業新技術現地実用化開発・実証研究事業	3,228	
情報プロジェクト研究事業		1,000
主要農作物採種管理費		15,409
令達事業（本部）		135,426
令達事業（県北）		6,065
合 計		1,581,711
<b>【畜産業費】</b>		
人件費（畜産）		516,806
庁舎管理費		55,593
飼育管理費		86,900
種山畜産研究室管理費		96,890
外山畜産研究室隔障物整備事業		1,764
畜産研究所施設整備事業		
試験研究費（国庫助成、委託試験等）		40,092
（1）特定研究開発促進事業	21,600	
（2）地域先端技術共同研究開発促進事業	2,724	
（3）農業関係試験研究委託事業	13,143	
（4）畜産新技術実用化対策事業	2,625	
高生産性畜産新技術開発促進研究費（県単研究費）		26,570
（1）基盤的・先導的畜産技術開発研究事業	6,100	
（2）バイオテクノロジー実用化研究事業	1,969	
（3）先端的畜産技術実用化研究事業	17,781	
（4）畜産新技術現地実用化・実証研究事業	720	
令達事業		62,617
合 計		887,232
全 体 計		2,468,943

2 建物、用地 (H15.4.1)

	用 地 (ha)							建物 (㎡)		
	耕 地					林 野 等	施 設 用 地	総 面 積	棟 数	延 面 積
	水 田	畑	樹 園 地	採 草 放 牧 地	小 計					
本 部	30.2	19.2	21.3		70.7		41.1	111.8	64	19,335
北 上 主な施設面積(内数)	25.8	18.0	21.3		65.1		36.2	101.3	33	11,860
管理棟										2,911
実験研究棟										5,057
作物調査研究棟										716
育苗ガラス温室										992
穀物乾燥原種調整調査棟										860
園芸作物調査棟										716
生産環境調査棟										608
ふれあい公園							1.5	1.5	2	1,866
旧銘柄米開発研究室	4.4	0.7			5.1		2.2	7.3	26	4,805
南部園芸研究室		0.5			0.5		1.2	1.7	3	804
畜産研究所		136.0		1,534.6	1,670.6	399.4	37.8	2,107.8	181	36,427
滝沢		67.7		14.2	81.9	50.1	32.9	164.9	124	23,299
外山畜産研究室		5.8		1,470.7	1,476.5	241.3	4.5	1,722.3	42	6,676
種山畜産研究室		62.5		49.7	112.2	108.0	0.4	220.6	15	6,452
県北農業研究所	1.0	10.7	0.3		12.0		8.2	20.2	16	6,746
合 計	31.2	165.9	21.6	1,534.6	1,753.3	399.4	87.1	2,239.8	261	62,508

### 3 種苗登録、特許等

#### (1) 種苗登録

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日
りんどう	いわて乙女	第 544 号	S59. 3.19
りんどう	ジョバンニ	第 1,101 号	S61. 8. 8
りんどう	イーハトーヴォ	第 1,100 号	S61. 8. 8
大豆	緑良	第 2,517 号	H 2.12. 5
大豆	緑翠	第 2,516 号	H 2.12. 5
りんどう	アルピレオ	第 2,553 号	H 2.12. 5
りんどう	マシリィ	第 3,073 号	H 4. 2.29
りんどう	ホモイ	第 3,074 号	H 4. 2.29
ぶどう	エーデルアーリー	第 3,404 号	H 5. 3.10
りんご	きおう	第 3,947 号	H 6. 3.14
りんどう	アルタ	第 4,085 号	H 6. 8.22
稲	かけはし	第 4,410 号	H 7. 3.23
稲	ゆめさんさ	第 4,411 号	H 7. 3.23
りんどう	ポラーノ ホワイト	第 4,999 号	H 8. 3.18
りんどう	あおこりん	第 7,713 号	H12. 2.22
りんどう	ももこりん	第 7,714 号	H12. 2.22
りんどう	ポラーノ ブルー	第 7,715 号	H12. 2.22
大豆	星めぐり	第 7,756 号	H12. 2.22
稲	吟ぎんが	第 10,471 号	H14. 9. 4
スターチス	アイスター モーブ	第 10,673 号	H14. 9.30
スターチス	アイスター ラベンダー	第 10,674 号	H14. 9.30
スターチス	アイスター ライラックブルー	第 10,675 号	H14. 9.30
スターチス	アイスター ロージーピンク	第 10,676 号	H14. 9.30
スターチス	アイスター ライラック	第 10,677 号	H14. 9.30
稲	ぎんおとめ	第 10,963 号	H15. 2.20
大豆	ちゃげ丸	第 11,099 号	H15. 3.17
大豆	ぷっくらこ	第 11,100 号	H15. 3.17
稲	いわてっこ	出願番号第 13,617 号	出願 (H13. 7. 3)
きく	アイمامアーリーイエロー	出願番号第 14,520 号	出願 (H14. 3.15)
きく	アイمامホワイト	出願番号第 14,521 号	出願 (H14. 3.15)
きく	アイمامピンク	出願番号第 14,522 号	出願 (H14. 3.15)
きく	アイمامイエロー	出願番号第 14,523 号	出願 (H14. 3.15)
きく	アイمامホワイトピーチ	出願番号第 14,524 号	出願 (H14. 3.15)
稲	もち美人	出願番号第 14,894 号	出願 (H14. 7.31)
きく	アイمامレモンイエロー	出願番号第 15,658 号	出願 (H15. 4.21)
きく	アイمامオータムホワイト	出願番号第 15,659 号	出願 (H15. 4.21)
きく	アイمامパープルレッド	出願番号第 15,660 号	出願 (H15. 4.21)
きく	アイمامアーリーホワイト	出願番号第 15,661 号	出願 (H15. 4.21)
りんご	黄香	出願番号第 15,827 号	出願 (H15. 6.27)

## (2) 特許、実用新案

名 称	出願・公開番号(年月日)	登録番号(年月日)
米を原料とした飲料の製造方法	特開平 03-272671 (H 3.12. 4)	1990534(H 7.11. 8)
牧草種子の播種方法及び牧草種子の散布用の複合肥料ペレット	特開平 10-276514 (H10.10.20)	(出願・公開中)
マクロシードペレットの散布装置	特開平 10-276516 (H10.10.20)	(出願・公開中)
遺伝子組換えりんご及びその作出法	特開 2000-270700 (H12.10. 3)	(出願・公開中)
果樹の育成状態評価方法	特願 2002-315247 (H14.10.30)	(出願・審査請求中)
土壌用有機成分の推定装置	特願 2003-182339 (H15. 6.26)	(出願・審査請求中)
穀類食品及び穀類食品の製造方法	特願 2003-279959 (H15. 7.25)	(出願・審査請求中)

## 4 表彰

表彰内容(表彰団体)	表彰の対象者(組織)	表彰の対象となった研究成果等	年 月 日
全国農業関係試験研究場所長 会研究功労賞	生産環境部 土壌作物栄養研究室長 小野 剛志	岩手県における田畑輪換方式による作物 及び水田土壌生産力向上対策	15. 5.22
藤原彰夫研究奨励賞	生産環境部 土壌作物栄養研究室 専門研究員 高橋 良学	画像解析によるわい性台りんご樹の栄養 診断法	15. 9.18
平成 15 年度業績顕著者表彰	畜産研究所 種山畜産研究室	黒毛和種優良種雄牛「糸安菊」の作出	15.10.20

5 職員名簿（平成15年4月1日現在）

職 名	氏 名	職 名	氏 名
所 長	高橋 壯	専門技術員室	
副所長	佐々木忠勝	首席専門技術員	高橋 保元
		上席専門技術員	藤原 りつ
総務部		上席専門技術員	小笠原義明
部 長	三浦 義夫	上席専門技術員	田村 博明
主幹兼課長	澤口 義信	上席専門技術員	佐々木 力
副主幹兼課長補佐	高山 克彦	専門技術員	佐々木きし子
主 事	横澤 嘉宗	専門技術員	佐藤 弘
主 事	麥沢 秋文	専門技術員	佐藤 正昭
主 事	伊藤 絵里	専門技術員	畠山 俊行
管理課長	佐藤 義隆	専門技術員	藤原 一道
副主幹兼課長補佐	佐藤 英輔	専門技術員	中森 忠義
主 任	及川 孝子		
主 任	相馬 政江		
主 事	須賀美奈子		
主任技能員	柏葉 妙子		
運転技士兼技能員	中島 秋人	農産部	
技能員	菅野 輝彦	部 長	仲谷 房治
技能員兼運転技士	佐藤 広昭	水田作研究室長	高橋 政夫
技能員	西野 哲仁	主任専門研究員	吉田 宏
技能員	菊地 徳章	主任専門研究員	小田中温美
技能員	小黒澤清人	専門研究員	尾形 茂
技能員兼運転技士	猪澤 哲哉	技 師	臼井 智彦
技能員兼運転技士	藤根 寛道	技 師	及川 あや
		水稻育種研究室長	木内 豊
		主任専門研究員	中野 央子
企画経営情報部		専門研究員	仲條 眞介
部 長	齋藤 恭	専門研究員	田村 和彦
企画情報室長	茂木 善治	技 師	阿部 陽
上席専門研究員	渡辺 芳幸	応用生物学研究室長	阿部 潤
主任専門研究員	伊勢 智宏	主任専門研究員	竹澤 利和
主 任	松澤 一志	専門研究員	阿部 弘
主任専門研究員	横田 紀雄	技 師	安ヶ平紀子
専門研究員	八重樫えみ子	生産工学研究室長	高橋 修
農業経営研究室長	佐藤 隆	主任専門研究員	大里 達朗
主任専門研究員	菅原 豊司	主任専門研究員	阿部 節男
主任専門研究員	加藤 満康	主任専門研究員	大志田建男
主任専門研究員	阿部 哲哉	技 師	藤井 智克
主任専門研究員	井村 裕一		
専門研究員	前山 薫		
技 師	田代 勇樹		

職 名	氏 名	職 名	氏 名
園芸畑作部		病虫害部	
部 長	佐々木健治	部 長	鈴木 繁実
果樹研究室長	佐々木 仁	病虫害防除課長	飯村 茂之
主任専門研究員	鈴木 哲	企画指導係長(課 長)	飯村 茂之
専門研究員	小野 浩司	主 任	大友 令史
専門研究員	河田 道子	技 師	細川 健
専門研究員	奥平麻里子	技 師	齋藤誉志美
技 師	浅川 知則	発生予察係長	千葉 克彦
野菜畑作研究室長	作山 一夫	主 任	漆原 昌二
主任専門研究員	荻内 謙吾	主 任	及川 耳呂
主任専門研究員	山田 修	技 師	岩舘 康哉
専門研究員	土田 典子	県北農業研究所駐在	
専門研究員	門間 剛	県北地区主任	伊東 芳樹
技 師	高橋 大輔	主 任	富永 朋之
花き研究室長	児玉 勝雄	技 師	齋藤 智子
主任専門研究員	川村 浩美	病理昆虫研究室長	鈴木 敏男
主任専門研究員	内藤 善美	主任専門研究員	藤沢 巧
専門研究員	葛巻美知子	主任専門研究員	勝部 和則
技 師	小田島 雅	主任専門研究員	後藤 純子
南部園芸研究室長	浅沼 一也	専門研究員	川村 亮二
主任専門研究員	志田たつ子	専門研究員	猫塚 修一
専門研究員	千田 裕	技 師	佐々木直子
生産環境部		畜産研究所	
部 長	武田 眞一	所 長	駒込 勉
環境保全研究室長	築地 邦晃	次 長	小野寺 勉
主任専門研究員	中野 亜弓	次 長	新渡戸友次
専門研究員	平賀 昌晃	主幹兼総務課長	金崎 義久
専門研究員	沼田 芳宏	課長補佐	来内 広幸
技 師	沼田 芳宏	主 事	宇部 睦子
土壌作物栄養研究室長	菅 千穂子	主 事	吉田亜寿紗
主任専門研究員	小野 剛志	運転技士兼技能員	中村 長三
専門研究員	佐藤 千秋	運転技師兼技能員	吉田 正弘
専門研究員	高橋 正樹	主任技能員	佐々木紀好
専門研究員	高橋 良学	主任技能員	室坂 光榮
専門研究員	小田島ルミ子	主任技能員	岩崎 春見
保鮮流通技術研究室長	及川 一也	主任技能員	小笠原幸一郎
主任専門研究員	平淵 英利	主任技能員	関村 武志
主任専門研究員	菊地 淑子	主任技能員	石川 勝美
専門研究員	上山 純子	主任技能員	米沢 健治
		主任技能員	小林 雄二
		技能員	三上 宏
		技能員	竹田 政則
		技能員	右京 隆二
		技能員	荒木田俊一
		技能員	永洞 俊司
		技能員	中村 健

職 名	氏 名	職 名	氏 名
畜産研究所		主任技能員	斎藤 和一
技能員	菅原 薫	技能員	佐藤 洋貴
技能員	鷺見 義信	技能員	松本 徹
技能員	水澤 博征	技能員	後藤 克明
技能員	細野 貴樹		
技能員	鳴海 茂揮	東北農業研究所	
技能員	畠山 博文	所 長	櫻井 一男
技能員	谷地館 透	次 長	千葉 行雄
技能員	上澤 賢輝	総務課長	坂本 弘
技能員	荒屋 康之	主 任	紺野 安彦
家畜育種研究室長	小松 繁樹	運転技士兼技能員	日山千代司
主任専門研究員	阿閉 博明	技能員	清水 賢一
主任専門研究員	鈴木 賢	技能員	中軽米徳典
専門研究員	吉田 登	営農技術研究室長	折坂 光臣
専門研究員	安田 潤平	主任専門研究員	高橋 昭喜
家畜飼養研究室長	菊池 正人	専門研究員	桐山 直盛
主任専門研究員	松木田裕子	専門研究員	松浦 拓也
主任専門研究員	山口 直己	産地育成研究室長	茂市 修平
主任専門研究員	茂呂 勇悦	専門研究員	藤井 伸行
家畜工学研究室長	吉川 恵郷	技 師	根田美和子
主任専門研究員	鈴木 暁之	技 師	三浦 利奈
主任専門研究員	児玉 英樹	技 師	高橋 聡子
技 師	福成 和博	やませ利用研究室長	大清水保見
飼料生産研究室長	川畑 茂樹	主任専門研究員	長谷川 聡
主任専門研究員	増田 隆晴	専門研究員	寺田 道一
専門研究員	濱戸もえぎ	専門研究員	藤田 智美
専門研究員	平久保友美	専門技術員	高橋 好範
外山畜産研究室長	谷藤 隆志	専門技術員	高橋 守
上席専門研究員兼室長補佐	大池 裕治		
主任専門研究員	千葉 恒樹		
専門研究員	小梨 茂		
技 師	伊藤 孝浩		
主任技能員	中村 長悦		
主任技能員	藤原 時夫		
技能員	工藤 明彦		
技能員	上野 由克		
技能員	葉木澤一也		
種山畜産研究室長(次 長)	小野寺 勉		
上席専門研究員兼室長補佐	菊池 善彦		
主 事	姉帯 雅美		
上席専門研究員	小田中誠彰		
主任専門研究員	西田 清		
専門研究員	高畑 博志		
専門研究員	高杉 亘		



## 沿革

- 明治 31 年 種馬厩を盛岡市に設置。
- 明治 34 年 農事試験場（3 部制：庶務・種芸・分析）を本宮村向中野（現盛岡市）に設置。  
種馬厩を種畜場と改称。
- 明治 35 年 種畜場を盛岡市から滝沢村に移転。
- 明治 36 年 農事試験場に園芸部（4 部制）を新設。
- 大正 2 年 原蚕種製造所を胆沢郡水沢町（現水沢市）に設置。
- 大正 8 年 農事試験場胆江分場を江刺郡愛宕村（現江刺市）に設置。
- 大正 11 年 原蚕種製造所を蚕業試験場（4 係制：庶務・蚕種・試験・桑園）と改称。
- 大正 12 年 農事試験場に病虫部（5 部制）を新設。  
外山御料牧場を種畜場に移管し、種畜場本場を玉山村に移転（滝沢は支場となる）。
- 昭和 2 年 種鶏場を岩手郡巻掘村（現玉山村）に設置。
- 昭和 5 年 農事試験場軽米農場を九戸郡軽米町に設置。  
蚕業試験場一戸桑園を二戸郡一戸町に設置。
- 昭和 10 年 農事試験場遠野試験地を上閉伊郡松崎村（現遠野市）に設置。
- 昭和 12 年 種畜場本場を滝沢村に移転、玉山は外山支場となる。  
蚕業試験場六原桑樹試験地を金ヶ崎町に設置。
- 昭和 13 年 蚕業試験場一戸桑園を一戸支場と改称。
- 昭和 15 年 農事試験場軽米農場を九戸分場と改称。
- 昭和 21 年 農事試験場高冷地試験地を二戸郡小鳥谷村（現一戸町）に設置。
- 昭和 22 年 農事試験場遠野試験地が国営に移管。
- 昭和 23 年 種鶏場を紫波郡日詰町（現紫波町）に移転。
- 昭和 25 年 農事試験場を農業試験場（4 部制：総務・営農・農産・畜産）と改称。  
農業試験場畜産部を種畜場と併設。  
農業試験場葡萄試験地を稗貫郡大迫町に設置。  
農業試験場沿岸作物試験地を九戸郡長内村（現久慈市）、下閉伊郡豊間根村（現山田町）及び気仙郡小友村（現陸前高田市）に委託設置。
- 昭和 26 年 農業試験場南部試験地を気仙郡米崎村（現陸前高田市）に設置。  
農業試験場に遠野試験地が国から移管。  
農業試験場に農業経営研究部門設置。  
工芸作物原種農場を雫石町に設置。
- 昭和 28 年 蚕業試験場を水沢市龍ヶ馬場に移転。
- 昭和 30 年 農業試験場本場機構改革（8 部制：庶務・種芸・化学・園芸・病虫・経営・農機具・畜産）、  
蚕業試験場機構改革（4 部制：庶務・栽桑・養蚕・病理化学）。
- 昭和 32 年 蚕業試験場一戸支場を一戸分場と改称。
- 昭和 36 年 蚕業試験場一戸分場を二戸郡一戸町上野に新築移転。
- 昭和 37 年 農業試験場の園芸部、南部試験地及びびぶどう試験地を分離して園芸試験場（3 部制：庶務・果樹・  
蔬菜花卉）を北上市に設置。南部試験地及びびぶどう試験地をそれぞれ、南部分場、大迫圃場と改称。  
農業試験場胆江分場及び九戸分場をそれぞれ、県南分場、県北分場と改称。  
種畜場に種鶏場及び農業試験場畜産部を併合して畜産試験場を滝沢村に設置。  
農業試験場遠野試験地及び沿岸作物試験地を廃止。  
工芸作物原種農場を農業試験場に統合し、原種部を設置。
- 昭和 38 年 農業試験場本場を盛岡市から滝沢村へ移転。
- 昭和 39 年 畜産試験場外山支場を外山試験地と改称。
- 昭和 41 年 農業試験場本場機構改革（4 部制：庶務 2 係・技術・環境・経営）。
- 昭和 44 年 園芸試験場蔬菜花卉部を野菜花き部に改称。
- 昭和 46 年 農業試験場本場機構改革（科制導入。技術部：水田作科・畑作科・作業技術科、環境部：施肥改善科・  
土壌改良科・病害虫科、経営部：経営科・流通経済科）。  
農業試験場県南分場及び県北分場に分場次長を設置。  
農業試験場高冷地試験地を園芸試験場へ移管し、高冷地分場となる。  
園芸試験場に環境部を設置。

- 昭和 46 年 園芸試験場大迫園場を大迫試験地と改称。  
畜産試験場外山試験地を外山分場と改称。
- 昭和 47 年 園芸試験場南部分場を陸前高田市米崎町から同市高田町へ移転。
- 昭和 48 年 蚕業試験場六原桑樹試験地を六原試験地と改称。
- 昭和 51 年 農業試験場作業技術科を農業機械科に改称。
- 昭和 53 年 蚕業試験場六原試験地を廃止。  
蚕業試験場養蚕部、病理化学部をそれぞれ養蚕経営部、環境部に改称。
- 昭和 56 年 園芸試験場高冷地分場を高冷地開発センターに改称。
- 昭和 57 年 蚕業試験場整備計画実施（～昭和 58 年）。
- 平成 3 年 農業試験場に水稻育種科を設置。
- 平成 8 年 畜産試験場種山肉用牛改良センターを住田町に設置。
- 平成 9 年 農業試験場、蚕業試験場、園芸試験場及び畜産試験場を農業研究センターに再編整備。  
農業試験場本場、園芸試験場本場、同大迫試験地及び蚕業試験場本場を統合し、北上市にセンター本部を設置。  
農業試験場県南分場及び園芸試験場南部分場をそれぞれ銘柄米開発研究室、南部園芸研究室と改称。  
農業試験場県北分場、園芸試験場高冷地開発センター及び蚕業試験場一戸分場を統合し、軽米町に県北農業研究所を設置。  
畜産試験場を畜産研究所に改組。  
畜産試験場外山分場及び種山肉用牛改良センターをそれぞれ外山畜産研究室、種山畜産研究室に改称。  
県北農業研究所に専門技術員を配置。
- 平成 10 年 園芸畑作部蚕桑技術研究室繭品質評価分室を盛岡市に設置（繭検定所を廃止）  
センター本部に専門技術員を配置。
- 平成 11 年 企画経営情報部マーケティング研究室を農業経営研究室に統合。
- 平成 13 年 病害虫部を新設し、病害虫防除課及び病理昆虫研究室を設置。  
銘柄米開発研究室、蚕桑技術研究室及び同研究室繭品質評価分室を廃止。  
南部園芸研究室を陸前高田市高田町から同市米崎町へ移転。

< 所 在 >

岩手県農業研究センター

本 部	〒024-0003	岩手県北上市成田 20-1 Tel. 0197-68-2331 FAX. 0197-68-2361 ホームページ <a href="http://www.pref.iwate.jp/~hp2088/">http://www.pref.iwate.jp/~hp2088/</a>
( 南部園芸研究室 )	〒029-2206	岩手県陸前高田市米崎町字川崎 101 Tel. 0192-55-3733 FAX. 0192-55-2093
畜産研究所	〒020-0173	岩手県岩手郡滝沢村字砂込 737-1 Tel. 019-688-4326 FAX. 019-688-4327
( 外山畜産研究室 )	〒028-2711	岩手県岩手郡玉山村藪川字大の平 40 Tel. 019-681-5011 FAX. 019-681-5012
( 種山畜産研究室 )	〒029-2311	岩手県気仙郡住田町世田米字飼沢 30 Tel. 0197-38-2312 FAX. 0197-38-2177
県北農業研究所	〒028-6222	岩手県九戸郡軽米町大字山内 23-9-1 Tel. 0195-47-1070 FAX. 0195-49-3011